

黑潮

第三十四號

卷頭言

練習 10 則

- 第1則 まず正しいトレーニングによって体を作れ。体を作ることを忘れて、いたずらに技巧の習得を努めても決してタイムは上らない。
- 第2則 体と泳ぎとを作ることを目的とする基礎練習と、レース前の調子を作ることを目的とする練習とを混同してはならぬ。レース前になつて、むやみにタイムばかりを取るような操習は最も悪い練習である。肉体的にも、精神的にも、いたずらに精力を消耗するだけのことである。
- 第3則 むやみに力泳するよりは、水に乗る調子を体得することが何よりも大切である。
- 第4則 スタートとターニングとの練習は、泳ぎそのものの練習より大事だと思わなければならぬ。
- 第5則 一つ一つのストロークを失敗しないように泳ぐことが、最も良いタイムを得る方法である。
- 第6則 レース前の練習に当つては、毎夕毎朝、体重を測れ。もし朝の計量において体重の回復が十分でないことを発見したならば、練習の分量を減らさねばならない。
- 第7則 スランプは精神よりはむしろ体力の欠陥に原因していると思わねばならぬ。いたずらにあせるより、思いきって、2、3日練習を休む方がよろしい。
- 第8則 レースまぎわに体を休ませるつもりで力泳をひかえることは非常に危険である。体を休ませるために練習量を減らしたければ、力泳をせしめつつ、その分量を減らすようにせねばならぬ。休ませるつもりでフラフラ泳がせると調子がこわれてしまう。
- 第9則 あがるくせのある選手にいくら精神訓話を与えても、何もならない。いかなる場合にも体を柔くして、水に乗って泳げるよう徹底的に練習させ、くせづけしてしまうことが何より大切である。
- 第10則 良き練習は良きコーチによってのみ行なわれ得る。しかしコーチのみに頼って自ら工夫することなき選手は上達しない。

日本水上競技聯盟會長　末 弘 嶽太郎

(昭和14年機関誌「水泳第64号」に掲載)

この「練習10則」は、初代會長末弘巖太郎氏が、選手諸君に残した遺訓である。「温古知新」50年経た今日でも、我々の参考になる点も、多いと思いますので、ここに掲載いたします。

目

次

題字……故 小笠原先生

一年をふりかえって

先輩の部

| | |
|--------------------|-------|
| 府高水泳部誕生のころ | 八年卒 |
| 水泳人生五十年 | 十三年卒 |
| 思い出 | 十五年卒 |
| 我田引水 | 十九年卒 |
| 「衣食足りて礼節を知っているのか?」 | 二十七年卒 |
| プレイ・バック三十年 | 三十年卒 |
| 無題 | 三十四年卒 |
| 中村君へ | 三十八年卒 |
| 北村隆彦さんの想い出 | 三十八年卒 |
| 北村君の想い出 | 三十八年卒 |
| 北村とのこと | 三十八年卒 |
| 北村君のこと | 三十八年卒 |
| 北村隆彦君の死を悼んで | 三十八年卒 |
| 北村君の想い出 | 三十八年卒 |

水泳部顧問

町田順

| | | | | | | | |
|-----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 山武 | 中早 | 森 | 山竹 | 大吉 | 官居 | 伊丹 | 益田 |
| 田村 | 井坂 | | 本内 | 田出 | 本泰 | 康三 | 正夫 |
| 久美子 | 祚啓 | 義健 | 良雄 | 久世 | 三郎 | 滋郎 | 男 |
| | 正之 | 昭二 | 寿美子 | | | | |

15 14 14 12 12 10 9 8 8 6 5 3 2

1

現役の部

おののうえまさみ・青春メモリー

—秋のきらいな夏男—

YOUNG BLOODS

ホテル・カリフォルニア

水泳部症候群Ⅲ —少年鉄仮面伝説—

奈落の底の背泳陣

輝きたい～Teenage Walk～

やられた私と、やつて下さった「K」

やがて、NO SIDE… —今、ホイッスルが鳴る—

THEME

「三年田の私」

三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

落稻丹青横岩荒高尾尾
合垣羽木山坂木橋上上
弘香晶愛憲昌健政
美居子子誠卓治一二期

49 49 48 46 42 40 37 35 31 22

世界の海 VI
インドネシア・スマトラ島トバ湖
鬼のヘッド・コーチ本家の引退宣言

十四年卒
十七年卒
三十年卒
三十八年卒
五十五年卒
五十四年卒
六十年卒
六十年卒

角菅角中矢山谷草糸
田野田野田下川
篤義篤かおり昭久孝三
俊信俊若美葉也男

21 17

16

十月十八日晴れ

あしか引退宣言 my revolution

おわびのひとば

「？」

三年田もじ一しゃうもない原稿

三度田の正直

This was then, This is now....

夢見るふるを過ぎて

額に三日月の傷を持つ少年の叫び

栄光は誰のために.....

無題

神田くふクイズ！

恋のHEART ATTACKER

TILL 100 YEARS OLD

三日月と燐く物語

ひとかけらの夏

カゼをめされたD.J娘

YESTERDAY — part 1

災難

とある少女の夏の日々

三年年

和瀬安高根平横山久保神魚高柿矢和藤高橋河野木菊
田戸田沢沢山本田地橋澤島田本保道京
順剛理洋美咲俊忠文知俊銳英次小淳朝見
子士恵子彦彦秀光治次雄雪子佳子見子

わ～もうこんな時間

一年 長谷川 みか

コードネーム＝CF・2・21・3・8・9

記録の部

昭和六十一年度記録

黒潮会記録

黒潮会十五傑

全都立各種三十傑

女子歴代十五傑

各人最高記録

コ一チ評

編集後記
現役名簿
会計報告

昭和六十二年度 黒潮会役員

| | | | | | | | |
|----|---------|------|----|------|---------|---------|---------|
| 監查 | 幹事（会計） | 幹事 | 幹事 | 副会長 | 会長 | 伊丹康夫 | （十三年卒） |
| 吉田 | 伊藤真一 | 岩淵洋一 | 関健 | 小杉健二 | （二十五年卒） | （六十一年卒） | （六十一年卒） |
| | （六十一年卒） | | | | | | |

一年を振りかえつて

部長 町田 順

「水泳部の顧問だつてね、ご苦労様」

「大変だよ、水泳部は。頑張つてね、特に合宿は」
等々、今年度附高に異動してきてすぐに、いろいろな先生方から
“励ましのお言葉”を頂きました。水泳部のことはまだ何も知らな
い時に、これだけ心配して下さるのだから、問題の多い部なのかな、
と少々気になりました。また、以前の黒潮を読んでみると、顧問にな
られた先生方の苦労談や厳しい批判なども載つており、これは大
変な部の顧問になつたぞ、と思いました。

しかし、プール掃除を終えて泳ぎ始めた頃に、プールサイドから
活動を見ていますと、別にどうということはありません。きちんと
した水泳部ではありませんか。部員同志のまともにはすばらしいも
のを感じましたし、気魄のこもつた練習をしていました。新しい顧
問が割り込んでいく隙間もないような、和気あいあいとした雰囲気
や、現役おもいの若い卒業生のコーチと部員との関係なども、運動
部としてごく自然な、むしろしつかりとした人間関係を持つた水泳
部であると、すぐにわかりました。他の先生方の心配も、あまり気
にしなくてよさそうなのでほつとしました。

さすがに伝統のある水泳部はいいものだ、と感じましたが、ひとつだけ気になりました。それは意外にも、プールでのマ
ナーが悪い、ということです。更衣室、プールサイドに平氣で土足
で入る、食べ物のごみをちらかしたままにする、シャワーを浴びず
にプールに飛び込む、出入口に鍵がかかっていると構から出入りす
る……。“水泳”大好き人間の私にとっては信じられないことでし
た。本校のプールは隣りにテニスコートがあり、またグランドより
も低い位置にあるので、土埃りなどで水が汚れ易い環境にあります。
それだけでもプール全体を、清潔に保つように十分配慮しなければ
ならないのですから。暫くして部員達もこのことに気付き、いつも
きれいなプールで泳げるよう、皆で注意するようになつてくれま
したので、今では特に気にならなくなりました。水泳に限らずスポ
ーツを愛する人にとって、マナーを大切にすることは、その
スポーツを続けていくうえで重要なことだと思います。附高の水泳
部も、今後もずっとそうであつてほしいものです。

五十年以上も経つた、いろいろな歴史が刻まれたプールを目にす
るたびに、先輩の方々から続いてきた伝統をすっしりと感じますが、
現役の諸君はその伝統をしつかり受けとめ、今の自分達の感覚にマ
ッチさせて、更にすばらしいものに磨きあげていつて貰いたいと思
います。練習内容も研究して、合理的なものどんどん取り入れ、
活動がより一層充実したものになるよう期待しています。

尚、今年度忙しい中をコーチとして頑張つて下さった卒業生の三
人（角田篤俊君、橋本修君、中井玲江さん）の方に、現役共々感謝
したいと思います。ありがとうございました。

さすがに伝統のある水泳部はいいものだ、と感じましたが、ひと
つだけ気になりました。それは意外にも、プールでのマ
ナーが悪い、ということです。更衣室、プールサイドに平氣で土足
で入る、食べ物のごみをちらかしたままにする、シャワーを浴びず



先輩の部

府高水泳部誕生のころ

昭和八年卒

益田正男

一九三〇年（昭和五年）の頃、ずい分古い話になりますが、その年七月半ば頃、私は高等科一年になつたばかりでしたが、たしかに民家を借りて、水泳部の合宿練習を行つてゐたことがあります。

宿舎の前は、きれいな砂浜が続いていて内湾ではあるし、程良い遠浅で水泳練習には恰好の場所でした。

水泳部の担当部長は下地寛先生で論理学を教えられていてヘーベルの弁証法も始めて先生に習つた覚えがあります。当時期末試験となると、我々出来の悪い者は白紙ばかり出していた学科の中では、一番興味深いものの一つでした。

水泳部では毎日、結構キチンとした日課があり、二年生の指導で、みがいて行きました。

夜になると、コンパとなり一杯やりながら下地先生を囲んでの人生論談義で夜おそくまで花を咲かせることがありました。先生は「君達は若い、少なくとも二つの希望がもてる、一つは、それぞれの志望と努力によつて、将来どこまで能力の限界まで挑めるかだ。

そして二つ目には、将来伴侶となるべきどんなに美人で、頭も良い女性を獲得出来るかだ。君達はうらやましい。

しかし、このままで行くと、我国の海外進出政策は戦争を招くかも知れない、日本の前途は多難だし、自重自愛して欲しい」と言われたことが今でも強く印象に残っています。

数十日間の水泳部最終仕上げは、沖の島めぐり五浬遠泳でした。当日は快晴で波静か、朝九時、準備体操を充分行つた後、全身に油を塗つて、一斉にスタート。和船一そなが飲み水・おも湯・甘酒などを用意してつき添つた約六時間の遠泳でしたが、確かに全員が完泳されたと思つています。

当時、府高にはプールがなかつたので、近くの日大プールを週二日位借用して練習に行つていましたが、その頃、百米一分を切った高石選手や豊内選手が泳いでいましたが、私達も充分刺戟を受けたことは間違ひありません。

（注）古いことで史実に誤りがあるかも知れませんが、お許し下さい。

水泳人生五十年

十三年卒（黒潮会々長）伊丹康夫

黒潮に久し振りの寄稿です。書き始めてみると、水泳の思い出話になってしまいました。

昨年、府高プールの設立五十周年記念行事の当日、私は国際マスターーズ水泳大会に出場のため、カナダのトロントに行つており欠席しました。しかし、毎年八月プールで開催される黒潮会総会には出席し、昨夏も若い部員やOBの方と一緒に泳ぎ、ウォーターポロの紅白戦にまで参加でき、昔と違つて水の奇麗になつたプールで童心によみがえる楽しい一日を過しました。

あのプールが竣工したとき、私は旧制七年制高校の尋常科四年生でしたので、私の水泳とのかかわりは、半世紀を過ぎました。尋常科二年生のとき、先輩に勧誘されて水泳部に入つて、あの真白のコンクリートのプールで水飛沫をあげたのがもとで引続いて東大水泳部も卒業して、日本水泳連盟のもうろの役員を続けさせて頂けるなど、今まで水泳とは縁が切れるところなく、お蔭で終生親身の付き合いのできる友とときどき歓談の機会を持ち楽しんでいます。

その後、私は日本水泳連盟役員として、初めのうちは計時役員を永らくやらせられました。昭和三十九年、東京オリンピック開催のため、自動審判装置の必要が前のローマオリンピック大会で論じられ、日本で初めて自動審判装置の開発を担当することになり、開発の委員長をやらされました。専門メークー各社の協力によりエレクトロニクスを使った千分の一秒の着順判定の精度をもつたタイマーとプールの壁に装着するタッチ板が、東京オリンピックに間に合つて完成できました。

東京オリンピック競泳競技では、自動審判装置を使つて、着順、

聖火リレーよろしくファイアーストームに興じ、翌朝、行状の跡を見てびっくり、早速、井上寛水泳部長宅へ謝りに行つた。処分は悟したもの「以後は水泳部の後輩には酒を飲ませません」との始末書一枚で目出たくケリ。今でもプールに行つたとき、当時より立派になった弓道場で部員が真妙に弓を射ているのを見るたびに、半正紀昔の聖火リレーのことを思い出します。

東大水泳部時代は、関東学生水球リーグ戦の一部で、三年間フォアワードとして出場し、早大、慶大、日大のどれかに一戦でも勝ちたいと猛練習はしたものの、三年間続いて四位から上れなかつたのが思ひ残しとなりました。

私は真珠湾攻撃の直後、軍籍に入りましたが、昭和十九年の学徒動員の際、かの有名な明治神宮競技場における全大学生の雨の中の分列式に旗手を掲げて先頭を行進した人は、府立高校水泳部出身、

東大水泳部雁部陽氏（戦死）であり、その光景は歴史的ニュース

イルムの一コマとして保存され、今でもときどきそのシーンにお目にかかる機会があります。

計時（ラップタイム共）を正式に決めることになり、私が審判長となつて、各レースごとに打ち出される記録を確認するのが審判長の役割でありました。今ではこの装置が世界各地で大きな競技に使用されています。東京オリンピック大会では、開発できたばかりの装置だったので、大会が終わるまで、関係者は心配したものでした。

東京オリンピックは無事終ったものの日本の競泳が予想に反して惨敗したため、日本水連に科学研究委員会が設置され、初代委員長をやらされました。委員会での主要課題は、速く泳ぐための研究と、何歳からどのような練習をさせると世界的な強い選手が作れるかという課題がありました。

現在一〇〇米自由型が四十八秒台で泳ぐ時代になつたが、当委員会での「人間はどれだけ速く泳げるか」の力学的解析の研究によると、当時のトップスイマーでは一〇〇米自由型で五十秒が限度であるとの説明を聞いた。そのとき理解できたことは、水泳選手が速く泳ぐためには、スピードを出す自動車はエンジン馬力が大きなことが前提と考えられるのと同様、先づ馬力の強い、筋力の強い人を作ることが大切で、次に泳法としては、水の抵抗に逆らって、泳ぎに速度の速緩の変化なく一定速度で泳ぐ泳法を見付けることであることを知りました。当時のトップスイマーは、一〇〇米自由型に發揮できるエネルギーで泳法を改善すると五十秒が限度だということあります。従つてなに泳ぎにしても、速度を上げるための加速に使用するエネルギーが最少となる泳法、すなわち速度が断続的に変化しない泳法が理想と考えられます。

私はこの約十四年間、健康管理の目的で一ヶ月約一〇、一〇〇〇米の割りで泳ぎ続けており、現在、泳いだ距離の集計は約一四〇万米

に到達しました。今年、十一月二、三日千駄ヶ谷の都営室内プールで開催された昭和六十一年度長水路日本マスターズ水泳競技の二〇〇米、四〇〇米自由型に出場し、六五一六九歳グループで二〇〇米は四位、四〇〇米は二位되었습니다。

若い時代と違つて、タイムの目標を掲げて練習に励むというわけにはいかず、これだけ泳いでも毎年徐々に遅くなることは如何ともできません。

現役部員諸君は、毎年、目標タイムを設定して練習に励んでおられることでしよう。社会に出ても、家庭にあっても、なにかにつき目標を設定してその達成に努力することにより、活気に満ちた生活ができるものです。

社会での物事はなかなか一人だけの努力では成果は得られることではなく、周囲の環境に影響され、運・不運も必ず着きまとものであります。

水泳もただ我武者羅に練習するのではなく、各自、自分に適した泳法と練習法の指導を受け、目標達成にご努力願います。しかし、水泳は沢山泳がないと速くならないことだけは間違いないと思っています。

黒潮会の一層の発展と部員のご活躍をお祈りいたします。

思 い 出

十五年卒 居 谷 激 郎

「黒潮」の皆様にはあまりにもごぶさたしてしまった。離れていたせいもあるが、集まりに出席したこともない。ほとんど忘却の彼方にあつたのだが、突然電話で原稿のご催促である。私のような者でも思い出してくれたのかと恐縮したら、なんと名簿があつた。ほとんど神代の昔だから神話でも語ろう。

年をとつたせいか、当時の八雲ヶ丘を思い出すことがとりわけ多い。一年ほど前、なつかしい母校を訪れて隅から隈まで歩いて見たことがある。変ったといえば変ったが（ギュウギュウでゴミゴミ）、ブールあたりは古ぼけたけれども意外に變っていない。しかし一面のブラック群は当時はないものだった。

私が水泳部に入った時はまだ自前のブールが無くて、日大のブールを借りていた。当時、日大にはオリンピックの名泳者がそろつていて、ことに平泳の葉室のすべるようなスタイルは絶妙だった。そのブールを横に二五米泳がされて、たしか一七秒で合格。入った動機は別に無く、走るか泳ぐしか能がなかつたからである。たしか尋二くらいたつたと思う。今でも二五米なら一一一秒遅れくらいで泳げるから、いかにダメスイマーだかがわかるというものだ。

そのうちにビカビカの今のブールの前身が完成した。浄化装置つきが自慢だったが、水をけちつたか、硫酸銅で殺菌することが多かつた。

今から思えば、特につらい練習でもなかつたかわり、素質もなく

あまりやる気もなかつた。むしろ走る方へ廻つた方がよかつたかも知れなかつたし、どういうわけか事実某競技会のトラックで四〇〇メ走つたこともある。うしろには誰もいなかつたけれども。いずれにせよ、今も健康でいられるのは、あのころと軍隊生活のおかげと感謝している。

同期生には米本、田中君以下数名いたが、私も有象無象の一員としてあのころ（尋常科）が一番懐かしい。その頃は女子はいないし、ユニホームは六尺フンドシ、試合では肩まであるスイムウエアであった。フンドシは所有権があまりはつきりしていなかつたので、男性特有の皮膚病をいたたくのも日常のことであつた。

試合は七年制高校対抗と神宮ブールのインターハイ、そして水球リーグ（二部）が主であった。私もそのいくつかに出場した記憶はあるが、後続泳者がいたことは稀であった。

水球の導入はたしか昭和一二年の春だったと思う。東大の温水ブールを借り、本郷に合宿して、早大のトラさんこと片岡氏（？）の指導を得た。こんなシンドイ運動は他にはあるまいと思つたものである。当時の部員には他部にも増して傑物・秀才が多かつたと思う。思ひ出るのは、小坂、伊丹、石渡氏等諸先輩の言動の印象である。同期の田中君は私と同じく海軍技術大尉となつたが、南方で戦死した。雁部・草下両君の交情も草下君自身の筆で「黒潮」に述べられてゐるし、雁部君のことも最近号に宮本氏の筆で記されている。

草下君は当時からだも小さく、とても「カワイイ」男で、「アマサン」と全名されていた。

次に在部は短かかつたが戸川君の話をしよう。ブールでの記憶は薄れてしまつたが、なぜか合宿先に父君がよくあらわれて無駄話を

しておられたことを思い出す。彼は医学部に進んで、海軍軍医としてフィリピン方面の離島に従軍していたという。その彼の話が、戦記文学「先任将校」（松永市郎著）にあわれており、沈没の悲にあつた巡洋艦「名取」の生存乗組員との印象深い経緯を語つている。リーダーシップとは何かを教える名著と思う。

かく申す筆者は退職後、仕事もないかわり、傷病もないと言いたいが、実は六一年一〇月執筆時現在、外科治療退院直後である。電車に間に合おうとして、階段をやいや大巾に無理をして跳びおりた為、着地失敗、桟橋大破（骨折）という始末である。日常ジギングや山歩きで、なまじ足に自信があつたためで、年はとりたくないものである。

その一年前、昭和六〇年夏、道楽としての化学史研究のため、南イリソイ大学主催で二〇名の米国人の先生方と二ヶ月間の欧洲旅行を共にしたことがある。私は二番目の年長者であったが、朝はジギング、ホテルじゃ泳ぎ、塔があつたらすぐ登る——という一見都逸ふう（実はこのたぐいの文芸も私の趣味で宗匠。自然に出てくる）のように、特異な行動パターンを示すたつた一人の日本人であった。ただし講義には必ず眠る、というのを入れなければ公平でない。これも往時の水泳訓練のおかげと感謝している。

団体旅行終了後、西独の友人（警察官）のお宅にほとんどひと月逗留して南独の田園森林生活を楽しんだ。彼は、歐洲屈指の旧日本帝国海軍技術史の研究家で、その方面的著書もあるが、その書齋には日本語の軍事関係書籍と艦艇図面が充満している。ところが何と彼は日本語が読めないので、彼は私のためにひと月間休暇をとり、半月は私をこき使い（共著者として）、午後は車で南獨一帯の観光

にでかけた。そして三日に一度は付近の野外五〇メートルにてかけら。村人は無料、ビジターは一マルク半、万端完備、構内宏壯、泳者少數、碧水透明、ちょうどあの頃のプールの反対と思えばよい。大部分の村人は日光浴に来るのだ。南獨の夏陽は案外に強烈で、二回くらい通うと真黒に焼けてしまう。彼等はせいぜい赤くなるくらいで、私はあまり日焼けしない方だが、唯一の東洋人の焼け方のスピードがうらやましくて仕方がないよう見えた。

彼は四十代であるが相当の泳ぎ手で、私のクロールは平泳で樂々とぬかれてしまう。そこでもっと樂な横泳ぎに変えて森林の風景を楽しんでいると、ブルの管理人がやって来て、久しうりに美事な古典泳法を拝見したと言う。私の横泳ぎはクロールとあまりスピードが変わらないのである。

以上、私の甚だ牙えない水泳の思い出を述べた。これからも泳げる限りは泳ぎたいし、脚が治ればジギングも続けたい。

おわりに現役諸君の奮闘とOB諸君のご健康と「黒潮」の充実を望む。

我 田 引 水

十九年卒 宮 本 三 郎

はじめに水泳部の伝統ある機関誌に投稿するようお説い下さいまして有りがとうございます。皆様のご厚意にあまえて、駄文を書か

せて頂きます。

まず「黒潮」を休まずに発行している世話人の皆様のご努力に心からお礼を申し上げます。原稿を依頼し、編集・校正し印刷し配布するという仕事は簡単なようで大変な仕事です。この仕事をやったことのない人間には想像する事も出来ないでしょう。私はむかし大学新聞の編集をしたことがありますので少しはわかるつもりです。

さて近頃つくづく想うことは、この人生で、なんでも自由に話せる友人を得る事は難しいという事です。私の場合を考えてみても、水泳部を中心に泣いたり笑ったり苦しみたり遊んだりした人々こそが世間に出てからも、それぞれの利害を離れて、ツーカーとわかつてくれる友人であります。このような友人は本当に貴重な存在ですし、このような仲間に巡りあわせてくれた水泳部というものに感謝する次第です。ところで八六年十二月のえ私ははじめて自分の本をだしました。

出版社はイクオリティ、題名は「陪審裁判」——市民の正義を法廷に——という本です。

何故こういう本を出したのか？　という疑問があると思います。私は法律の専門家ではありませんが、法律を学んだ者の一人として

卒業後も引きつづき日本の政治・経済制度が国民の基本的人権をまもり福祉を確保し、国民それの個性の花を開かせる仕組みになつて欲しいと願つていましたし、そのため途切れ途切れでしたが勉強もしてきました。そして司法制度に問題があると感じはじめました。とくに難かしい事件では十年も二十年もからなければ決着がつかない三審制や、罪はどうしてでるのかについて、強い疑問をもつようになりました。そして私なりに勉強をしなおし研究した結果、

国民自身が裁判官になる陪審裁判は色々欠陥はあっても現行制度よりベターだという結論に達したのです。そして陪審裁判の実態を少しでも多くの人々に分かって貰い一刻も早く実現するよう協力して欲しいという止むに止まれぬ気持からこの本を書いたのです。

そこでこの本には何が書いてあるのか？　簡単に言いますと、有罪・無罪を争そう大事な裁判はサラリーマンで最高裁判所事務総局の顔色をうかがう裁判官にやらせてはいけない、つまり主権者で誰にたいしてもお辞儀をする必要のない陪審員による裁判でなければ、裁判の公正も確保できないし、罪も防止できないというのです。その論拠は何かといいますと、このところつづいた死刑囚の再審無罪事件です。再審判決が明かにしている事実は、かなり多くの裁判官が警察や検察官の取り調べには間違はないが被告の言うことは信用できないという予断に支配されているということです。これは本当に残念なことです。このような弊害をさけるには米英でおこなわれている陪審裁判をやる以外に方法はありません。

しかし日本では国民性や法的意識の低さからいって陪審裁判は定着しないという人々も沢山います。この本はそのような俗論に一つ一つ丁寧に反論しています。

日本では裁判官は専門的に教育訓練されたエリートでかたためられ、裁判は公正・中立で信頼できると教え込まれてきた若い皆さんにはそもそも考えてもみなかつたことかもしれません。しかし学校で教えている事にも間違いはあるのです。「すべてを疑え」というのが科学の出発点です。陪審裁判のすべてをQ&A式にやさしく説明したのが私の本です。近くの本屋さんに注文し、取りよせて読んでみてく

ださい。定価一、二〇〇円です。どうも我田引水をさせて頂だきまして有難うございました。（八六・一二・一五）

「衣食足りて礼節を知つてゐるか？」

二十七年卒 吉田泰三

「衣食足りて礼節を知る」とは、かつて生き生きとしていた言葉だが、衣食足り過ぎてゐる現今では、死に絶え、忘れられた言葉となつてゐる感がある。急速な高度経済成長の結果、人間は人間らしさを失い、感情を失つたロボット化をしてゐる感がある。何故だろうか？ マッカーサーの厚木到着に始まり、教育改革、そして間違つた自由の意識。どうもその辺りに原因がある様に思える。

終戦と同時に、いわゆる智識階級と云われた人達は、全ては言論の自由を押さえた軍が悪い、戦争が悪いと大声した。しかし私は今、本当にその人達は日本の将来を考えたのだろうかと疑問に思う。漢字制限をしたり、後に漢字をふやしたり。町名変更をして全てを簡素化しようとする。歴史は決して消す事は出来ないのに、アメリカ化する事が、近代化と思つていた識者がいなかつただろうか？

今、教育を考え直そうと、臨教審なるものが出来、各界から選ばれた委員が寄り集り検討している。本当にあの人達は教育を真剣に考えてゐるのだろうかと疑問に思う。

今、自分達が何をなすべきかを論ぜず、将来教師になる人達をどう教育すべきかとか、いじめを無くすにはとか、およそ自分達とは関係がない事の様に、又自分達大人の責任を感じていない意見が多

いい様に思える。朝の通勤時間帯に電車に乗つてみれば良く解る事がある。それは「日本人が言葉を、挨拶を忘れてゐる」と云う事だ。衣食足りて礼節を知るどころか、自分を守る事のみにきゅうきゅうとする。だから相手の気持を考える事が出来ず、満員電車の中でいがみあう。

人の気持を和ませるのは、挨拶から始まるのかも知れないと思う。大人も子供も、特に我々大人が、「お早ようございます」から「お休みなさい」まで、毎日繰り返えしたら、親子に限らず、間違いなく日常生活は明るくなり、心のゆとりが出来る。

終戦直後の水泳部の先輩・上級生は、実に後輩に対して、心やさしかつた。衣食足りなかつたが、礼節があつた。人は一人では生きられず、他の御陰を受けている事を知つていただらではと思う。人は人でしかなく、人と人の間に「間」が出来てこそ、人は人間になる。

「間」とは、距離であると同時に繋がりである。

プレイ・バツク 三十年

三十年卒 大出久世

最近、脳細胞の消滅が異常に発達し、その速度は「時」を越えてしまつたのではないかと思う程で「昨日のことがわからぬ」というのは正しく、それを裏づける現象だと信じある医者に「自己診断か！」と馬鹿にされた揚句、よせばいいのに紹介された次の医者から「子宮筋腫の疑いがあるかも知れない」とおどかされて、脳の輪切り写真を見たいなアと思つたことが富士見産婦人科病院の

二の舞になりかけてしまい、やっぱり並の医者には私の頭を診る力はないのだと、要は、酒を控え目にする事なのだと、悟ったのが近況です。これに約三十年かかりました。

思えば、泳げもしないのにどうして水泳部になんぞ入れられてしまったのか。水泳部の名簿に名前が書いてあると言われても自分で書いた訳じゃないし、それより生物班へ入ろうと思いつつ、飼うのに少々イヤ気がさしていた甘日ねずみを寄附したのでしたが、生物班の人意外に冷たく貰うものは貰つたまゝ何も云つてくれなかつたのです。そして、或日突然「昼休みに、ブールサイドへ集合せよ」との呼出し状。ヨワッタナ、でも泳げない人なんてしようがないから断つてこよう！ でも、もしコワイお兄さんやお姉さんがいたらどうしよう。アタシワカラナイ！

ブールは一面の緑、マルデ金魚の養殖場、何故かここで毎日、体操をすることになってしまった。そして又、或日、「そんなイヤイヤやるなら、止めてしまえ！」と叱られてしまつたらしいのです。

多分怒ったのは重宗さん。怒られたのはオカカンです。それでも、体操を続けていたのか、やめてしまったのか記憶は定かではありません。やっぽり水泳部なんて辞めちゃおうと思つたいたずらに日は過ぎ行き、夏休み、毎日ブールで練習だなんてとんでもない！ と沼津へ逃走。ところが「二十五米泳いだらオグラ三杯オゴル、五十米では五杯、百米、百五十米……」と書いたハガキが追いかけてきました。当時、都立の駅前に「春日」という喫茶店？ があり、小倉アイスが十五円でした。貧乏人の悲しさ、これに目がくらんだのかいつの間にか多少なりとも泳げるようになつたのでした。

一学年三クラスで女子は全部で五十人、これから水泳部に勧誘し

入部させるのは至難の業と判断したオカカンの名案に乗せられてしまった次第です。新入部員が居なければ女子部は廃止と決まり、各クラスの名簿から女子の名前を片づけながら書いたのだと聞きました。オカカンの名前を聞いたことがありますか？ 日本人にとっては、戦争の後遺症の為、幻となつてしまつたロンドンオリンピックの平泳の選手、都立高校女子水泳部の創始者、岡崎淑子先輩です。

あれから三十年以上過りました。「黒潮」のロクさんも三十三回忌ではないでしょうか。お嬢さんの晩子ちゃんも四十路を迎える頃ですね、お元気でしょうか。何だか雑々と、いろんなことを思い出していました。

無題

三十年卒 竹内 寿美子

水泳大好きです。黒潮からのお誘いを受けた時、あのブールで又、泳げるのかなと、胸ときめくものがありました。私の水泳との出会い、それはフーチャン（今は原川さん）との出会いでもあります。都立へ初めて来た時、廊下できれいな姉妹が声をかけてくれました。フーチャンとお母さんでした。偶然、同じクラスになり、背丈も同じことからそばにいました。そのフーチャンがなんと、水泳部に入ろうと云うのです。びっくりしました。私泳げないんですけど云つたかどうか、とにかく、ズルズルと入部することになりました。その頃の先輩は有名人ばかりでした。紅一点のオカカン（呼び捨てにし

いいのかな）はあの外務大臣のことがチラリと耳に入りました。ドヤドヤと七人ばかり、入って来た私達女子部員に対して、特に頭に立つでもなく、チャホヤということもありませんでしたが男の中で一目置かれたような存在は光っていました。さてプールへ来てしまった私は、そこで泳げないんだと告白したと思います。飛び込み台の下の水の色を見て、青くなりましたが、大先輩もきっとびっくりされたと思います。そこで、ビート板（この木の板が今はなつかしい）に綱をつけて引っぱってくれることになつたのです。たしか重宗先輩が、25m先から入れ入れと叫んでいました。私の方は飛び込み台の下です。背が立たないどころではないのです。目をつぶりました。やりました。やっと顔を上げた私に、やさしい声はなかつたと思います。しかし、それ以来、水泳好きになりました。諸先輩も、女の子に慣れていたのか、競泳にある厳しい鍛え方はされなかつたような気がします。覚えてる対外試合は只一つ、日比谷高校を迎えた時です。百米に出た私は皆がゴールしている頃、五十米のターンをしていました。今の私は、水泳部だったのよと云うと皆が皆笑います。しかし、水に入れればこっちのもの、町のプールでは、泳げる人、速い人とコースを張った中で一寸いいところを見せるんです。ある先生と都内のプール。ホテルからスポーツクラブ会館のプールと渡り歩いたことがあります。久しぶりのフーチャンに、泳いでいるよと電話したら、私は毎日、立教のプールへ行っているわよと軽く云われてしましました。

新記録あとは自分に勝つばかり
今、川柳してます。

寿美子

中村君へ

三十四年卒 山本良雄

中村忠義君とは、高校・大学とも一緒にあり、しかも水泳部でも一緒にありました。彼は、もうこの世の人ではない。三年前の夏、急逝してしまったのだ。私には今もって実感がわからない。

彼は、三菱鉛業セメントの北九州にある工場の製造課長として、社内外の方々との付き合いも多く、連日深夜の帰宅、加えて週末には仕事の延長線でのゴルフといった過密スケジュールを持前の気力と体力でこなしていました。しかし急逝する前日にあつた上司の歓送会での食べ物に当り、翌日には、心不全で逝ってしまった。食中毒を起した人は、他に何人かはいたが、何故か中村君だけが心不全を起してしまった。日頃の疲れが彼の抵抗力を弱めていたのであろうか。解せない。会社の診療所で受けた、食中毒療法としての点滴は、果して正しい措置であったのだろうか。もうこの件については書くまない。他の事を書く積りで書き始めたのだから。

中村君と最後に会ったのは、十年前の夏、千葉館山の民宿で、他の高校時代の友人とと共に、妻・子供連れで一泊二日の旅行を楽しんだときであった。その後、彼は勤務地の秩父あるいは北九州より上京することはあっても、我々高校同期の友と一緒に飲む時間さえなかった。我々が強引にでも、その様な機会をつくるべきであつたのであろう。ワークホリックという言葉がはやつたことがあるが、中村君は、急逝する迄、この状態から抜け出られなかつたのかもしれない。息抜きしつつ、サラリーマン生活を送っている私が、何の助言

もしてあけられなかつたのは、返す返す残念である。中村君は、恐らく、「俺には俺の生き方がある」と反論してきただろう。長い人生の一時期、仕事に、持てるエネルギーの全てを注ぎ込むのは当然であり、「流す」のは良くない事であるが、ささやかな人間の体力への過信は良くない。中村君よ、我々の水泳の記録をみれば明らかではないか。我々は十分な栄養はとれずに、幼少期を過している。中村君は、我々に無理をしてはいけない事を教えてくれたが、その代償はあまりにも大きい。

中村君も参加した千葉館山以来、東京組は互に家に招待したり、飲み会、ゴルフ等で顔を合わせるようにしてきました。子供、奥さん同志も付き合いがよくなつてきました。時には、奥さん同志だけで会食などをするようになつた。この様な付き合いは、今後がますます楽しみである。我々が高校に入学して以来三十年である。我々は後十五年たぬうちに会社という組織からは解放されることだろう。日本の人口の老齢化、社会福祉問題はこの際棚上げして、そうなつた時の人生の楽しみ方をいろいろと考えねばならない。

中村君は、高校時代から、彼の身の回りで起つた出来事を我々に面白おかしく話して聞かせる名人であつた。我々は、いつのまにやら彼の親類が、どこで、何をしているかといった事を全て覚えさせられてしまつた。ある時は、話しに出てくる彼の祖父の住む三島へ出かけた事があつた。歓待はされたが、その祖父に「君達は精神の修養が足らぬ」というレッテルを張られ、近くにあつた臨済宗の龍沢寺で修養させられた思い出がある。一泊か、二泊か記憶が定かでない。龍沢寺には、その後二度訪ねたことがある。今もつて本格的に参禅したいという気持はもつてゐるが、なかなか実現しない。

中村君は、将棋・麻雀・碁・ブリッジ・玉つき・ギター、といった趣味には全て手を出していたが、マスターしたのは、多分ギターだけであろう。私とは、麻雀と碁の好敵手であった。碁は一人で同じ頃覚え始め、シチヨウを最後迄打つて石をとりあげる様な無茶苦茶を楽しんだこと也有つた。彼の室で徹夜の麻雀も、横山君や下里君と共に何度もやり、母上に「タンメン」を御馳走してもらうのを常とした。今もつてあの頃のタンメンの味は忘れられない。

中村君は周囲の人間を楽しませる名人であつた。我々が仕事、子供から解放され、再び学生時代の様に我々の生活を楽しめる時が近づいて来た時に、彼の存在が欠けているのは残念である。我々は三十年來の付き合いを大事にしてきたし、これからもますます大事にしてゆきたいと思つてゐる。中村君は今、生麦の高台にある墓地から我々を見下ろしてゐる。

ワン・シーン

(作者不明)

午後三時半、ブルーに出た

太陽の陽ざしもまだ強い
身体の中をしびれるような開放感がかけぬける

太陽を背にして、真黒な人影がブルーに飛びこんだ
しぶきが七色の虹を生む

穏やかな水面が、小さな宇宙を創りだした

北村隆彦さんの想い出

北村君の想い出

三十八年卒 森 健二

神様、何かの間違えではないですか。

あの頑丈な北村が逝った。

ろうと、彼をいつも標的にしてきたものだ。

彼は後足というわけではなかった。マラソンもトップグループではなかつたが、ラグビーが好きだった。体全体でぶつかって行くことが好きだった。ラグビーは男のスポーツだ。ラグビーの中に彼のエネルギーが燃え盛るのを見た。

あの北村がこの世にいなくなつたと思うと不思議な気がする。三期の連中は早坂（バッタ）、森（ブレスト）、武村（バタフライ）、北村（フリー）、佐伯（女子バッタ）と曲りなりに男子メドレーリレーが組めた。

私から見ると北村はいつもテレテレと流しているように見えた。

（本人は真剣だったと思うが）鬼の横山、地獄の菅野と恐れられたコート陣の怒号もどこ吹く風、彼の顔はいつもニコニコしていた。（元々、えびす顔であるが）その下つた目は“一生懸命やっているんですよ”と訴えかけているようでもあつた。

私もマイペース野郎を自認しているが、当時の彼には及ぶべくもない。無理をしない、肉体も強靭なはずの彼がこの世から一番先に消えてしまつた。

私が車を買ったばかりの時、北村と二人で紀伊半島一周旅行をした時のこと思い出す。ただバカみたいに一日四〇〇㍍五〇〇kmをガムシャラに交互で運転し、走つたものだ。あの大瀬崎の海はきれいだつた。

二百米のインターバルを想い出す。百米では北村は一分二十秒位、こちらは一分三十秒位だったが、二百米までには彼を追い抜いてや

北村とのこと

三十八年卒 早坂義昭

強烈に体に当る太陽、換水したばかりの青い水、そしてカルキの臭い。

都立水泳部時代といつも心に浮かぶ想い出がそれである。同時にブルサイドにいつもいる同じ顔。北村・森・武村・中井そして佐伯。入学した昭和三十五年以来変らない顔であつた。髪に少し白いものが混じり、多少薄くはなつても、今会つてみると二十三年前の少年の顔がそのまま出て来る。それが青春時代に同じ釜の飯を食つた仲間達であろう。

中学時代、鉄棒が大好きだった北村は、小柄ながらも上半身が良く発達し、柔らかそうで均整のとれた体格をしていた。暇な時、鉄棒に足を掛け、逆さまになりぶら下つて、姿は、動物のナマケモノにその風貌からしても良く似ていた。

水泳部に入部した時は、私と北村二人供フリーで五十メートル程度しか泳げなかつたが、練習初日コ一チから二〇〇M泳げと言われ、二人供ビックリ仰天、ターンで休もうとすると、当時の三年生（米倉さん、河北さん、田島さん等）にデッキブランで頭を殴られた。ブル中央でコースローブにつかまり休もうとするとコースローブをはずされた。こうした特訓のおかげ（？）で、初日、二日目二〇〇M、三日目四〇〇M、四日目八〇〇M、五日目一〇〇〇M、そして六日目頃には一五〇〇M泳げる様になつてしまつた。もちろんタイムは論外である。私と北村は、だいたい並んで泳いでいたが、頑張り屋であつた彼は、鬼のようなコ一チ連のいうことを良く守り、必死に泳ぐので、隣りを泳ぐ私は大変つらかつた。それでも一ヶ月程度はほぼ同じ位のタイムで泳げたが、だんだん差がつき、追いつけなくなつて來た。体は、私の方が大きかつたし、走ることも私の方が速かつたにもかかわらずである。

六月下旬、一年生全員四種目の泳ぎをやらされ、当然北村はフリー、中井もフリー、森がブレ、全ての泳ぎに速かつた武村はバタ、仕方なく残つた私は空を見て泳ぐように言われた。當時私は、この非人間的な泳ぎ、一人だけひっくり返つて泳がなければならぬはめになつたことで、諸先輩を大いに恨んだものだつた。アームレスがなかなか出来ず、苦しくて苦しくて仕方がなかつた。森は顔を出しながら楽しそうにブレを、武村は適当に流しながらバタを、そしてエリートである北村は理想的な泳法であるフリーを、私だけ苦しいバック。しかも一年先輩にバックの大変速い河北さんに大変しぼられた。

水泳部の生活は苦しいながらも楽しい毎日であった。北村は、夏、

度しか泳げなかつたが、練習初日コ一チから二〇〇M泳げと言われ、二人供ビックリ仰天、ターンで休もうとすると、当時の三年生（米倉さん、河北さん、田島さん等）にデッキブランで頭を殴られた。ブル中央でコースローブにつかまり休もうとするとコースローブをはずされた。こうした特訓のおかげ（？）で、初日、二日目二〇〇M、三日目四〇〇M、四日目八〇〇M、五日目一〇〇〇M、そして六日目頃には一五〇〇M泳げる様になつてしまつた。もちろんタイムは論外である。私と北村は、だいたい並んで泳いでいたが、頑張り屋であつた彼は、鬼のようなコ一チ連のいうことを良く守り、必死に泳ぐので、隣りを泳ぐ私は大変つらかつた。それでも一ヶ月程度はほぼ同じ位のタイムで泳げたが、だんだん差がつき、追いつけなくなつて來た。体は、私の方が大きかつたし、走ることも私の方が速かつたにもかかわらずである。

水泳部の生活は苦しいながらも楽しい毎日であった。北村は、夏、

丸首半袖の下着一枚で山手線に乗り、座席でアンパンを大変美味そくに食べるというように、他人の目を気にせず我が道を行くところがあつたし、そうした姿が彼には一番似合つていた。

しかし、仲間うちには人一倍気をつかい、特にキャブテンになつてからは、常に全体の事に気を配つていた。二年生になつて体調を崩したが、そのことには全然ふれず、黙々と練習に打ち込んでいた。一年から二年にかけてのシーズンオフには、陸上トレーニングに励み、マラソンも速くなり、彼の発案でラグビー練習をよく行つたことからして、体調を崩してのシーズンは不本意だったに違ひなかつたが、それでも常に人の模範となる態度で練習をしていた。

昭和四十四年の暮から私の家によく遊びに來た。四十五年の一月に私、二月に森、三月に北村というように、メドレーリレーのようにタテ続けに結婚をし、新婚の我が家で水泳部現役時代の話を私の女房にもよくしたものだつた。

その後も、常に北村が音頭をとり、同期の連中が集まり、酒を飲み、麻雀をし、大いに語つたものだつた。今年の黒潮会でも共にリレーを組み、大変楽しかつた。

北村の訃報を聞き、今私の胸の中に大きな穴がボッカリあいてしまつたような気がする。あのんなつっこい笑顔は、常に私の頭の中にながら樂しそうにブレを、武村は適当に流しながらバタを、そしてエリートである北村は理想的な泳法であるフリーを、私だけ苦しいバック。しかも一年先輩にバックの大変速い河北さんに大変しぼられた。

北村君のこと

三十八年卒 中井啓之

武村君から急死を知らされてビックリした。

今でも彼の筋肉が発達した見事な肉体と人なつっこいアンパンのような笑顔が頭に浮かびとても信じられない。人がいつ死ぬか分らないのが現実としても。何年か前に仕事でジャマイカに行つた。

透明なカリブの海に潜つた。海中で「ヒュンヒュン」という不思議な音が聞こえる。原因も分らぬまま浮上する。眼の前をモーターがすごい勢いで通りすぎた。キラキラした太陽と陽気な人々の島で心の浮かれた僕には恐怖感はなかつた。そんな死に方ならまだしも彼の死因が働きすぎといふのは氣の毒で仕方がない。誠実な彼だからこそ、頑張つて倒れたのだろう。せめて、男らしく人生を戦つて去つていつたと思いたい。僕たちに善意と笑顔を残して早くに行つてしまつた彼の冥福を心から祈ります。

突然急いで旅立たなければならないのだ。
子供（中三、小六）二人そして、中学時代から暖め育て上げた最愛の教子夫人を残して、君には夫として父として、まだまだ為すべき事が沢山残つているのではないか。

五〇周年記念の黒潮会の総会の時には、中村先輩の不慮の死を知られ、大きな衝撃をあじわされた。中村先輩との思い出は我々が現役の頃までさかのぼるが、本当に楽しく、面白く、すばらしい人であつた記憶が鮮明によみがえつてくる。そして今度は三年間同じ釜の飯を食つた親友の死である。

北村君とは同じ世代の水泳部員としてだけではなく、未亡人となられた教子夫人、北村君本人、そして我が妻三人がそろつて世田谷区立深沢中学校で同じクラスであった関係で残からぬ因縁で結ばれ、以来家族ぐるみの付合いが二十年近く続けられてきた。残された家族のことを思うにつづけさせかし残念な思いを残し往つてしまつたのだろう。

北村君は我々三十八期卒の代のキャプテンであった。我々が一年の時には十名を越す部員がいた。当時の学校の規模からいえばかなりの大所帯の部であった。最終的には六名しか残らなかつたが、二年に進級時にキャプテン選出時、どの様な方法で彼が選ばれたかは忘れてしまつたが（先輩の推薦、現役の投票か？）、彼がキャプテンに選ばれたことに異存を唱える者は一人もいなかつた。当然の選出として皆から受止められていたことは明確であった。水泳の様に記録がはつきりと出る競技に於いて、彼の記録は当時としても飛抜昭和六十一年十月三十一日、出先の横浜で、コンピュータのワーカステーションの前で仕事中であつた。一本の電話が入り、北村君の死の知らせがはいつた。頭の中が真白になる様な一瞬が過ぎ、そして深い悲しみと、いいようのない怒りが込上ってきた。なぜ？

三十八年卒 武村昶正

けていた訳でもなく、記録の面で取上げれば他の人が選ばれてもおかしくはなかつたが、責任感の強さ、リーダーシップ性、真面目さ等、今でも我々の代のキャプテンを続けていて欲しかつた。本当に残念でしたかがない。

彼との思い出、生前の彼のエピソードを書いていたらいくらくらいががあつてもたりませんので、最後に後輩諸氏には、自分の経験からも都立の三年間には生涯付合える本当の友人を見付けなさいと言いたい。

自分にとって、そして我々にとって北村君の誠実で暖かい人柄は一生忘ることは出来ません。今はただ北村君の安らかな眠りと、取残されてしまった家族のお幸せを祈るばかりです。

そして中村先輩、北村君、都立のブールでの思い出を語りあってください。御両人の冥福を心からお祈り申し上げます。

昭和六十一年十一月

お知らせ

今回、別冊で会員名簿を発行するため、往復葉書で住所の変更等を調べました。返送されたものは61・12付で不明とし、返信されたもの及び返送も返信もされないものは変更及びそのままにしておきました。不明の方や変更の方で御存知のものがあれば御手数ですが61年卒の岩淵まで御一報下さい。

宣しくお願ひします。

三十八年卒 山田久美子(旧姓佐伯)

私は、北村君という人は、とにかくまじめな人だったという感じが残つてゐる。

いつの日の事だつたか、みんなと泳いでいた彼は、一人の上級生と接戦になつた。そして先輩達にはげまされ、彼は非常に張りきつて、ついにその上級生を抜いて彼が先に、ゴールインしたのだった。

その時よっぽど頑張つたのだろう。彼はブールサイドに上の前に、そこでもどしてしまつたのである。私は、それをブールサイドから見ていて、びっくりしたと共に、彼は何と頑張りやさんんだろうと、感激してしまつた。

それがとても強く印象に残つていて、あれから二十五年たつた今でも、はつきりとその状況を思い浮かべ事ができる。

残された御家族の皆様が強く生きて行かれる事を心よりお祈り申し上げます。

北村君の思い出

三十八年卒 山田久美子(旧姓佐伯)

私は、北村君という人は、とにかくまじめな人だったという感じが残つてゐる。

いつの日の事だつたか、みんなと泳いでいた彼は、一人の上級生と接戦になつた。そして先輩達にはげまされ、彼は非常に張りきつて、ついにその上級生を抜いて彼が先に、ゴールインしたのだった。

近況報告

十四年卒　糸川三男

五年前の脳血栓后の半マヒが再発して歩行困難。
仕事は眼科医院を経営。
㈱ナイフは退社

三十一年卒　谷若葉
今年も残り少なくなりました。いつも御苦労様です。
「黒潮」は楽しく読ませて戴いてますが、母が重病であぶない状態をくり返していますので、相すみませんがごかんべん下さい。
どうぞ良いお年を！
増々の御活躍を祈り上げます。

三十八年卒　山田久美子(旧姓佐伯)

結婚してすぐ甲府へ行き、そこで丸三年、東京に半年、鎌倉、七里ヶ浜で隣りに越したりして約六年、そしてここ川崎の王禅寺に住みついて八年目です。

子供達は長女高三、次女高一、長男中二、次男小三で、四人共近くのスイミングスクールに通っていましたが、現在、長男だけが選手クラスに残ってやっています。そして私も現在、おばさんクラスで週一回、一五〇〇m位泳いでいます。

水泳に燃えていた頃は週に三回も通いましたが、今は少々熱も冷めて来ました。でも健康の為にずっとこのまま続けようと思っています。

しかし、この年になつてからバタフライをやらされて、最初の頃は腰が痛くなるし、体がバラバラになつてしまつた様な感じがしました。子供達からは「お母さんがやるのはババフライだ」とか、「イルカというよりはトドみたいだ」とさんざんばかにされながらも、今ではやつと痛くもならずに泳げるようになりました。あとはいつまで体力が続くかが勝負だと思っています。

世界の海 VI

私、婦社会行動研究所という市場調査の会社に勤めております。最近は社内のOA化のシステム設計、開発を中心に動いており、コンピューター好きになってきた所です。

都高で泳いでいた時と同じように、やる時は気合いをいれて必死に進む姿勢であります。P.S. 現役の皆さん、何事もやる時は気合いで頑張って下さい。

五十四年卒 中川かおり(旧姓齊藤)

十月十四日に女の子のママさんになつてしましました。

ただ今大忙しでおしめを洗っています。

というわけで、書けなくてごめんなさい。

うちの娘は、南ちゃんです。

(ミーハーなお母さんでごめんね)

六十年卒 角田篤俊

ヘッド・コーチ終了後、黒潮第三十四号の編集中。日本水泳連盟第二種一般水泳指導員取得。現在、日水連公認競泳コーチ研修生、ピープルスイミングスクール多摩でインストラクターとして成人及び子供(二歳と小四)の指導をしています。

五月に開催される、東京国際水泳コーチ・クリニック、日本体育施設協会水泳指導管理士養成講習会、マスターズ短水路大会にそれぞれ参加予定。

二十五年卒 菅野義信

一昨年の夏本当に何年ぶりであつたろうか都立のブールで二十五米泳がせてもらつた。八月の総会に出席し、駒沢のオリンピック公園を横切り懇親会場へ移動し、もうさすがに遠くなつた言葉で云えば「コンバ」に出席した。折悪しく一寸した颶風で雨風の強い日で

あつた。二十年、三十年ぶりで会う方々、私のように気が小さい者には声もかけられないような感じである。先輩ではようやく田中正太郎氏・村中正治氏に声をかけた。町田富士夫氏は下関におられたことがあり、又広島でもお会いしているので再会を喜びあえた。帰りに吉田泰三氏(ガマ)も付合つてくれて嬉しかつた。小谷野和郎氏かもう一人、合計四人で隣りの喫茶店に立寄つて話し合えたのは何よりであった。広島から総会に出席することなどほとんど不可能で、私としては二十五年ぶり以上ではなかつたろうか。医科歯科の助手の時一回出席し、小杉に会つて以来(一九六〇年から一九六一年)出かけることができた。この直後の日航機惨事も記憶に新らしい。阪大の友人塚原を失つた。

亡つた方と云えば黒潮三十三号に宮本三郎氏が故雁部陽氏のことを見かれていた。一体誰が彼のことを忘れようか。51年と59年の名簿にはただ戦死と書いてある。私は雁部三兄弟をよく存じあげ、お宅がアカシ屋の横の坂道を下り、小川を越して少し上つた途中の白亜の立派な建物で何度もお邪魔した。御存知の方も多いと思うが次

弟の敬氏は医者で、その次の方は音楽家である。どの方も少しつづりタイプは違うが何というのか、とにかく心の暖い方たちで、お会いしている時いつでも気分が良いのである。敬氏には義兄が病院（「立市」）で死ぬ時ことの他お世話になつた。何としても陽氏は本当に犬死であつた。

水泳部の諸氏でも亡くなられた方が案外少くない。どうしても私の年齢に近い所になるが入浴中感電死した秀才、作間正次氏は忘れられない。東大の寮での出来事である。小池清氏の死亡も悲しかつたし、同級、宮下守正の死もやりきれない思いである。結核で療養の甲斐なく逝かれた高津太平氏もよく覚えている。新潟医大の学生だった私は夏の一日、二十七年卒の同級の誰かと藤沢の自宅へ見舞いに行つた。その時は割に元気で結核ぐらいでそんなに早く死ぬとは思わなかつた。

三題ばなしを書かれた宮本三郎氏はブールでは無茶苦茶にこわい存在であつた。尋常科一年の私が夏休中ブールサイドで先輩の高等科生徒の練習を眺めいたら、何をしているのだとすごい剣幕で叱られた。その時根来清太郎氏がいて、いやこれは尋常科新入の水泳部員でカンノつて云うんだよととりなしてくれた。その時の根来氏の笑顔は今も忘れられない。根来氏の話はいろいろの時にてくる。同級生で今シカゴのウエスタンリザーブ大の教授である檜橋（旧姓石井）敏夫氏は今もあれほど頭の良い人はいなかつたとなつかしいでおられた。誰方が書いておられたが京大卒業後の根来氏は純粹さの故にか変つてゆかれたようである（黒潮二九号・中谷滋氏）。

前記雁部陽氏については上原信一郎氏の二回にわたる記事（黒潮十三・四号と一七号）は圧巻で特に一七号94頁にはルソン島の地図

上にサラクサク岬の戦死位置まで書かれている。犬死の雁部陽氏も友人には恵まれたのではなかろうか。しかしこれを書いていてやはり目頭があつくなつてくる。十三・四号には根来氏と高津氏の一文がある。根来氏のは作間の思い出である。一五号は高津氏の追悼号になつてゐる。私は清水義文氏と藤沢へ行つたような気がする。一六号が小池氏の追悼号である。それからは追悼号の必要がなくなつたのであらうか。

私は根来氏が医学書院におられたこともあつて昭和五十二・三年頃お会いしている。しかしこの時の出会いは何とも心ににがいものであった。医学書院の前で会い喫茶店にでも行つたのだったろうか。根来氏はこれはあいつに書かせればいいかとかこのテーマはあいつがいい、書かせてやろうというようなことの連発で書き手の方の私はだんだん気が重いって來てしまつた。ブールサイドでの尋常科一年生への笑顔は何處へ行つてしまつたのであろうか。私はこの時もう根来氏とは二度と会うまいと決心した。あのブールサイドの笑顔をそのままにしておきたかった。そして間もなく逝かれた。檜橋敏夫氏にこのことは云つていらない。檜橋さんも根来氏に執筆の依頼をうけたことがあるようだつた。これは不たしかであるが。

宮本三郎氏の三題話も心をうたれます。しかし今もし陪審制ができたら、有罪や形の制定がよりきびしくなるのではないかと怖れます。戦争中、洋楽を楽しみ、外国との交流をもつとも注意して洩れないようにしなければならなかつたのは警察そのものではなく、そこへたれこむ普通の善意の日本人隣人たちであつたのです。秘密防衛法のおそろしさは隣人たちにあるのです。何時まで世界の海を書いていられるか今のうちに書くことに致しましよう。

シンガポールからジエット機で、一時間ほどでスマトラ島北部の最大都市メダンに着きます。メダンの町はメダン港から数キロ内陸に入ったところですが、途上国の港は我々一人では一寸行けない所です。港には海の魚やえび・かにの料理のうまいレストランがありますが、性犯罪も少くない港地区を楽しむにはどうしても現地の良く事情を知っている人と行く必要があります。長年港湾に働いていたことのある友人の運転手氏の車はいたるところのクサリの柵を簡単に開けてもらい港湾に入り、港の建物を見学し、レストランへ行つた。港湾の外はマンゴローブに覆われた密林で、港湾の建物は何と人間くさいものであつたか。一見して性を売ると思われる人達、港は、とりわけ途上国の港はにぎやかでもの悲しい。

トバ湖は箱根の芦の湖のようにスマトラ北部にあるリゾートでもあり、歴史的にも興味ある地域である。湖の中央にあるサルシモ島は島の中の島と呼ばれ、王家の葛藤で血なまぐさい歴史があつた所である。太平洋戦争中日本軍が上陸した頃かその直前まで首狩りが部族間で行われていたとの噂もあつた。今は観光地で土産物屋が並び、この地方独特のバタック式の木造家屋が保存されている。可成り大きな家が人の背の高さほどの柱にさえられ、中空に建てられている。サソリ等の毒虫や動物からおそれたりすることがないよう、梯子をかけて家の出入をするようになつてゐる。人々の智恵の集積であろう。細長い湖の平野側の中央にある小さい町バラバットにリゾートホテルがいくつかある。一泊し泳いだことは云うまでもない。背の立つところには湖の底に一極幅で長さ2乃至3米の藻がところどころに群生している。水面上からは見えないので体を横にして水面上を泳いで少し沖に出て背のたたない所へ行くと気持が良

い。多少高さはあるがもともと熱帯なので水温はそれほど低くない。日本の夏のブールの程度であった。二十三乃至四度ぐらいであろうか。リゾート地なのでモーターボートや足でスクランブルをまわすボートがあるが、モーターボートは二一二隻しか動いていなかつた。水は日本の琵琶湖の程度のよこれ方であろうか。この辺にもその國のむつかしさが示されている。住民の文化とモラルと開発のかね合は世界の問題である。

メダンからバラバットへの道のりは車で約三時間半途中いくつかの町があるが、スマラスタギの果物市場は有名である。アナナス（ハイナップル）の大きく立派なには全くびっくりする。マルキッサはインドネシアでもスマトラのスマラスタギのあたりにのみ産出する甘びっぱいザクロのようなものであるが、他の地でもその気になれば栽培はできるのであろうが、名物にしてあるのであろうか。ジユースにするとまとこととに美味である。水爪はサンカと云い、バナナはピインサンである。その他ランブタン、サラ、ナシカ、ドク、アンボン等あるが王様はドリアンである。独特のくさみはあるが、白い果肉をとり出した、ねつとりしたクリーム状のものは成程王様の味である。ブラジルでは食べなかつたがメダンでは堪能した。ジャカルタでは又時と場合によつては人々の気持も変化するのであろうけれども、インドネシアの人達は一般に丁寧である。日本へ来る留学生もそれまでに受けた教育レベルがあまりに違いすぎるので、勉学には苦労しているが一生懸命勉強する。私のメダン滞在中に若い大学の先生たちからこれだけ資源のある祖国がどうしてこんなに貧しいのか、我々はどうしたら良いのかと真剣なまなざして意見を求められた。私はとうていそれに答えられる能力はない。しかし日本

では今でも医者で歯科医で大学の教授で、世界中をまわって仕事をして、学生を教え、大学の管理業務もやっているのに収入は年収で一千円そこそくで税金は地方税だけで七十万円をこえる。国税は収入の $\frac{1}{3}$ 程度の私の暮しぶりをみている外国人は一様に眼を丸くする。私と同様の地位にいる外国人のその国における収入と地位とはあまりにかけはなれている。これが日本経済を復興しさえた理由の一つではなかろうか。

次は初等教育の充実であろう。日本の初等教育は何でも反対される日教祖が長年ぎゅうじつて来たが、すでに破綻を来たした。塾教育は勉学内容の亢上には大いに力があつたが人間教育は望むべくもない。家庭教育の破綻と共に新人類が出現してきたことは各方面から指摘されている。これからどうなるか日本も必ずしも楽観は許されまい。

とにかくインドネシア他途上国では人々の教育レベルや貧富の差が甚だしきるのである。

私の学部でもアジア各国からの留学生を受け入れている。その指導負担は大変なものである。政府の十万人留学生受け入れ計画が時折話題にのぼる。一体誰が留学生をどれだけの費用をかけてお世話をのであらうか。私のメダン行はメダンの北スマトラ大学の招聘による。約10日間滞在し週末二日間トバ湖で休養した。4日間講義をし、残りの4日のうち一日は遊ばせてもらい、三日間は研究の打合せや大学の見学をした。メダン滞在中の費用は先方の大学他で負担してくれたが、往復の飛行機賃は自身のポケットマネーである。インドネシアには外貨がないのでどうにもならないらしい。トバ湖の一泊のホテル以外、メダンでは私は大学のゲストハウスに3泊し、

あとは副学長さんの家に寄宿していた。御夫婦に大学生の子供2人、お手伝いが3人ほどで夜はほとんど毎晩どこかの家に招待されるので、食事は朝お世話になるだけであった。昼食は大学の食堂か、外の食堂へ行くことが大部分であった。水道水も煮沸しないと危険で、水分は果物からとるのが外では安全である。大学のゲストハウスにも副学長さんの家にも煮沸した湯さましはボットに入れてある。

イスラムの国なので原則としてアルコールぬきである。しかし私の酒好きを知っている広島にいたものとの留学生がビールを一打とどけてくれていた。夜ものすごいスコールで眼をさまし、疲れぬ夜に生まれるビールを飲むのもまことに楽しかった。

北スマトラ大学医学部の図書館と研究設備は皆無に等しい。これでは切角日本で研究の仕方を学んでも自國に帰っての研究継続はほとんど不可能である。私はフィールドワーク、(住民の歯科疾患の調査)でも研究を続けるよう強く示唆してきた。しかし午後は開業している自分の診療所で働き、大学には昼食をすませ一時か二時頃までしかいないのでは研究をすることは極度に困難である。

インドネシア人の人柄はまことにやさしく、良い人たちである。たまたま一緒になつた日本人の女の子が睡眠不足と半パンツという不用意なリゾート的でたちで、サモン島に船でゆき、すっかり体温を下げてたおれた時、私と相談しながら衣類を購入し、だきかかえるようにさせてはあたためてくれたのは女性の矯正歯科の教授であった。まるで母親が娘をだいて世話をしているようで私はいたく感動した。体温を恢復した女の子が一時間程で元気をとりもどして来たことは云うまでもない。

世界の海で、泳ぎながらの私の仕事がまだまだあるような気がす

る。何時になつたら日本でアジアの人達と同じ土俵で学問の討議ができるようになるのであろうか。ヨーロッパでは何時でもやつてゐることが。

(一九八七・三・十二)

鬼のヘッド・コーチ本家の引退宣言

六十年卒 角田篤俊

これを発送しようと思つて又三十三号をよんでみて、いろいろあつても水泳部は健全だなと思つています。しかしやはり東京在住のOBたちはそれなりに相談にのつてあげたり、指導の手助けをしてあげてほしいと思います。今の子供達は大学生も高校生も中学生もいろいろ問題や悩みがあることが私には判るからです。ある時代は何でもなく許容されたことが許容されなくなつたり、一方腹がへつて腹がへつて食べるものもないというようなことはなくなりました。

周囲の事情が変化することはそれなりに対応して、しかも伝統をのこしてゆくことも大変なことだと思います。現役の生徒さんの文章をよんで部の生活がみえるようです。この雑誌がOBとの又友人同士の交流の場に又交流の輪に広がつてくれることを心から願つています。東京からやはり約一千糸米はなれているのが残念ですが同級の正村が広島気象台長として来てくれるようでしたのみにしていました。

昭和五十七年、栄光の都高水泳部に入部以来、今日迄五年間、都高水泳部ならびに角田篤俊のために、絶大なる御支援を頂きまして、誠にありがとうございました。

皆様から頂戴いたしました御支援、熱烈なる応援を頂きまして、今日迄私なりの水泳生活を続けてまいりました。今、ここに、自らの体力の限界を知るに至り、引退を決意いたしました。

振り返りますれば三年間に渡る現役生活、二年間に渡るコーチ生活、色々な事がございました。その試合や練習をひとつひとつ思い起します時に、好調時は、皆様の激しい大きな応援を、この本家の数々のひとつに支えられまして、今日迄やり通す事ができました。

不運にも、わが都高水泳部は関東六高校大会、男子V3、女子V2を目指し、ヘッド・コーチ以下選手一丸となり、死力を尽くして最後の最後までベストを尽くし戦いましたが、力ここに及ばず、二年連続アベック優勝の夢は破れ去りました。私は今日、引退をいたしましたが、わが都高水泳部は永久に不滅です。

今後、微力ではありますが黒潮会の新しい歴史の発展のために、栄光ある都高水泳部が明日の十六校大会総合六位入賞のために、今日迄皆様方から頂いた、御支援・御声援をかけてとしまして、更に前進して行く覚悟でございます。長い間みなさん、本当にありがとうございました。

※編集注：菅野先輩の原稿は切後届いたため卒業年度順となりました。

せんでした。御了承下さい。

現役の部

おのうえまさみ・青春メモリー

—秋のきらいな夏男—

出生の秘密

(B.G.M. "Yesterday" The Beatles)

小学校に入つて間もなく父が

「男なら泳げないでどうする！」

と言つた。なぜ父がこんな事を言つたのか、要するに自分が好きな釣りに行って、いつしょに来た僕が溺れて死んだら困るという事からしかつた。

—という訳で、兄といつしょに近くにある「あしかりスイミングクラブ」に通つた。そのお蔭で僕は学校で「初めて足をつかずに50mを泳ぎ切つた男」という異名を取る事ができ

た。しかし、そのクラブも2年にはやめてしまい泳げる場所は学校のプールと、父と釣りに行つた所だけとなつてしまつた。(ちなみに僕の家の近くにある多摩川は僕が生まれる前から遊泳禁止である。

だから僕は家の近くで泳いだことは3回しかない)すると、それまで得意だったクロールが伸びなくなつてしまい、そして、その代わりになぜか平泳ぎが速くなり出した。誰に教わつた訳でもないし、別に練習をした訳でもない。自分でも不思議な位、自然にだ。そし

ていつの日か、平泳ぎがクロールよりも速くなつていたのだった。平泳ぎなら大抵の奴より速く泳げたのだが、クロールでは女の子よりも遅いという笑うに笑えない状態が続いた。そこで僕が考え出したのは、平泳ぎ泳者としてデビューして、決して人前でクロールを泳がない事だった。

さて6年生の時の話だ。この年、地区対抗水泳大会なるものがあつて50m平泳ぎに出場することになった。それまで僕は一度も競泳というものをしたことがなく平泳ぎのタイムも計つたこともなかつた。そのころ速い方ではあったが誰が一番なのかは分らなかつた。しかし誰が見ても速そうな奴がいた。そいつは僕より体が大きく、がっしりしていた。その彼が大会で僕と同じレースになつてしまつたのだ。僕には彼に勝つ自信はなかつた。しかし、レースを間近に控えたその時だ、彼が、「こんなレースじゃ、楽勝で一番だよ」

と言つたのだ。この一言が僕の体に何か熱いものを甦らし、負けたくない」という闘志を呼び起しした。誰もが彼の勝利を確信していた。僕もその内の一人だった。だが今は違つていた。

レースは予想を反して彼と僕との競り合いになつた。基本もくそもなつてないから、ただただ力まかせに泳いだ。結果は——おそらくこれが水泳人生初めて味わつた勝利の瞬間だつたろう。僕が五十一秒前半で彼が五十一秒後半だつた。コンマ差ではあつたが

これはまぎれもない勝利だったのだ。

中学時代はこれと言つてエキサイティングな事はなかつた。中2の時、世田谷区立中学連合水泳競技大会に出たが、この時は非慘だった。初めての長水路と、初めて泳ぐ100m。初めての大きな大会で、泳ぐコースは9コースだった。泳ぐ前、緊張しまくり、飛び込みと同時にゴーグルを外し、ターンサイドで壁に激突、掘む所がなかつたのでズルッとすべり、前半から飛ばしまくったので後半筋肉が動かなくなつて、レースでは見事にビリ。ハッハッハッ——だ。ふん、

水泳なんかキレイだい。僕には剣道があるもんね。僕は「六三四の剣」をやるんだもーんね、だ。中学時代、剣道少年だった僕はこう思つていだ。冬の間はこれで良いが、夏はまた来てしまうのである。

そして、この夏こそが都高水泳部に僕が入部するという引き金となる夏だった。

中3の夏休みは特にする事もないで夏期講習に通つた。クーラーも扇風機もない教室での授業は地獄に勝る苦しみで、お皿の水は乾き切ついていた。

「水だあ。水をくれえー」

という訳で、昼に終わつて帰ると丁度始まる学校のプール開放に、僕は迷わずに通つていた。そこにバイトで指導員として来ていた3人の大学生がとてもおかしい人達だった。

一人は赤いファミリアかなんかに乗つていた。隣りのお兄さん。て感じの人。一人は外見だけ見るとな学の香取みたいで、性格と喋り方が丁度、数学の香取みたいだった人。そしてもう一人は日体大のTシャツを着た、丁度古荘さんと樺田さんをたして2で割つたような少し危険な……いや、かなり危険な人。この3人に僕は平泳ぎ

の基本を教えてもらったのだ。お蔭で自己流だつた泳ぎが少しづつ基本に忠実になつていき、二学期初めの校内水泳大会で夢の四十秒台突破を実現させる三十九秒二というタイムを出せるまでに至つたのだ。まだクロールで四十秒を切つていない頃の話である。

こうして自信をつけたお蔭で高校で水泳部入部という段取りになつたのである。この3人がいなければ、もしかしたら今の僕は存在していなかつたかも知れない。

THE・高校時代

(B.G.M. "Help" The Beatles)

都立大附属高校に入学した。そしてクラブ勧誘が始まつた。この時は特に水泳をやりたかった訳ではなかつたが、何かをしたいといつて欲求に駆られていた。そして去年の夏の事もあつたので僕は水泳部の人に誘われるのを待つていた。しかし、一向に誘われなかつた。仕方なく水泳部の机の前をうろろしていると、やつと女の先輩に誘われた。その時「君どことなく関君に似てるね」と言つられた。今なら「ひえ／そんなんめつそらもございません」とつい土下座して謝つてしまふこの事実、当時は何も知らなかつたので、ただただ苦笑いをするだけだった。

最初のミューイングの時だ。「一年生はここに名前を書いて」と言つたから名前を書こうと思ったら、すでにもう「尾上」と書いてあつた。「あれ?」と考へること数秒、その下に「健二」という奇妙かつ、ババッちい字があることに気が付いた。その名の持主が、ゴキブリケンジ、通称「オガミケンジ」である事に気付いたのは数分後だった。名字が同じでありますから読み方が違ひ、他人であ

これはまぎれもない勝利だったのだ。

中学時代はこれと言つてエキサイティングな事はなかつた。中2の時、世田谷区立中学連合水泳競技大会に出たが、この時は非慘だった。初めての長水路と、初めて泳ぐ100m。初めての大きな大会で、泳ぐコースは9コースだった。泳ぐ前、緊張しまくり、飛び込みと同時にゴーグルを外し、ターンサイドで壁に激突、掘む所がなかつたのでズルッとすべり、前半から飛ばしまくったので後半筋肉が動かなくなつて、レースでは見事にビリ。ハッハッハッ——だ。ふん、

水泳なんかキレイだい。僕には剣道があるもんね。僕は「六三四の剣」をやるんだもーんね、だ。中学時代、剣道少年だった僕はこう思つていだ。冬の間はこれで良いが、夏はまた来てしまうのである。

そして、この夏こそが都高水泳部に僕が入部するという引き金となる夏だった。

中3の夏休みは特にする事もないで夏期講習に通つた。クーラーも扇風機もない教室での授業は地獄に勝る苦しみで、お皿の水は乾き切ついていた。

「水だあ。水をくれえー」

という訳で、昼に終わつて帰ると丁度始まる学校のプール開放に、僕は迷わずに通つていた。そこにバイトで指導員として来ていた3人の大学生がとてもおかしい人達だった。

一人は赤いファミリアかなんかに乗つていた。隣りのお兄さん。て感じの人。一人は外見だけ見るとな学の香取みたいで、性格と喋り方が丁度、数学の香取みたいだった人。そしてもう一人は日体大のTシャツを着た、丁度古荘さんと樺田さんをたして2で割つたような少し危険な……いや、かなり危険な人。この3人に僕は平泳ぎ

の基本を教えてもらったのだ。お蔭で自己流だつた泳ぎが少しづつ基本に忠実になつていき、二学期初めの校内水泳大会で夢の四十秒台突破を実現させる三十九秒二というタイムを出せるまでに至つたのだ。まだクロールで四十秒を切つていない頃の話である。

こうして自信をつけたお蔭で高校で水泳部入部という段取りになつたのである。この3人がいなければ、もしかしたら今の僕は存在していなかつたかも知れない。

THE・高校時代

(B.G.M. "Help" The Beatles)

都立大附属高校に入学した。そしてクラブ勧誘が始まつた。この時は特に水泳をやりたかった訳ではなかつたが、何かをしたいといつて欲求に駆られていた。そして去年の夏の事もあつたので僕は水泳部の人に誘われるのを待つていた。しかし、一向に誘われなかつた。仕方なく水泳部の机の前をうろろしていると、やつと女の先輩に誘われた。その時「君どことなく関君に似てるね」と言つられた。今なら「ひえ／そんなんめつそらもございません」とつい土下座して謝つてしまふこの事実、当時は何も知らなかつたので、ただただ苦笑いをするだけだった。

最初のミューイングの時だ。「一年生はここに名前を書いて」と言つたから名前を書こうと思ったら、すでにもう「尾上」と書いてあつた。「あれ?」と考へること数秒、その下に「健二」という奇妙かつ、ババッちい字があることに気が付いた。その名の持主が、ゴキブリケンジ、通称「オガミケンジ」である事に気付いたのは数分後だった。名字が同じでありますから読み方が違ひ、他人であ

りながら色が似てる。この2人が後に歴代の上から2つを占めると
は、この時、誰が予想したであろうか。

自己紹介が終わり、僕は自分が平泳ぎオンリーのスマーマーであることを告げ、どの先輩が平泳ぎなのか捜していった。しかし彼らの口からは決して「平泳ぎ」とか「クロール」とかの言葉は出ず、「レスト」とか「フリー」とかいう専門用語を使っていた。「フリー＝クロール」は分ったが「レスト」とは何かはつきりしなかった。したがって結局その日は誰が平泳ぎなのか分らなかつた「平泳ぎ＝レスト」だとはつきり知つたのは数日後だった。その時、僕は、「高校の水泳部は一味違う」と悟つたのであつた。

春先の頃、一年生だけでBrのP・K・Cの練習をした。自分でRESTを見てやるので速い順に終わるのだが、僕より先に女の水着を着てゐる人が終わっていた。「誰だあ？これ。男のくせに女の水着なんか着てんじゃねえよ」と思つてはいた。そのコースに2年生の女子のBrの人がいたというのを知つたのは数分後だった。

都春期の日、ボクは今までに会つたことのない水泳部の人と会つた。その人は3年生で色白で背が高く、手と足と顔がやたらでかい人だ。この人はこの年、他に歴1をいっぱい持つてゐるBrにまで進出してきて、後に僕の目標となる人であった。

とにかく一年目は何が何だか分らないうちに終わつてしまつたようだ。期末テストが終わつたその日に僕は沼津合宿に行き、そして今はその帰りのバスの中にいた。

(い…いかん。このままでは早く着いてしまう。何とか手を打たなくては。)

な事に十七人の同期の内、僕のクラスには水泳部員は他に女子が一人いるだけだった。そこで僕は彼女に「教室で時間潰して行こうな」と言つた。もう安心と思っていた。ところが学校に着いて気が付くとそいつはいなく、近くの人に聞くと「もう部活に行つたよ」と言われた。僕はあつさり彼女に裏切られた訳である。仕方なく急いでブルサイドに行くと予定より早く着いたのに「遅いぞ」と言われた。そして桂川先輩に「アッブしなさい」と言われた。それまで僕は正直な話桂川先輩の事をわりときれいで、やさしそうな先輩と(まじで)思つていた。

しかし、そのイメージが次の二言であつさりぶち壊れた。

「そーねー。時間もな
いしー。みんなが終わる
まで、ずーと、100インタ
ーやってよね」「うおお
…………」

――こうして僕の新ら
たなる夏が始まったのだ
った。(B.G.M. "I Feel
Fine" The Beatles)

84 戸山戦の日に光延氏の考案によりついに完成!
題に "これがかつおマークだ!!"

桂川先輩も
イメージさせる
目

当時の桂川先輩の
ヘアースタイル

かつおからとられた
斬新なデザイン

これがかつおマークである
ことを証明する字

元祖かつおマーク

元祖だからここに元祖と入る

を学び、僕の青春のONE STEPになつた年だつたかも知れない。

さて、僕はこの年、かつお組という「どひんしゅく」チームに属した。このチームは全員Brだった。コーチは大怪獣かつごん、おつと連つた……桂川裕加先輩で、かつての女子の歴1を持つていた人だ。そしてそのいにえは僕の他に2年の光延拓洋先輩と、同じ1年の丹羽晶子と和田小雪だった。

一年目の僕はいつも文句ばかり言つてRESTを増やそうとしていた。次の文は実際に良くあつた会話である。

「セイ！セイ！セイ！セガンバ！」（必ずセイとガンバがつながつてしまふ）

バシヤ

「おのうえくん一分三十四秒九、

いいぞ一次もつと飛ばしてらっしゃいね！」

「センバーイ。ハアハア、待つて下さいよハア、もうひざが痛くて動かないんですよ」

「ふ——ん。それで

「これ以上やつたらヒザをおかしくしゃりますよお」

「ふ——ん。そーなの

1. それじゃあ……」

と一瞬期待を持たせておいて、

「はいっじやいくよ、ヨーイゴ！」



これが大陸最強かつごんだ!!

「あらら……」
しかし光延先輩はうまかつた。桂川先輩がメニューを言つた後、すかさずこう言うのだった。

「先輩、その練習はダメですよ」

「え？ ジヤドーゆーのがいいの？」

「そうですねえ。こんなはどうです」

「あついわねえ。それもやりたいなあ」

「こう言うのもありますよ」

「そんなのダメよ」

「じゃあ、こんなのは」

（こーやって散々時間を潰し）

「一体どれがいいのよお」

「やっぽりこれがいいですね」

「それ、わたしのメニューじゃないのよノもう！」

ホント一年のシーズンは楽しかった。苦しい時もあつたが（たぶん苦しい時の方が多かったと思うが）今思えば良い事ばかりだった。

何を見ても新鮮で、NEO政の土台が作られた年と言つていいいだろう。かつお組に入つて本当に良かつたと思つた。しかし、たしかその年の納会の時だ。桂川先輩がこう言った。

「私、おのうえくんてあまり持ちたくないかったのよねえ。Brで変な子が入つて来たって聞いて、いやな予感がしてたんだあ」

チャンチャン

かつおマーケ応用篇



口を開けた
フフらなひとみの
かつおマーケ

さてシーズンも終わり僕はキャブテンになった。（B.G.M. "A Hard Days Night" The Beatles）キャブテンはクラブを引っ張つて行かなくてはならない存在であり、やる事は多かった。また失敗も数限りない。その点でおがみや愛子に迷惑をかけまくっていた。

一年のオフは僕ははじめてやろうと思っていた。我々37期はレンジングの異常繁殖、はたまたイナゴの襲撃とも言われる程の人数で男女合わせて17人もいた。17人の意見をまとめるのは至難の技で特に（こんな事言つたら金属バットで殴られそうだが……）11人の女子が全員わがままで、あまり言うことを素直に聞いてくれなかつた。その中でも「アウ、アウ」と鳴く北の海に住む巨大動物（ここでは仮にTとしておく）がその中の筆頭で、そのTが一度「やだ」と言うと、他の女子もそろつて「やだ」という事になり收拾がつかなかつた。

しかしそれも冬の間だけだったと思う。

2年になつた。クラブ勧説をして、最初のミューーティングの時の話だ。なんと今年もまた入部希望者がどんどん来るのである。それも今年は男ばかり、37期の女子が魅力的だったのか（そうは思いたくないが）、水泳の好きな奴が多かったのか。20人位来ていたらしく。色々な奴が来ていた。でかい奴、ちっこい奴、自分は100Frで一分切つてますと言つてゐる奴（こいつは女に走る？）と言つてやめてしまつたが）。とにかく第一印象はおもしろそうな奴ばかりだと思った。でも全部入つたらどうしよう。とも思つてゐた。女の子が3人つてのもさびしいよな。この時は正直な話うれしいやら悲しいやら気分は複雑だった。

結局残つたのは男子10人、女子2人、それでも12人だ。2年が17人、3年が8人、合計37人。コートを入れたら水泳部だけで軽く40人を越えてしまうのだ。並んで歩く時なんかなかなか壮観だった。なんてつたつて一クラスが歩いているようなものですもの。

「カ——ン」

さて、話は突然変わるが、キャブテンとしてシーズン（4月～9月）を向かえた僕に、頭から、ホセ・メンドーサのKOバンチの様な事件が起きた。水泳部顧問の中里先生が「疲れた」と一言残して顧問をやめてしまったのである。さらにジャブやフックのような事件もどんどん起きた。合宿が校内でできなくなつたり、下校時間を何回違反すると休部になつてしまふとかだ。特に臨時顧問の先生がなかなか水泳部の事をわかつてくれなかつたのがかなりきいた。しかし僕はそれらを軽快なフットワークを使い、よけ、セコンドのおっちゃん（この場合コート陣のこと。ヘッドコートとは限らない）と良く作戦を練り細かい反撃を加えた。合宿を修善寺でやつたり、下校時間を守らせたり、校内を走り回つて顧問の先生と交渉したりだ。だがホセもさすが世界チャンピオンだ。この程度の攻撃では、なかなか倒れてくれない。しかし突込むと、反対にこっちがやられるのを待つだけだった。そもそも僕はセンターリングに立つということ（この場合キャブテンになるということ）を今迄した事がなかったので、ひんしゅくを買いまくつていていた。セコンドに多く、いや、ほとんどを助けてもらつてきた。そして、ついに僕のキャブテンとしての世界タイトル（シーズン）も大詰めを向かえていた。

「カ————ン」

あがます。勝敗はどちらが……緊張する一瞬つ／＼あ判定は

実況・さあ、ついに最終ラウンドのゴングがなりました。泣いても笑っても最終回——このラウンドで勝敗が決します。尾上政

美、ゆっくり出ます……チャンピオンも……あつホセ突進／＼風をまいて尾上に襲いかかた!!。

効果音・バン！ドンドカッ！

実況・ホセ猛攻!!コーカ・スクリューの連打連撃！

効果音・ゴスッ、バキッ、ビシッ

実況・おおっ尾上も反撃！リング中央、両者ここにはつきり雌雄を

決せんと凄絶な打ちあい——。あ——つ尾上ダウン！尾上

ダウントしました！

おっちゃん・立つんだ立つんだまさみイ！

実況・ああっ尾上カウントナインでやつと立ち上がった……さあ、

チャンピオンが突進する！あつ、クロスカウンターだつ！：

…ホ……ホセ、ダウン、今度はホセがしりもをつきました

——。两者ダウンの応酬!!

ホセ側セコンド・ホセ、スタンダップ／＼スタンダップ!!

実況・ホセ、カウントエイトで立ち上がった。尾上またもや突進だ

——。これは分らなくなってきた——。

効果音・バキッ、ズドッ、バヌッ！

観衆・ワーワーワーワー

「カンカンカンカンカン……！」

実況・し……し試合終了です！勝敗はついに判定にもちこまれま

したつ。それにしても15ラウンドの長丁場、終止すさまじい試合展開を見せたこの、世界タイトルマッチ！あ判定はどう出ますか？観衆は総立ち！さあレフエリーが判定を読み

……。ちよつと話が流れてしましましたね。元に戻しましょうか。——

とにかく判定は僕自身ではつけられないでのみなさんでつけて下さい。2年目僕はキャブテンとしてやるだけやって来たつもりです。

終始迷惑をお掛けしたコーカの方々、特に橋本先輩、どうもありますとうございました。それに僕を支えてくれた37期のみんな、特におがみに愛ちゃんありがとう。最後までやり通せたのはみなさんのお蔭です。尾上政美というキャブテンは燃えました。まつ白に燃えつきました。そう、まつ白な灰に……。

あつさて、また突然の様に話変わって僕個人の話に戻ろうと思う。B.G.M. "Doy Tripper" The Beatles) 2年目の話だが、この年も専任コーカ制と決まり僕は「町で見かけたらよけて歩こう」のお兄さん角田篤俊氏の元で練習することになった。篤俊先輩は最も話のわかる先輩の一人だ。コーカの面ではすごく熱心で常に選手の事を理解し選手のために考へる、外見からは想像できない位、優しい人でもある。また彼の作るメニューは完璧で、新しい事でも失敗を恐れずどんどん取り入れた。たぶんコーカとしては誰も文句が言えないハズである。(ちよつと、ホメ過ぎかな？まーいーや、三年間世話になつてゐるし、これからも多分世話になるから、ホメといて間違は——おつとまづい。こんな話、聞かれてたらミラージュがランクルタックルを食らつて今度こそ、廢車になつちまう)まあ、とにかく彼は僕の3年間で最も多くを学んだ人物であつて、彼にコチをしてもらつて本当に良かったのだつた。

そして僕と同様、彼の下で練習することになったのは青木愛子と藤本淳子（通称マリ）そして新一年期待の星、欠島次雄と久保田文彦である。久保田はその名の通り流し小僧で、よく愛子やマリさんにまで競っていた。次雄は無口でまじめで、ちょっと気を抜くとすぐ足をちゃんと触ってきた。丁度、去年僕が光延先輩を目標として、練習ではいつもついて行こうとした様に、今度は次雄が僕についてくる。それは時の流れであった。

しかし追われる立場は強いと思う。相手が特に後輩とかだと心のどこかに「絶対負けない」と自分に言い聞かせるのだと思う。これほどの世界でも通じ合うものがあると思う。高岸に言わせれば「本能のままに」「自然の摂理」であろう。とにかく、一年目はいつも、もういいやと思つて挫折していたが、今年はそれが（たぶん）なかつたと思う。一年目から二年目にかけて僕は自分で言うのもおかしいが、すごく成長したと思う。たぶんこれらのお蔭で2年目の爆発的な伸びにつながり、十六校への花道の階段を上るということになつたのだと思う。

『十六校において三年連続スタイルーでシーズン最高タイムを出そう会』
(B.G.M. SGT Pepper's Lovely Hearts Club Bahd!!

僕は3回の十六校大会を体験した。毎年、それぞれの想い出がある。



一年目、十六校は僕にとってあまりにも大きい大会だった。（詳しくは黒潮三十二号参照）とにかく一年目は課題が多く残つてしまつた。自分に勝つ。念頭に起き一年が過つ。その後はもうやるだけだ！

スタートと同時にプールの中には自分しか存在せず、あの時何を考えていたのかさえ覚えていない。結果は二位でタイムは大ベストだった。この時、本当に「やつたあ」と思った。去年まではコンソレさえも残ることができなかつた男が一年ここまで來たのだ。

あの時の感動は今も鮮明に記憶に残つている。

三年になつて泳ごうか泳がまいか考えた事は一度もなかつた。(B.G.M. "Getting Better" The Beatles)好きな事をやめて、大嫌いな勉強ばかりでききないと思つていていたし、今できることをしておかないと後で必ず後悔すると思つていていたからだ。何のとりえもない僕が唯一見つけた道、やるなんならとことんまでやりたい。

「水泳というのは極めてピュアな純粋なスポーツである。お金が入る訳でもない。しかしこの純粋な苦しい戦いの中で打ち勝つ事ができれば、その後に続く人生でもいい結果をあげることができるに違ひない」

かつての100Frの世界記録保持者のアンブローズ・ゲインズもロス

五輪で優勝を決めた後、こう言っていた。

「18の夏は今しかないのだ。思い残すことがないよう頑張ろう」

こう思って僕はこのブールとの三度目の夏に突入した。

三年目に残された課題は優勝することだけだった。三年目の十六

校で良かったことは200Brで僕より速い奴が出ていなかつたという事

だつた。200Brの決勝は去年と同じ最終日の一番最後だつた。予選の

疲れが残つていたので、あの時は完全に「勝ち」を意識していた。

前半を少し流しきみでいき、得意の後半で差をつけ――優勝。

タイムはベストだつた。しかし少し不満が残つたようにも感じる。

勝つことばかりを意識していいた自分が情け無かつた。

この時はまだ自分のすべてを出し切つていない。「俺の青春はま

だ燃えつきていない。すべてはこれから始まるんだ」僕はこう思つ

ていた。

さてまたぐる」と話を変えよう。(B.G.M. "Penny Lane")

The Beatles)三年生は自由参加の練習だが夏休み中は全部出た。

一、二年に練習量で負けないぞ、という気持ちでやつた。今回の夏のシーズンは専任コーチではなくなつたのでおもしろい事が多かつた。とにかく「奇人変人大集合」の38期MENはおもしろかった。僕が主に練習した二年は、次雄と高岸と英治と俊平であつたろうか?噂に聞いていた英治と俊平がこんなにおかしいとは知らなかつた。おかげで今年は腹筋がついた。

25 Br インター45秒回しの時だ。よくおがみと組んで俊平をいじめたもんだ。

④「俊平エ、お前先行け」

④「えええええん輩、ほほぼくが先に
行くんでしゅか?」

④「そーだよ、さつ行くぞ! 5秒前」

④「ところでさ、俊平くん。これ何本や
るんだっけかなあ?」

④「え、ええーとでしゅね……」

④「はい行きます。よーい Go!」

④「あああと、にににじゅ(ブクブク)
……」

（後、20本です。と言おうとしたらし

い）

同じ事を英治にするところだつた。

④「英治イお前先だろお」

④「あ――」(喉を枯らして発音する)

④「なんだよ」

④「あ――ああああ――」

④「何が言いたいんだよ! はい行くぞ用意 Go」

④「あ――」(しつこい様だが、喉を枯らして発音する)

とにかくおかしくてBrの練習は、腹筋の練習がつくから良かつた。ここで一年の期待の星、安田君を同様にしていじめるとどうなるか書いておきましょう。

④「安田ア先行けよ」

④「そんなん、いやです」

④「てめ、張り倒されたいか」

④「じゃあ行きますよ」

Brの人は必ずマスターしよう
“みつのぶ”すわり
かつお組で流行



〔はい、5秒前〕

〔安田、これ何本やるの？〕

〔20本です〕（あっさり）

俊平君、君は当分安田君には勝てないでしょう。

さて、あつた事なかつた事、思つた事、色々書きつづつてみました。僕にとって水泳部は青春の大きな舞台ですから、これだけじゃ書き表わせない程の想い出があります。何年か何十年後からこので

き上がつた黒潮を見ておそらく涙が出るんじゃないかななんて思います。ありがとう水泳部。ありがとうみんな、そして……

『ハート・カクテル』

——ブールのくれたプレゼント——

(B.G.M. "Here Comes The Sun" The Beatles)

ボクはよく一人でブールに会いに行く。一人で行くとブールはボクに話しかけてくれるのサ。

夏の終わり、ボクはカレに会いに行つた。

「おはよう」ボクの声。

するとカレは、まるでボクの声に反応したかのように答えてくれるんだ。

「やあまさみ、どうしたんだい」

「もうすぐお別れだからね。キミに挨拶をしようと思つてネ」

そしてカレは朝の日差しと戯れながら言った。その声は少し悲しそうにも聞こえた。

「秋だネ。もうすぐお別れだネ。別れるのは本当にひるがみ」

「本当に別れなくちゃいけないのかい」
「ああ、でもその代わり、君にいいことをプレゼントするよ」

今日10月4日は今年最後の、そしてボクにとって現役最後のカレとの付き合いの日だ。

午後一時、カレの所へみんなが集まつてくる。

〔いいことは？〕

その日のメニューも着実に終わり、丁度陽の傾きはじめた午後4時、ボクの現役最後のレースをすることになった。——200FR、夏の間ずっと出せなかつた歴1も、出せるのは今日が最後のチャンスだ。

ボクはアンカーだった。次雄、久保田も、もう泳ぎ終わり、第三泳者の魚地が泳いでくる。ボクはスタート台に立つた。

(5m — 3m — 2m — 1m……)

ボクはスタート台を蹴つた。そしてカレの中へ。ボクはカレに身をまかせた。あとは50m、カレと最後の付き合いだ。

出した記録は従来のものを05秒程上回る歴代一位新記録だった。

カレのくれたプレゼントは最高のものだった。

「サンキュー、都高ブール。これで思い残すことなく引退できそうだヨ」

カレはボクを祝福してくれるかのように光り輝いていた。

「SO LONG！」

ボクの言つた言葉は、そんなカレの底にいつまでも眠つてゐる」とだろう。

(B.G.M. "Strawberry Fields Forever" The Beatles)

YOUNG BLOODS

三年 尾上健二

話題が欲しい／そりだ、この場を借りて大変誤解されている私の眞の人物像について書こう。こいつはナイスアイデアだ。それでは尾上健二」というNICE・GUYの知られざる世界、あなたの知らない世界を見せちゃいましょう。

一九八五年大晦日。ちまたでは正月の準備で大忙しの中、私と誠

はそれを横目に見ながらその年最後の夕日を多摩川の河原に拝みに行きました。一人で河原に立って石などを水面に投げている光景などは、今はやりの「いじめ」などの影は微塵も見られません。うーん、のどかだ。

私「あらあ。今年ももうおしまいだね」

誠「そうだね。あの夕日とともに今シーズンが沈んで行く」

私「うーん、ボエムだね」

誠「明日になれば東から来シーズンの足音が。ほら、聞こえてくるよ」

私「うーん、それもまたボエムだね」

二人の少年は、来シーズンの目標をあの夕日に誓うのであった。

いや一時間のたつのは本当にはやいものですね。誠とあの夕日に誓つてから、はやくも一年がたちそうです。はたしてその時の誓い

を私は果たしたでしょうか。それは後のお楽しみにしましょう。でも本当に時のたつのはやい！今こうしているうちに時計の針は何回もまわってしまいます。せっかく黒潮の原稿を延ばしてもらつたというのに。安田にもうちょっと待ってくれといった時のあの顔。

「黒人となんか話したくねえヨ」と今にも言いそうなへ言つてたりして）顔をしてたっけ。安田のことはいいとして、すでに二時三十分。ま、まずい／ブチ④から借りたギターを弾いてる場合ではない。

おぼっちゃまは私立成徳女子大附属幼稚園へ現在治子⑤が通っている大学なんですねーじつは）に通っていました。桜の花びらも舞う花うらら、おぼっちゃまは片手に手さげかばんを持ってピアノのおかいこに通っていました。（ホラそこノ笑ってるんじゃねえヨ）大変のみ込みがよくいつも先生にほめられました。発表会の時などは、それはもうかわいらしくフランス人形のようでした。（アフリカの芸人形じゃないヨ）ピアノに通っているかたわら、おぼっちゃまは落ちつきのない兄につきあって生協のお絵書き教室なるところに通いました。しかしここで兄はなんと紙に絵を書かず、生徒の背中をキャンバスにして書いてしまいました。先生は思わず「芸術だ／才能があふれている」ということは言うわけがなくてすぐ破門になりました。

一 一九七五年秋 —

おぼっちゃまはこの東山に引越しました。今度はバイオリンに興味を持ち母に頼んで習わせてもらいました。ここでもおぼっちゃまは才能を開花させ、バイオリンとピアノを並行して習つていきました。区の連合音楽会の時はピアノで伴奏しました。この時のレコードにはちやつかり名前がつてたりして。器楽クラブでコンクールにでた時はコンサートマスターという役をこなしました。まさにおぼっちゃま街道まっしぐらでした。

—一九八〇年春—まだおぼっちゃまだつた—

中学校に入学。器楽クラブに入部し今度はテナーサックスに手をつけました。これもこなしました。区連体は三年間グランドで演奏しました。このころおぼっちゃまは「七つの楽器をあやつる男」「東山のアマデウス」などと呼ばれました。そのおぼっちゃまのゆかりの地『池尻大橋』には今でもおぼっちゃまがかばんとバイオリンを持っておけいこに行く姿が見られるとか見られないとか……。（おぼっちゃま……尾上健二 当然でしょう！）

みなさま、おわかりいただけたでしょうか。みなさまはこの私をかなりよく見ていましたね。おっと電話だ。「すまん！尾上を誤解していた。許してくれ！」これはつん^④だな。まあ許してあげましょう。これからどんどん謝りの電話がくるでしょう。これを読んでいる君！早く電話した方がいいよ。

おー／何と三時半。先程から降りはじめた雨がしとしと不気味です。ふと後ろを見ると人がいます。心臓が破裂するかと思った。聖子ちゃんのボスターです。「聖子おどかすなよ！」などと声をかけちゃつたりして。バカですね。その横に真新しい額の中に一枚の輝やかしい紙があります。よく見ると、「ウオー、十六校戦の賞状じゃねーか、誰にもらったんだよ」「オイオイ、オレが獲ったんだよ」そうなんです。私は十六校戦の賞状を壁に飾ってあります。その賞状を見ていると何だかあの夏のみんなの歎声が聞こえてきそうです。それではその聞くも涙、語るも涙の十六校戦を二年続けてお送りしましょう。

私は病院のレントゲン室にいた。なぜだろう。そう私は十六校戦初日、100 Br あまりの情けないタイムを悲観して飛び込み自殺（ダウンするときフラフラと浅い方に飛び込んでしまった）をはかつたが頭を少し切つただけで死ねなかつた。そういうわけで病院にいたわけだが「骨に異状はないけど君、脳みそにしわある？」医者は冷たい！最終日、周囲の温かいやみに励まされ 200 Br に出場。セコベストしからず、何と 13 位。悔やんでも悔やみきれなかつた。その時政美はみんなの期待にこたえて決勝 2 位。賞状をもらった政美はとてもかっこよかった。頭を切つて 13 位の私ははでつぼくみじめだった。平静を装つて政美を祝福した私の心は嵐のごとく大粒の涙を流していた。その晩私は布団の中で泣いた。翌日布団が重かつたのを覚えている。「今年はもうあきらめた、しかし覚えておけ。政美への熱い歎声、来年はすべてこの俺が奪つてやる！」と誓つたのであつた。

—一九八六年夏—勝利への脱出—

ワーワー 「プログラム 28、男子 200 Br 決勝のコース順を発表します。1 第 2 コース、おがみ君。都立大附属。1 第 3 コース、おのうえ君。都立大附属！」。「ついにこの決勝に出場するんだ。思えばあの苦い夏から一年、俺はどうとうここまできたんだ」初日 100 Br で思いがけない決勝進出。あっさり悲願達成。「これをステップに 200 Br では賞状を狙おう」私の心中に大きな野望が生まれた。水泳部に入部して以来、いつも政美的活躍の影に隠れて泣いていた俺。でも今は政美と同じ立場にいる。三年間政美的きたねえおしりを拌んで泳いできたけど今日はそうはいかない。秘かに私の目は、池上潦一調の目をしていた。『バーン』一齊にスタート。まわりの

奴らが少し先行。なぜかあせらない。50mターン、相変わらず最後尾。あせらず水をひとかきひとかきキヤッち。100mターン。だんだん近づいてくる。まわりの奴らが俺に向かってバッくしてくるようだ。150mターン、スタートをかけた。順位はわからないが政美と内藤だけはわかった。感じる、俺の体の中でYOUNG・BLOODS

が熱くなっている。内藤が近い「抜ける?!」175mターン。もう前しか見えない。歓声も聞こえない。感じるのは水の流れとYOUNG・BLOODSだけ。タッチ!。「タイムは?順位は?」電光掲示板を見る。2分43秒…、見えない。タイムがにじんでいる。俺の涙のせいだ。政美が横から、「尾上やったな!3位だぞ」「おう、やったぜ!政美優勝おめでとう!」肩を抱き合い、腕を高々と上げて喜び合う。みんなの歓声がうるさいぐらいに耳に入ってきた。初めて行く表賞式。とまどっている自分がかわいかつた。賞状を読みあげられた。それは「おのうえ」ではなく「おがみ」であった。とうとう政美と同じところに立てた。感無量であった。この思い武藏野の空の下で牛のう〇掃除をしている人の人に伝えたい。「センパイ、とうとうやったよ!」と。みんなの歓声はまだなりやまなかつた。やつと終わった。俺の長い長い夏が。これでようやく秋を迎えることができるかな?とりあえず乾杯!

| A | 正 | 1120 |
|----------|-------|-----------------|
| ハンバーグ | 正 | 480 |
| ライス | 正 | 360 |
| パンケーキ | 正 | 150 |
| みそ汁 | 正 | 180 |
| ポテト | 正 | 100 |
| カニコロッケ | 正 | (タルタルソースをかけないで) |
| JOY TIME | 9/22 | |
| 佐藤 | 11/15 | |

| TEA · TIME |

これはジョイタ
イムの伝標です。
矢印に注意!

| 一九八六年秋、歌謡界に衝撃デビューを果たした新人歌手!「岩坂るん」デビューアルタルソースをかけないで、絶賛発売中!ポスター・顔写真付の特典あり。

| 誰も買わね。

うーん。感動しましたね。こういうドラマはなかなかありませんよ。もし不幸にも御覧になつてない方はビデオで見ましょう。

さあて、今年ももうすぐ終わりですね。三回目のシーズンも終わつたし、三回目の追コンも終わり、この三回目の黒潮の原稿も終わりが近づいてきました。今シーズンは私にとってこの上ない幸わせなシーズンであり、一番充実した夏でした。今年は三年ということで夏には三週間ゼミに通いました。午前中ゼミで午後部活というハドな生活を送りました。前号で関④が「二兎追うものは一兎を得ず」というありがたいおことばを残しました。しかし私はその教えに背きましたが二兎のうちの一兎を得ました。あとの一兎もできれば得たいと思っています。そして今年は三年間縁のなかつたりレ1のAチームの座も獲得しました。Aチームでは一回しか泳げなかつたけど、大変緊張し、いい気持を味わいました。歴代の方でも200Brではブチ・横両巨頭を抜かして歴代2位。「尾上・尾上時代」を築きました。今年は都高校選手権なるものにも出場し、あのクソ長い長水路で四回も泳がせてもらいましたが、いい経験になりました。私の高校時代の全てといつてもいい水泳部とあと三ヶ月もしたら別れてしまわなければならないと思うと本当につらく、さみしいです。本当に水泳部は私にいろいろ教えてくれました。縦・横のつながり

の重大さ。努力・根性・気力を与えてくれました。渋谷の地下道に詳しくなつたり、あのおぼっちやまだつた私をきたねえ黒人にしたのも水泳部です。

それではまんねりだけどみなさんにお礼を申し上げたいと思います。

— O B · O G の方々へ —

三年間、いつもふざけてばかりいた私を見捨てずに指導して下さって本当にありがとうございました。みにくいアヒルの子だった私が三年目に白鳥としてはたくことができたのもみなさまのおかげです。このお礼は黒潮会の会費を払うことによって返させていただきます。あしからず。

—さらば都高ブル、愛の 37 th 戦士達へ—

とうとう私達17人がおさらばする時がきました。いつもふざけたところばかり見せて私のシリアルなところを見せられなかつたことだけが残念です。みんな、ありがとう。

・荒木へ。ある日突然私を襲つた「じんましん」で悩んでいる時、いたわつてくれてありがとうございます。君の「尾上、病は氣からだ。気にするな！」と言つた時の顔。一生忘れない。ありがたいお言葉、今でも心に残つている。ありがとうございます。同じ『ケンジ』に悪い奴はない。

・じんましんに襲われた時、私をいじめた岩坂へ。えりまきにされ

て売られちゃいなさい。君は家で一生いかの塩からを作つていなさい。
・今は亡き愛子へ。立ち乗りループコースターに乗つたため、心身喪失になつた時のあの顔。一生忘れません。初の松屋体験者！
・政美へ。三年間常に私の前を泳ぎ続け、リードしてくれてあります。私の目標は常に君だった。私は悟つたことがある。それは人

間はどんなにがんばつてもそれ以外にはなれないことである。私は

人間としての誇りを捨てることができなかつた。君は見事に生まれかわり、今どこの海を泳いでいるか、それは誰もわからない。

・誠へ。三年間、旅館「まこと屋」にはずいぶんお世話になりました。来年も大いに利用させてもらいます。

・昌一へ。昌一の家は私のお腹を常に満たしてくれるナイス・レストランだった。来年もおいしい料理を食卓に運んでくれることを期待しています。

・37 th GIRLSへ。急行に乗つて池尻大橋をあざ笑う性悪女、背中のカラフルな女子、水族館でアシカシショウをした女子、猿の惑星からきた生物などいろいろな人がたくさんいて楽しかつたです。来年もよろしく！

—鬼の 38 th へ—

鬼の部長、鬼の副部長、鬼の社長、鬼の会計、鬼のヒラ、鬼の流し小僧、鬼の鎖骨とよく訳のわからないことを言つていた38 thのみんな。来年は二兎追つて二兎以上のものを得るようすばらしいシーズンを送ること願つています。私にいろいろやつてくれた『魚地・久保田』との別れが一番さびしいです。来年は誰をいじめるのかな？

—かわいい？ 39 th へ—

人数は少ないけどそこはあふれる個性でカバーして、がんばつて下さい。それだけおもしろい奴が四人もいれば何とかなります。遊びにきて楽しいと思える部活造りをして下さい。安田ノ納会の約束とう。

— YOUNG な順ちゃん、町田先生へ。

黒潮を読むかわからないけど一応お礼申し上げます。水泳・学校

生活の面で本当にお世話をいただいてうれしく思います。来年もYOUNGな頃ちゃんと聞いて下さい。

あ～あ。これでやっと寝むれる！受験生に明日はない！次号の黒潮ができる頃、はたして私は何になつているでしょうか。

①魚

②アバル

③河合大学駒場キャンバスへ通う学生

正解はありません。私はこの中にない答になることを望みます。

それでは、私の長い長いひとり言にペンを置くことにします。
おやすみなさい。

「少年よ 大したもんだ！」

——おしまい——

ホテル・カリフォルニア

三年 高橋 昌一

人気のない暗いハイウェイで
冷たい風が僕の髪を吹きぬける
ユリタスのあまい香りが
空気の中に消えていく

My head grew heavy and my sight grew dim
I had to step for the night.

スキー

ホテルカリフォルニアって、僕が中学生の頃売れたって聞くけど、

僕が本当にいいと思ったのは一年の時のスキーの時だった。あの時、たいして自信があるわけでもないので、初日から、佐々木先輩・ツン先輩について行つた。リフトを何回も乗つて結構上の方まで行った。リフトを降りて滑り始める。すると先輩達はいつの間にか滑り終えて下の方で待つていて。急いで滑つて行き、着くと、先輩達は、今度どのリフトに乗るか話している。そしてすぐに次のリフトに乗る。また滑る。また、必死についていく。だからものすごく疲れた。それに前の晩は、バスの中だったから、あまり寝てない。足も、だんだん痛くなってきた。そんな時に、流れてきたこの曲、ホテル・カリフォルニアなのであった。

さて、スキーっていえば部全体で行つた他に三年男子だけで行つたこともあった。今年の二月にスキー行こうって誰かが言い出した。僕は行きたかったが、多分行くとしても二・三人だなと思つたから行く気はしなかつた。そして、二・三日たつてから、他の5人に行くか聞いてみた。みんな行くようだつたので優柔不断な僕は他の5人に流されて行くことにした。

その日、志害高原はものすごく吹雪いていた。もう寒くて寒くて死にそうだった。雪が顔にあたつて痛いからハンカチをまいた。しばらくしてハンカチをさわつてみると、バリバリに凍つていた。手袋の先だって凍つっていた。また、滑つているとめがねが曇つてくる。だから曇り止めつけようと思つてゴーグルを少し外すと、めがねについていた水滴が凍つて白くなってしまった。めがねが凍つて白くなつたのと、雪の白とで視界はゼロに等しかつた。あんな状態でよく傷しなかつたと思う。

— シーズンオフ —

今日、十月の終りです。高校生活の中の最後のオフとなつてしましました。もう二回もオフを過ごしてきましたね。今、思うと、一・二年の今頃は、本当に楽しかったようになります。一年の時の今頃は、ほとんど毎日、放課後、ブールサイドに行きました。だいたいそこには、数人の一年生がいました。そして時間がたつにつれて一人、また一人集まつてきました。一年男子はもちろん全員、女子もほとんどいた。火・木・土は、陸トレで、月・水・金は、みんなでトランプなどで遊びました。そして、五時くらいになると、みんな一緒に帰った。本当にあの頃、三十七期は、まとまつていたと思います。そして我々渋谷方面は、渋谷の改札を出るとそこで立ち止まって一時間から二時間にわたる立話を始めたのであった。

二年の時もやっぱり放課後ブールサイドに行つた。そこには、一年男・女はいず、二年男子（暇な2年生）だけがいるのでした。

そして今年は……、最近ブールサイドに行つてないから分からなければいけど、まず、三十七期は三年だからいいから、誰もいないんじゃないかと思う。（一・二年生へ。もっとブールサイドに来るようになしよう）

— 三年目のシーズン —

今シーズン、水泳は二の次にしようとした。だから春も暇な時だけ部活であるようにしていた。そして夏休みに入つた。夏休みはどのくらい部活に出ようか考えた。それには、まず、十六校に出るか出ないかによつて決まつてくる。春のうちには、十六校、出ても出なくてもいいと思っていたが、やっぱり最後の十六校は魅力的だ。結局出ることにした。十六校出るからには練習しなきゃ意味がない。

でも、シーズン初めに水泳は二の次にする決めたのを守らないわけにはいかない。だから、練習はするけど、決して水泳の方に片寄りすぎない様にしようと考へた。でも、そんな事は僕にとって不可能だった。結局、中途半端に終つてしまつたようだ。でも、中途半端の中で一つだけよかつた事がある。100Frのベストだ。（「100Frは素敵だ」と言えてよかつた）あれは下馬だった。現役最後の100Frだと思うと普通のレースの倍、気合いが入るものです。

— 一・二年の懐しい練習 —

二年の時の強化練何回目に、橋本先輩に「お百度参り」ついていう練習をさせてもらった。これは、50m 100m 150m … 800m を一本ずつ泳いでいくのだ。一見楽な練習に思えるかもしれないが、とんでもない。50m 300m くらいまでは、なんとかできるが、400m を越えるとなぜか、距離を数えられなくなる。長距離で、どれだけ泳いだか分からなくなると、本当に辛い。精神的にもおかしくなりそうだった。もう、十二本目、即ち600m の時には、完全に気合がぬけちゃつて、どうでもいいという気持ちで泳いでいた。ところが、その300mくらい泳いだくらいに、ふと誰かの顔が頭に浮かんだ。長距離の神様である。スマーグゴーグルをかけて少しほほ笑んでいるのである。

「関先輩は、こんな練習、楽にこなすだろうな」と思った瞬間、疲れがとれ、気合いが入つたのであつた。

「ブル200m。ヨーリーGo」と美紀先輩が言つた。数多くの練習メニューの中で、ブルは、一番好きだったが、こわかった。100mくらい泳ぐと、我々林組は、ぬかれたり、ぬかされたりというのが結構あつた。（というのは、六人で一コースを泳いでいたから）ぬかす

時は、一時、同じ方向に二人で泳いで行かねばならなかつた。でも二人ならまだいい。三人の時もあつた。しかもターンサイドで。すると、みんな同時にクイックターンをする。その瞬間、「イティ」。

バドルが、体にあたつたのである。逆に、「まずい」ってこともあります。誰かをバドルで、ひつかいてしまつたのである。

泳ぎ終えると、僕は、一コースを一人だけでゆうゆうと泳いでいるあるチームを、うらやましく見たものだつた。

（まとまりがなくてよく分からぬ文章でごめんなさい）

最後に

練習中、文句ばかり言つていた僕を見捨てず、コーチして下さった美紀先輩、歴代入りまで記録を伸ばして下さった橋本先輩、ろくに練習に出なかつた僕をよく指導して下さつた篤俊先輩をはじめとする数多くの先輩方、同じ苦しみを味わつてきた同期生の方々、いろいろとお世話になつた後輩方、そして、水泳部の顧問をされた先生方、三年間、本当に有難うございました。水泳部に入つていて、皆さんに会えて、ものすごく幸せな三年間でした。

はちねん♪と歌いながらバック・トゥ・ザ・・・・

昭和五十九年

高校入学と同時にこの水泳部に入ったわけですが、小学・中学時代と運動をほとんどしていない私にはこれから恐ろしい地獄絵図が展開されていくのでした。詳しくはテキストとして『黒潮第三十二号』の四十八Pと五十Pをお開き下さい。練習は「つらい」の一言で、キックではモーターボートが横を通り過ぎた小舟のごとく流れされ、ブルでは隣のコースの小悪魔軍団のバドルチャップ攻撃を避けながら泳ぎ、インターではレストの度に勝治先輩に「遅い！」と言われ続けました。

この頃中野先輩に言われたことがあります。

「コーチは怒りたくて怒つているんじゃないんだ」

私は100インターがメチャクチャ遅くラスト一本だけが速くて勝治先輩に怒られた後でした。それから中野先輩に技術的な事と練習の心構えについてを言されました。

さて試合と言えば十六校800Fr、ついで……うしん一年の試合は印象が薄くて（試合でBESTがあまり出ていない）思い出せない。そこで、思い出せないと言えば納会です。そうこの時私は記憶を失つてしまふのである。身体につけられた生傷の謎、そして『世界』の言葉に秘められた謎とは……私のミステリアスな高校生活はこれらの謎を含んだまま、一年目を早くも終えてしまうのでした。

水泳部症候群 III —少年鉄仮面伝説—

三年 荒木 憲治

今ここに送る激動の三年間の記録『水泳部症候群III』——実体験をもとに書かれたこの手記は、みなさんを愛と感動と涙の世界へとお誘いすることでしょう。では御一緒に♪ももくりさんねん・かき

二年生、すなわち先輩と呼ばれる立場となつたのですが、自覚の

昭和六十年

ない私は新一年生を迎えた初の陸トレにおいて一年生に、
「このまま、まっしうぐ行くんでしゅか？」

と聞かれて思わず

「ハ・ハイ！ そうです」

と答えてしまうのでした。

さて、ついに二年目のシーズンに突入です。以前よりは自分で考
えて泳いでいるつもりでしたが、やはり少しでも休もうとしていた
みたいです。練習内容は変化に豊んで変わった物も現われました。
その名も『お百度参り』（この練習の黒幕に尾上健がいるのを私は
つい最近知った）相変わらずFrのTIMEは停滞したままでした。
しかし一方ではなんとBuが泳げるようになり、IMで歴代入りまでし
てしまつたのです。私でさえ信じられませんでした。それからはIM
の順位を上げようと、練習もIMを取り入れてもらい、レースも何回

もやりました。しかし、しょせんIMは第一種目ではありません。第
一種目はFrです。私はFrでBESTが出ないので歴代に入ったIMに
逃げていたんだと思います。結局はIMも一年の時に泳げなかつたBu
が速くなつたおかげだつたので、BESTは途中から出なくなりT
IMEはFrと共に停滞したのです。この年のシーズンで私は自分の
考え方のあまさを痛感させられました。唯一の救いは九月に出た400Fr

とあります。しかしこれはIMではありません。私は今年を勢一杯泳ぐことに決めました。一年・二年の時の反
省から『集中して泳ぐ』『200Fr・100Frに賭ける』を目標にしました。
今年の練習方法は今までと違つていましたが、三年である私には良
い結果につながつたと思います。

「花田君の罪の軌跡（破壊者は私編）」

昨年入部した一年生も二年生となり部の中心に立派に成長してい
る。その中の一人であるT・Y（花田）君について話そう。
其ノ一

彼は練習の合間にこともあろう私を「アラキ」と呼び捨てにし
た。（ここで注意していただきたいのはアクセントの位置である。
彼は「アラキ」と最後に置いたのだ）まあこれは先生をつい先輩と
呼んでしまうような物で許してあげよう。がしかし……

この年にも納会はあるわけです。私は失われた記憶の一片を取り
戻すために再びここにやつて來たのです。しかし謎は深まるばかり、

某俊平君の暴言を素直に笑えない私に記憶をたどるカギが隠されて
いるように感じるのです。

また、この年の忘れてはならない事に、八月十六日橋本先輩宅で

『ハエ男の恐怖』を見る、同十七日ビオンディと握力くらべをする
をつけておきたいものである。

昭和六十一年

なんと原稿用紙がたつたの四枚で今年になつてしましました。し
かし、私の言いたい事は今年に凝縮されていると言つても過言では
ありません。

・気がつけば37thを象徴するようにブルサイドから離れられ
ない私は今年を勢一杯泳ぐことに決めました。一年・二年の時の反
省から『集中して泳ぐ』『200Fr・100Frに賭ける』を目標にしました。
今年の練習方法は今までと違つていましたが、三年である私には良
い結果につながつたと思います。

はそのまま突進し体当たりを喰らわせたのだ。

花田君、私は決して怒っていない。しかし一生忘れない。

昭和六十X年
私は何をしているのでしょうか。そしてみなさんは何をしているのでしょうか。

“光陰矢の如し”

“鉄は熱いうちに打て”

“ココアは熱いうちに飲め”

おや？

さて、BESTは七月三十一日の記録会を皮切りに順調に出ていました。まずその記録会において200Fr二分三十二秒九、100Fr一分〇九秒四の大BEST。そしてあの対戸山戦でさえも800Fr十一分三十七秒二、200Fr二分二十九秒七、100Fr一分〇六秒三と、一年・二年がうそのようなBESTラッシュ！そして十六校です。個人の100Fr・200FrではBESTが出ませんでしたが、800FRのコンソレの時にメンバーの一人で出さしてもらえたのです。結局その時もBESTではありませんでした。個人の200Frよりも一秒も縮られて大満足でした。リレーの他のメンバーのみなさん、コーチの方々、本当にありがとうございました。この時私は三年間泳いで本当に良かったと思いました。その後、関六で200Fr BESTタイ、下馬の400Fr BEST以外はあまり記録は伸びませんでしたが、三年間を通じて本当に自分が満足し、充実した年となりました。

さて、私の失われた記憶も夏が終わろうとするある日にある人物

から言われて解決したのです。「人格メチャクチャ」そうこれが私の失われた記憶を全て表わしている言葉でした。そして私の心には一片の曇りもなくなり晴れ々とした(?)のです。

同年 十月三十日

今、この原稿を執筆中です。午前十二時四十五分——フジテレビ『冗談画報』という番組にいとうせいこうが出演しているのを見て、淵先輩を思い出すのは私だけでしょうか。

NOTES

おひやどまいり【お百度参り】 50から始まり100・150・200……750
・800まで行き750・700……100・50と折り返す総計一万一千四百
mの意識がもうろうとする一度はやらせたい練習のこと。

—完—

きがつけばさんじゅうななき【気が付けば37th】ことわざ＝ひまなのは3年生という意味。37thの悲しい性のこと。

こあくまぐんだん【小魔軍団】『練習中私がぶつかってくるなど
とたわけた事を言い私をバトルで傷つける人々のこと。

奈落の底の背泳陣

三年 岩坂 順

卓

じゅうろっこうはっぴやくふりい【十六校800Fr】『十六校において800Frを無謀にも750mで一息いれよう会』発足の種目、二年間我校から会員が出ていないのが悔やまれる。来年こそがんばれ！

たいとやません【対戸山戦】自分では一つもBESTらしい物を出さずに、他の3人の活躍により800Frの歴代入りが出来る試合のこと。

のうかい【納会】一年目は自分を傷つけ、二年目はスイカ割りを

せること。
はえおとこのきょうふ【蝶男の恐怖】最後の場面のためにいつい再放送を何回も見てしまう、これ無しではホラーを語れない恐ろしい映画。

はなだくん【花田君】(=T・Y君) 決して、矢島次雄君ではない。

K君「心の中で(推察)」
なんだ。この3年を利用してやれば、ベストが出るわ。さつさと泳げ、タコ。

レース後
K君「せんばーい。(不敵な笑顔で)

△立派な後輩△

時は9月23日。所は都高プール。——紅白戦——
「ビビーッ」「ヨーイ」「バーン」種目は200MR。

3年生のI君は、心中でひそかに思った。

「今日が現役最後の試合だ。絶対にベストを出そう」と。

「よし。前半は順調だ。このままなら」

しかし、どうしたことでしょうか。I君は、ラスト10mぐらいから急に遅くなつたのです。そうです。海パンをつかまれて泳げなかつたのです。

I君「誰だ。こんな、こすい薄汚たねえ真似をする奴は。俺は3年だ。ということは、OBか3年。OBは、このぐらいの速さだと、橋本先輩か、篤俊先輩だ。でも、こんなひでえことはしないだろう。すると3年か? でも、3年生でBaを泳いでた奴はいたかな? すると2年、次雄——絶対にありえない。うーん。いたいた。するよーな奴が。(仮にK君としておきましょ)

何を隠そう、I君の腰には、K君にひつかかれた、赤々とした生々しいみみずばれが、残っていた事は言うまでもありません。

このK君は、恥ずかしながら背泳陣です。

一言。——ここまで落ちたか、背泳陣——

△立派な同期・その一▽

9月に入つたある日のこと、T君「2年生。俗称メガテン（目が点）鳴き声：パオーン」が、水銀燈に水着を干して帰りました。ブルにいたのは言わざと知れた37期（MEN）彼らはこの水着を少しぬらしてやろうと考えたのです。最初は、水玉程度であったが、「どうせなら」と、ブルにつけてしまったM君。ただ笑う37th。「ビニール袋をかけたら」とI君。決して反対しない37th。すかさずビニール袋をかけるM君。「水を入れたら」とI君。すかさず入るM君。ひたすら笑う37th。その後どうなつたか知りませんが、T君によると、目が点どころでは、すまなかつたようです。

△立派な同期・その二——ある人——▽

私は黒潮（33）を読んでこう思った。
「ある人を皆に紹介せねばなるまい」と。

悪夢は2年前の桜の花散る入学式に始まつた。「あー、何と神圣なる空氣であろうか」と夢見心地に思つてゐると、となりに何かが動いてゐる。日が当たつてゐるのに、陰になつてゐる。いや、人がいる。「どうしよう。日本語はわかるのかな。そうだ公用語の英語で話そう。"Can you speak Japanese?" 反応がない。そ

うだ、きっと「有名人だから、陰をひそめているのか」と思い、「スティーピー・ワンドーか、いや、ガンジー：は死んじゅつたし、そうだブーマーだ」と思つたんだが、ちと違う。彼は教室に入ると、私の後ろに座つたので、私はいつか首を切り落とされ、彼のコレクションの仲間入りをしてしまうのではないかと、心配な毎日を送つたものでした。

彼の特長は、

一、目黒川のはとりで魚撈生活を営んでいる。

二、手と足でオセロができる。

三、「おせんべ、焼けたかな」のプロである。

四、チャリンコを愛用している。

五、槍り投げがうまい（水平に飛ぶ）。

この特長にビンときたら、逃げましょう。

——君子 危うきに 近寄らず——
——ルン氏 真っ黒に 近寄らず——

△その他▽

現役最後の黒潮なので4ページで終わらせるのは、もつたいないので、もう少し書かせてやつて下さい。

ではブチ先輩の真似をしてルン度テストを行つてみましょ。

1. ゲゲゲの鬼太郎の愛読者である。
2. 鬼太郎のキャラクターの中では、日陰者の「ぬりかべ」が好きである。
3. ポケットティッシュを集めている。
4. ギザ10（ギザのついた10円玉）を集めている。

例え、人の家であろうと、みかんを、食べ出すと止まらない。

人の荒らさがしが得意である。

遊んでいるつもりなのに、いじめていると思われる。

ハンバーガーか、イカフライか、ショートクリームを食べて、あ

たつた（食中毒）ことがある。

マヨネーズがきらいである。

自分の家のベットを力で服従させた。

小心者である。

遠距離通学者である。

猫がきらいであるが、好かれる。

英語は、読むだけで笑われる。

ゼミで、一番前の席にすわり眠っていて、先生に起されたこ

とがある。

公開模試でよく名前などを書き忘れる。

代ゼミメイトである。

賭け事では滅多に負けない。

成績表は、必ず二色である（黒と赤）。

⑦である。

先輩の方々、三年間どうもありがとうございました。私も来年からとうとうO Bの仲間入りです。これからもよろしくお願ひします。

同期、後輩のみなさま、これからもよろしく。

来年の夏 私はどこで

何をしているでしょうか。

消えゆく、栄光の背泳陣より。

輝きたい / Teenage Walk /

37 th 三年 横山 誠

「十字軍の……イエルサレム王国が……」一〇九九である……」

『暇、ひま、ヒマ、暇ですよお先生え』

今日は十月六日㈪です。今、三・四時間目の世界史の授業なのです。僕には世界史は必要ないのです。まあ自習でもしていればいいのですが、あいにく何も持つて来なかつたので黒潮を書くことにしました。

と、ここまで書けるのだが、この後が続きません。（と言ひつつもちやうかり一行書いてるではないか）

まず始めに教室の状況から説明しようと思います。僕は教室のど真中に座っています。周囲を見わたすとほとんど授業を聞いてる人はなく、自習をしたりしゃべってたり寝てたりしています。では周りの人にアンケートをしてもらいましょう。

Message for you

青木さん、関六出れなくて、ごめんなさい。今度は関六のO Bレースで、失格になりましょ。むなし会自由ヶ丘支部に乾杯。

Q 1 今この世界史の時間あなたは何をしていますか？

・日本史の勉強及び睡眠時間の補充

- ・右に同じ
- ・勉強勉強まじめに勉強！もちろん微積の、うくんま・じ・めこの世界史の時間をどう思いますか？

Q. 2.

- ・落ち着きがある憩いの時間

・右に同じ

- ・大切な内職の時間（ちなみにS1は明日テストがある）
- ・最後に「横山誠」をどう思いますか？

Q. 3.

- ・なんかよくわかんないけどかわいい（私ってそんなにかわいいからら）

・何を考えているのかわからない所がある。が根はまじめ（そうです！まじめなんです）

・おもちゃ、奇人、ミーハーなやつ、見てるだけで楽しいやつ。

一つのクラブに必ず必要とされるような人物、文系のくせに

現国と世界史の時間寝るやつ（ごめんね！どうせ俺は松田聖子の結婚式を見に行くミーハー野郎だよ）

ちなみに最後の人は最近まで魚であり、ようやく人間に戻りつゝある急激進化動物である（ほんのジョークのつもり）

4時間目になつた。

まあよくここまでくだらないことを書く　あとづくづく思います。まあいいや今日はここまでにしてあと四十分あるし寝ましょう。では、お休みなさい……。

ん?!　ここはどこだ？　暗い！　何だこの悲鳴は？　何かが顔についた！　「うわっきもち悪い！」　あれ？OBの人達だ！　何だあの嬉しそうな顔は！　誰か逃げる奴がいる。あれは僕ではないか！　他にも逃げる奴がいる。ここは教室だ！　ん？タバスコ？　マヨネーズ？カラシ？　夜襲？　「わー助けてくれー！」

寒そうにブールサイドでトランプをしている奴等がいる。あれは大波波浪注意報三十七期ではないか。端から見たらバカだよこりゃ。

おっ？!

今度は大学の講堂のようだ。舞台に見えるは吉川晃司じゃないか。かっこいい！（なに言つてんだよ！ただのヤツちゃんじやないか）

げっ?!　ここは奥多摩？　外はもう暗い！　もうたくさんだ！やめてくれー！……

あつ夢かも。

ふと起きて前を見ると、十月三十一日という日付け。時間は午前4時6分。じゃあ六日の世界史の時間からずっと寝ていて、その間に部長がきまつて、追い出し、があつてそれに中間テストも終わつたんだあラッキー（おいおい。そんなわけねーだろてつ！）

そして今は4時13分。実は今日が切日なのです。どうしようまだ書きたいことがあるのに。もういいや寝よう。明日じゃなくして今日の一・二時間目の「世界史」を使おう。では、またまたお休みなさい……。

お早うございます。今朝山手線が不通になったとかで先生がまだ来てません。いつのことカットすればいいのに。

さて話は変わりますが、今年の一年生が幸運か不運かこの学校に入りましたが、今も入学試験の日、我三十七期ボーアズ6人は、2泊3日で志賀高原にスキーに行きました。2泊3日と言つても前日の夜に出て行のバスで寝て、帰りもバスの中で寝て朝に帰つて来て学校に行くという超ハードなスキーでした。とても猛吹雪で三メートル前も見えませんでした。もうスキーをしてるのか遭難ごっこをしてるのか分からぬぐらいで、結局僕一人が顔に凍傷の初期状態になってしまい一ヵ月後の原付免許の写真にそのあとが写つてしまつたとさ。もーあんなのやだー。

2時間目、中間テストの答案が返つて來た、勉強してないにしてはまあまあの点だ。原稿は明日までになつたので一安心。後は帰つてから書こう。

では本題に入りたいと思います。過去2年間の黒潮にタイムやレースのことなどくわしく書いたことがなかつた。なぜならレースやベストのことであり良い思い出がなく書きたくないからだ。

僕は今年100Frと200Frに賭けた。目標は歴代に入ること。

最後の十六校。どちらもベストならず。そして関六。今年はうちの学校があるので泳ぎやすい。この夏最後の試合なので是非ともベストそして歴代入りを果たしたかった。一日目100Fr。めちゃくちや遅かった。不調だったとか言うのではなく気合が入つていなかつた、他の何者でもなかつた。とてもなきなかつた。2日目100Fr。

全々だめ暑さのせいでもない昨日同様気合抜け。もうこれで終わりかと思った。しかし思わずチャンスがまわつて來た。僕はその前の800FRの選考会で上位8人の中に入れなくて望みのBチームのメンバーになれなかつた。しかし岩坂が出れなくなつてしまつてその変わり僕が英治が泳ぐことになり、ここは3年の意地ということで泳がしてもらうことになりました。これがもう最後のチャンスだと思つた。このまま夏が終わるのはやだ！絶対歴代入りをしたいと思った。大会最後の800FR。7コース都立大Bチーム。尾上・荒木・誠・忠義のメンツです。コース台に立つたときいつも緊張感がなく頭のもやもやが消えた。荒木が泳いで來た『ん？これが800Frか！』僕は始めからとばした。ターンサインで橋本先輩が応援しているのが聞こえた。僕はターンしながら『先輩のタイムをひいてみせます』と言つた。一タック！もう悔いはなかつた。忠義が泳ぎ終わりタイムは十分十七秒八。そんなに足を引つぱつてはなさそうだった。そしてむこう側ではAチームが歴1を出していた。Bチームも歴代の上のほうに入つた。そしてあとで自分のタイムを見たら二分三十四秒六／とても嬉しかつた。これで気持ちよく納会に行けると思つた。

100Frの方はどうなつたか？と下馬でベストが出たが歴代まであと〇・五秒だつた。その後も何回もレースをしたがだめだつた。悔いがないと言えばうそになるがやるだけやつて出したタイムなので何も言いません。

今年は絶対に一・二年の時のように悔いの残るようなシーズンにいたくないと思いました。夏はちゃんと泳ぐつもりでいたのに足のけがやゼミの時間と重なるなどしてとても不安がありました。そし

てまた今年で最後だということからあせりが出て自分で自分でブレッシャーをかけていたように思えましたタイムについて意識しきていたと思います。またこういうふうに自分のことしか考えていないので一・二年生の鏡となるべく三年生としては失格だったと思いま

す。もつと先輩らしくるべきだったと思います。

結局200Fr-128位。目標が達成できてとても嬉しいです。それはみんなの活躍からすればおそらく時間もかもしれません。もつと上位に上がりたいと思いまともっとがんばれば上にいけたと思います。でもこのタイムを出した時点で自分の力を精一杯出しベストな気持ちで泳いだことだけでも満足でタイムなど関係ありませんでした。納得いく泳ぎをすればそれでいいと思います。——それとあとこの順位ですが来年の夏の前まではスパート落としてももらいたいものです。それはまた「プロジェクトOIH」もあります。

100Fr-133位。悔しくて悔しくてたまりませんでもさつきも言いましたが、自分なりに精一杯やったし、納得のいく泳ぎでのベストでした。また目標が果たせなかつたにしてもその悔しさが他の何かの力になると自分に言い聞かせたいです。でも本当に水泳をやつていてよかったです。今までこんなに本気でやつたものもなかつたし燃えさせられたものもありませんでした。別にこれで終りではなくこれからまた水泳をするにしても何をするにしても常に上を目指す心をもち、夢を持つて輝いてみたいですね。

またこのように思えるのもこの水泳部があつたからこそだと思います。僕はこの学校にこの水泳部に入るために入学したのかと錯覚せざるを得ないほどこの部に関り合ってきました。もし水泳部に入

つていなかつたらどうしていただろうなんて想像もつきません。またこの部が他の部とはちがうものがあったからここまでこれたと思います。

——後輩のみなさんへ！一言・二言・三言？

まず二年生は来年三年生となり三年目のシーズンを泳ぐかどうかを考えるが個人的に言わしてもらえばみんな泳いでほしい。まあ今的一年生が少ないしみんな泳いでくれると思うけどきっと何か得るものがあるでしょう。とにかく悔いの残らないようにがんばつて下さい。一年生は来年少ないのでがんばつて下さい。とにかく新一年生をたくさん入れなければ話になりません。キャブテン！君の魅力でカワイイ新一年生を入れましょう。とにかくけがや病気だけには気をつけましょう。

——三十七期と聞いただけで……。

都高水泳部辞典——まこと出版社

さんじゅうななき【三十七期】①我校が新制高校になつて三十七番

目に卒業する生徒のこと。②おかしな行動をする人のこと。

——げんしょう【——現象】気がつくと用もないのにブルサイドに集まってしまうこと。

——付録——

まこと【誠】①うそでないこと。眞実。誠意。②とてもかっこいい人のこと。——こうい【——行為】自分では普通のことのようにしていることが他の人が見るとおかしく思われる行為。

今年のテーマといつたらやつぱし。気がつけば三年。
とくに夏の前などはとくにそうでした。試験が終わつたあと泳いで

いくにしても、ふと気がつくと三年へたいてい男どもですが)しか
残こつていなくいつまでも遊んでいるわけです。まるでどちらが一
・二年生でどちらが三年生だか分からぬ始末で笑うにも笑えませ
んねえ。

いろいろ話題の多かった三十七期でした。こんな僕ですがこの三
十七期の代として入部できてもよかつたと思います。このごろ
は全員そろうこともないですが、卒業してもおかしな三十七期でい
ましょ。これからもどうぞよろしく。

—先輩の方々へ
つかみどころのないこんな私をコーチして下さった林先輩、川合
先輩、そして他の先輩方どうもありがとうございました。早いもの
で卒業して私ももうOBという立場になります。今度は黒潮会の
新一年生となるのでその節はよろしくおねがいします。夏の黒潮会
では是非とも50Frでベストを出したいと思います。

—はじめに—

私は黒潮で、どうしてもやつてみたいことが二つあります。
(始まりが昨年と同じペターンのような気がする)一つ目は「題名
を横文字で書くこと」これはめでたく昨年実現しましたので、今
年は是非、もう一つの夢「第〇章と書くこと」をやつてみたいと思
います。

—第一章—

神様って不公平だと思う……。

—最後に—
本当に早い三年間でした。つい最近先輩に連れられて男子更衣室
のトイレのドアを開けて水泳部としての第一歩を踏んだと思ったの
に早いのですねえ。でも早かつたと思う分だけ思い出の数も多い
と思います。別にこれで終つたわけではないしこれからも歩き続
けて行きたいですねえ……。

私は、いわゆる「K」さんと、小・中・高といっしょです。高校
では、なんとクラブもいっしょです。しかし、かたや「虚しい会」
の会長、かたや「悪女K」うーん、この違いは一体どこから生まれ
てくるのでしょうか。

つい最近、私はとある本を探して、なんと大小十九軒の本屋を、
三日間かけて歩き回った。だが、なぜかその本だけ無い。いい加減

では! ひとまず、さようなら——

"I am free / "

—おっしまい—

やられた私と、やつて下さった「K」

三年 青木 愛子

諦めていた時、我が家が電話が鳴った。

「もしもし、あいちゃん、ねえ探してた本あるけど買っていく？」

ちゅうと、これってばあんまいよー。

指輪が出てくる二十円のガチャガチャをやつた時のこと。Kさんは三回目のハト（はずれ）を出した。私はと言えば、たいへん珍しいことに、二回連続の当たりである。

「えーーー、またハトだあ」とKさん。

「たまにはいいんじゃない」と冷たい私。でも、マクドナルドのクジを十回くらいやつて一回も当たらなかつたという過去を持つている人だつているんだ。なによ、三回のはずれくらい。マックシェイクは二百円、それに比べれば二十円なんて安いものよ。フン。上には上がいるものである。

「人生なんて、こんなもんよ」と妙に悟つてみたくなる今日この頃のおきです。

しかし、私の不幸はこれだけではない。こう御期待していた二子方面の一年生は、今年もナシ。電車の中で見る顔は、おなじみのメンバーだし、朝の東横線なんて、ひどいものだ。自由ヶ丘ではI君が急行から乗り変えて降りてくるのだが、I君とKさん、この二人は電車の中でグリーンガムと、クールミントガムを交換し合うクセがある。よりによつて私の嫌いなミントガムを。

「愛子も食べる？」

「ねえあいちゃん、食べてみなよ。ほんと、ぜんぜん辛くないよ」ミントの香りのブンブンするこの攻撃により、神聖な朝の空氣は汚されるのだ。

石の上にも三年とは、良く言つたものです。今年で、これらの不幸ともきっとお別れできるはず。学大の足長おじさん、みてて下さーい。私、きっと幸わせになりますー。

— 第二章 — にいこうとした途端、書きたいことが頭の中から消えてしまったので、次にいきたいと思ひます。

— おわりに —

結局のところ、私のような文才の無い者が一章二章などと無理をしようと思つたのが間違いでした。思えば短かい三年間、私のような未熟者が無事、ここまで来れたのも偏に先輩・後輩の皆様、三十七期のみんなのお陰です。どうか、これからもよろしくお願ひします。

隣りで尾上君が、熟睡状態に入っている模様。今、原稿〆切最終日、十一月四日、四時間目、酒井先生の古典の授業中で、
（ちなみに、今日は落合弘美さん、十八歳のお誕生日でした。落合、おめでとうね）

THE END

P.S. 藤本淳子に「何書いた?」と聞かれ、「メインはKよ」と答えたたら、「お前って虚しい奴」と言われてしましました。

当たり前じゃない。私は会長よつ。

本当に おしまい

やがて、NO SIDE……

—今、ホイッスルが鳴る—

三年 丹羽晶子

私の時間の大部分を占めていた「クラブ」が、フッとなくなって、なんだか妙な気分です。やがて卒業。やはり、三年目泳げばよかつたつて思うようになるんでしょうね。

クラブって言えば、一年の頃、ホームルームが長くなつて、三時半が刻々とせまつてきて、時計とにらめっこをしながら、部室まで必死に走ったことをまず思い出します。つらかったと言えばつらかったんだけど、好きだつたんだなって思います。

もう、クラブをやめようつて悩んだ二年の頃のことを思うと、私もけつこうマジに自分の体のことを心配してたんだと思います。

結局、無理をすることになつてしまつたけど、自分では、選択に間違いはなかつたと信じています。

こうして黒潮を書いていると、本当にクラブをやめなくてよかつたつて思います。

彼は目を閉じて、枯れた芝生の匂い

深く吸つた

長いリーグ戦をしめくるキックは
ゴールをそれた

ゆるやかな冬の日の黄昏に
彼はもう一度と、かぐことのない風
深く吸つた

何をゴールに決めて

何を犠牲にしたの

誰も知らず

観声よりも長く

興奮よりも速く

走ろうとしてたあなたをすこしでも
わかりたいから……

(松田栄田雅・"NO SIDE"より)

最後に——。

いろいろとお世話になつたOB・OGの方々をはじめ、37期のみんなと後輩たちへ……

今まで、いろいろとありがとうございました。OGになつてもよろしくお願ひします。

そして今……

—私にとってNO SIDEを告げる

ホイッスルが鳴つたようです—

THEME

「11年目の私」

三年 稲垣香居

現役最後の夏休み、私は毎日、「プールに行つて泳ぎたい！」と考えていました。あの名前を聞くだけで背筋が寒くなるような百インターでさえもなつかしくて、泳ぎたくなってしまうのです。でも実際プールに行つたのは数えるほどしかありませんでした。それでもプールで、真夏の太陽の下で泳いでいるみんなに会えるとうれしくて、特に同じ三年生に会えると本当にうれしくて、何かはっとするような気がしました。

自分に勝つのが練習です

勝負に勝つのが試合です

二年前に林先輩に言われた言葉です。

最後に、三年間お世話になったコーチ、先輩、37thのみなさん、本当にありがとうございました。とても言葉ではいい表わせません。後輩のみなさんもどうもありがとうございました。これからも頑張って下さい。

十月十八日 晴れ

三年 菊田京子

私はみなさんにいまいち自分を出せなかつたようです。（3年間の後悔） 私を偶像化して見ている方は気をつけましょう。実は……。

今日やつと中間試験が終りました。そのうつぶんをはらすかのように、追コン々がありました。とうとう私も追いだされる人になつてしましました。でもさみしいものですね。なんとか最近先輩としての自覚がもてるようになれたと思ったのに・・・今度はOBにな

三年 落合弘美

私にとって今年の夏は、いつもの夏とちょっと変わった変な夏でした。そしてまた空しい夏もありました。変わっているということは、夏休みに水泳部以外の人と一緒にいたことです。こんなことは高校に入ってから初めてです。空しいというのは、今まで結構充実していた夏を送っていたけど、今年はただなんとなく過ぎてしまつたという感じです。私はさきほど水泳部にびつたりの諺を見つけました。

Patience is better but its fruit is sweet.

それでは、三年間どうもみなさんありがとうございます。そしてこれからもよろしくお願いします。短いんですけどこれで終わります。
P.S. 夏休みには、練習に出てかえつてみなさんに迷惑をかけてしまつたことを深く反省しています。

つちやうんですね。大変大変。色紙なんかもらつちゃつたらしみじみとさみしさをかみしめてしましますよ。それでなくとも秋の夜長物思いにふけつてゐるのに・・・今シーズンは去年にもまして早いシーズンで後悔の多いシーズンでした。O.B・O.Gの皆さん、同輩後輩の皆さんお世話になりました。来年はもうちょっとお役にたてるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。

P.S

私が二子にいる限り花火へ招待しますのでお暇でしたらいらしてください。

あしか引退宣 my revolution

三年 木下知見

まず今年泳ぐと言つておきながら全々泳がなかつた事について。

昨年の黒潮のコーチ評を読むたびほんとに泣ける思いです。私が泳ぐと信じていらつしゃつた方々へ、本当にごめんなさい。

泳がない決意をしたのは二年の九月です。でも、なんとか暇を見つけて少しでも泳ごうと思つてました。が、私には、二つの事を同時にこなす能力がありません。

水泳部に入部して皆様からたくさんの物を受け取りました。何物にも替え難い物を。一日一日が、練習のつらさなんて忘れてしまう程楽しかったのは、皆様のせいでしょうね。

私は、小さな頃からずっと生活の中心を音楽に費してきました。ピアノを弾くのが好きです。音楽と一緒にいる時間がだいすきです。

高校に入つて一ヶ月後、周囲の反対を押し切つて水泳部に入部しました。その結果、肩から指先にかけての鍵盤を叩く為に必要な筋が全部なくなつちゃつて....。ピアノの先生は毎度つらいつらいとおっしゃいます。私だってつらい。でも水泳部に入部していなかつたら、もつとつらかつたかもしれない。たとえ、先生が望み続け私が追い続いている物に、今頃手が届きかけていても。一人が作つてくれた確実な道をまっすぐ行くよりも、時には自分で「えい」とそれてみたりするのって、色んな物が、ああそつかって見えてきたりして、大変だけど、今はそれで良かったと思つています。

廊下を歩いていると「こんちわ」って声がします。それが私の元気の源です。今年、部員らしい事を何一つできなかつた事、残念で申し訳ないと思つてます。でも、後悔はしない。したくない。では、水泳部の皆様がいつもいつも輝いていられるように、誰よりも強く強く願いつつ。

P.S. 41cmあつた肩が37cmになりました。

おわびのことば

三年 河野道子

今シーズン、練習にも出ずとにとうとうおわつてしまつて、悪い水泳部員の見本となつてしましました。どうもすみません。こんなわたしですが、今後もどうぞよろしくお願ひします。

「？」

三年 神保美佳

※十一月四日の五、六時間目の古典の時間に書いているのでわけの分からぬ文章になつてゐるかも知れません。読みにくかつたらごめんなさい。

昔のことはわりとすぐに忘れるタチなので詳細は憶えていませんが、私は別に都高へ入部するつもりは全くありませんでした。ただ第一志望の高校は見事に落ち、第二志望は補欠合格で、こんな事では入学後絶対に落ちこぼれになると思い、どうせなら学費も安くできちんと合格した所へ入った方がいいかなと思い都高に決めたわけですが、はつきり言ってここでも落ちこぼれてしましました。シーズン中に疲れるので全く勉強しないでいたのを態度を改めなかつたのが災いしたのでしょうか。みんな他の人は陰ではやつてるからなー。なんだか変なことを書いているような気がしますが時間がないので続けます。

確か水泳部に入った理由は暗い文化部(中学の時)入っていたので、高校に入つたら明るい運動部に入ろうと思つたのと、受験期にとても太つてしまつたのでやせたいと思い、運動の中では水泳が一番ましに泳げるるので水泳部にしたんだと思います。でも私にとつて運動部は恐怖でした。今まで練習の時の苦しさを知らなかつたのと、きびしい上下関係があることを聞いていたので、あいさつをたくさんしなければいけないのかなと不安になつたのです。実は私は消局

的で内向的のないいさつしたり話しかけたりするのが苦手なので、「あいさつ」と聞いただけで部活やめようかと考えました。でもやめなくてよかったです。先輩も同輩もみんな面白くていい人達ばかりでした。練習だつて練習中は「やめたい」とか、「泳いでる中にいきなり泳ぐのやめようか」とか「私は何か物事を一心不乱でにきない性質で、ダッシュの途中でもインターの途中でもいつも何かごちゃごちゃ考えてしまうのです」「考えるのをやめたい」と思つても寝る時以外は絶対思考が途切れず頭の中で自分一人で会話しているような状態が続くので非常に脳が疲れます。時々その思考が邪魔をして誰かと会話して途中に気がつくとしゃべっていないことがあつたり、真正面から知人が歩いて来ると気がつかなかつたり、勉強中自分で気づかないうちに手が止まっている事があります。脱線してごめん)考えているのですが、終わると気分がよくなるし、シーズンの終わり近くなんてとてもとても淋しくて「やだなー、もう終っちゃうのかあ」と思つていきました。あの頃は青春してよかつたなあ〜なんて老人くさいことを考えてしまふ私でした。今思うと後悔するような事もいっぱいありました。練習中手抜きをしたし、よく屁理屈もこねました。私をコーチして下さつたコーチの方々、ごめんなさい。そしてありがとうございました。また同じチームの人達、37歳のみなさん、ありがとう。どんなやな事でも私にとつては素晴らしい思い出になります。OB・OGの方々、今年練習に出なくてごめんなさい。一学期激しく欠席して出席日数がとても危いので、部活に出ると勉強をまたさぼつてしまいそうだったのでいつも出ようかどうか迷いながらシーズンが終わつてしまいました。でも大学に落ちても怒らないで下さいね。後輩、特に一年生

の皆さん、いるのかいないのか分からぬような先輩どごめんね。

今度入って来る一年生達、水泳部はとても居心地のいい所です。入ったらやめないで下さい。来シーズンがんばってね。

付録……私は話しかけるのは苦手ですが、話しかけられてかまつてもらえるのは大好きなので、よかったです。でも、話しかけられてかまつて思つた。血液型のことは割と詳しいので疑問があつたら聞いてね。

おわりです

を頂いて寝ましたけどね、二・三時間あまり。

こうやって振り返ると、水泳部で過ごした日々は、本当に、にぎやかで、楽しかったなあと、思えます。

そろそろ紙面もつきたようなので……。良き先輩、同輩、後輩の方々とめぐりあえたことを感謝しつつ…… オヤスマニナサイ。

十一月一日土曜日零時二十分

三度目の正直

三年 藤本淳子

三度目の夏が終わって、ブールが色づき始めたころ、三度目の冬が来ようとしています。もう黒潮を書く季節になつてしまつて、三年間なんてほんとに「あつ」という間に過ぎ去つてしまつた。でもよく考えれば「三年」っていうのは長いんですね。だって、生まれたばかりの赤ん坊だって、三年すれば、立つて歩き、言葉までしゃべれるようになつてしまふし、幼稚園へ行つた子供は小学校に、小学生は中学生に、中学生は高校生に、高校生は浪人生になつてしまふんですよ。うん、恐ろしい。そして、浪人生は大学生になるのです。うん、明るい未来が待つていてる。

おわり

本当はこんなこと書くはずじゃなかつたのに。三度目なんだから、「今年こそは」って思つてたのに、結局こんなわけのわからない文になつてしまつました。悲しい。でも、これが国語で(E)判定つて京子と二人でお空を見あげたりしてました。最終的には、毛布

This was then,

This is now.....

知らぬ間に遠く years go by
美しいすぎるほど
忘れぬ日々よ

三年 和田小雪
樂しみにしていた追いコンも終わり、私に残されたものは受験だけになってしまいました。この黒潮ができるころにはこの私もOGです。早いですねー。「時とのながれに身をまかせー♪」と思わずテレサ・テンしてしまるのは私だけでしょうか。

一、二年の頃は現役時代が永遠に続くような気がし、自分は三年になつても絶対泳ぐと思っていたし、ついでにいえば現役でまあまあの大学に入ろうなんてことも考えてたし……。今となつてはすべて、It's no use crying over spilt milk……、こんなときにも受験生してしまう自分が悲しい今日この頃です。

「早い」といつても365日×3あつたわけでやっぱりいろいろなことがありました。楽しかったこと、嬉しかったこと、悲しかったこと、くやしかったこと、自分の三年間が水泳部とほんとーに深くかかわっていたんだなって思います。たぶんこれからもそうなんでしょうね。たかが水泳部、されど水泳部。
三年間どうもありがとうございました。これからもよろしく。

胸に残る愛しい人よ 飲み明かしてたなつかしい時代
oh, oh, 秋が恋を切なくすれば
ひとり身のキャンバス 涙のチャペル
oh もうあの頃のことは夢の中へ

互いにギター鳴らすだけで わかりあえてた奴もいたよ
oh, oh, 戻れるなら In my little aquain
目にうかぶのは Better days
とびきりステキな恋などもしたと思う
帰らぬ思い出 Time goes by
もう一度だけあえたら いつの日にかまた
美しすぎるほど 忘られぬ日々よ
忘られぬ日々よ

(yayaー あの時代を忘れないー)

おしまい

おまけ とつでもとつても悲しい話

皆さん、ドラえもんの最終回を知っていますか？ 実はのび太は植物人間の少年で、あの長いお話はのび太の長い夢だったというのです。クラスに広まつたこの話題は、受験生の私達の胸に暗い影を落としていったのでした。（もうみんなとつくなつてた？）

夢見るころを過ぎて

二年 矢島次雄

今年一年間、僕はこれに賭けた。特に100と200に。だけどいくらかいコートに見てもらおうが、どんなに辛い練習を積もうが、身体の方は全く言うことを聞いてくれない。フン、どうせ僕には教科書通りの美しい泳ぎなんか出来やしないんだ！

むかし、むかし、その昔――
大陸は海だった。
人間は魚だった。

そしていま、スイミングだけが僕達をお魚してくれる……。

「夢」は二度覚めた。昨年、そして今年と……。現実にしてはやけに短かく思われたあの夏は、僕にとってはまるで「夢」のようだったんだ。

さて、前回の「黒潮」を読んだ方にはお判りでしょうが、僕の原稿は「未完」だったよね。でも、未完のものが全て大器であるとは限らないから、ここでえべつてもしょーがないな。まあ何はともあれ、昨年の続編という意味も含めて、僕が今年も見続けた「お魚になる」夢を、今回はちょっと紹介してみよーかな。

必死の模策――速く泳ぐためには、自分で考えて工夫しなくちゃ。そんな時、一人苦しむこの僕に、いつの間にかライバルが出来ちゃった。その名も「フィッシュマン」魚地。ヤツは素質と筋肉の魂だ。今じゃ百のタイム差なんてほんとんどない。こりゃやべーぜ！

スプリントにとつて、スタートの大差さは言うまでもないよね。そしてついに、来るべき時が来てしまつたんだ。あのワイルドな魚地が、とうとうスイムスタートを変えやがつた。速さを求めるその手は、ことあるごとにスタート台の後ろをつかんでしまつたのだ。なんたる恐れ知らず。どうしよう、もう僕に勝ち目はないの？

が、神はまだ見捨てていなかつた。軽技師のようなこの技の前には、怪力無双を誇る魚地でも自滅をまぬがれることは出来なかつた（分かる？要するに、スタートするたびに彼はフライングになつちやうわけね）。結局、一部の人々に惜しまれながらも、魚地のこの幻の技は、都高ブルのどこかのスタート台上に、今もなお封印されている……。

「矢島次雄いいところなし。」

「誰から好かれるよりも、誰よりも早く泳ぎたい。」――
本音を言えばこうなつちやうんだよね。

速さを求めるフリースタイル「クロール」――なんかカタカナで書くとアホらしいけど、これぞ水泳の真髓、究極の泳ぎではないだろうか？やつぱり男はこれだね！

なにしろ弱点が多かつた。どこか注意すると、今度は別の所がおかしくなつたりして、一度だって同じフォームで泳いだことがないもんな。こんなことじゃ魚地どころか、他の皆にだつて勝てないな。ひとまず魚地とのスプリント対決はお預けだな。でもこの黒潮が出る頃には、再び君との対決は始まっているかもね、魚地君！！

いつかきっと、クロール以上のフリースタイルが現われるだろう。その時まで、僕は“速さ”を求めてクロールを泳ぎ続けるんだ――

TEAM SPIRIT 86

スマートは孤独ではない。分かるかい？それがチームの“パワーラ”というものなんだ！

最初の“夢”が覚めかけた昨年の十月、僕はキャブテンになつた。まず、自分なりのキャブテン像というものを考えてみた。「えーと、まず橋本先輩と篠俊先輩を足して二で割つて……それから関先輩のこういうところを加えて。政美先輩のことはこうやつてみようかな……」

おつとつと、こんなじキダメだ。これじゃつ・ぎ・は・ぎ・だ・ら・け・に・な・つ・ち・や・う・よ。いいところはいくらでも見習わなくちゃいけないけど、せつかくキャブテンになつたんだから、もつと自分らしさを出さな・く・ち・ゃ・。

キャブテンになつて、今まで一体何をしてきたんだろう？ついも思う。でもたつた一つ、今でもやりたいと思っていることがあるんだ。それはさつきも書いたみたいな、チームの“パワー”を見つけることさ。どうせ試合に出れば、水泳なんか個人競技だもん。ジャージの後ろを見てみよう。“TEAM”なんかじゃなくて“CLUB”でいいのさ。でも、やっぱり僕らは“TEAM”なんだ。“TEAM”で偉大なんだよな。

僕の水泳経験なんか知らない人の方が多いだろうけど、皆よりか

は多少は長いんじゃないかと思うんだ。それだけ泳ぐことの楽しみも、苦しみも、いろんなことを経験してきたつもりなんだ。だからこんな理由でもいいから、皆が僕に頼つてくれればうれしかつたんだよね。皆が一諸にいて安心出来るような存在でいたかつたんだ。

これが僕の「キャブテン像」さ――今になって他人から文句を言われるようなことをしてきたつもりは全くないし、またこれからもうありたいと思っている。さて、皆の目にはどう映つたやら……。 「こいつ、何でかいこと言つてんだ」なんて思つたりしてたのなら、それはそれでしょうがないね。でもそう思つた人達にも、いつかはきっと分かつてもらえると思う。卒業して、社会に出てみて、一度「キャブテン」みたいな責任を負つてみればいい。その時分かるはずさ。一シーズン、キャブテンという重い荷を背負つてきた僕の心境が……。

思い出の名場面シリーズ

PART 1 「ああ、我が愛しき歴一よ！ 800FR編」

実況・「さー、今年も数々のドラマを生んでまいりましたこの関六も、残すところあと高校男子800FRだけとなつてしましました。ここでも各校選手、一体どんなレースを開催してくれるか楽しめです。ターンサイドでは、各校応援団が早くもフォーメーションを組み始めております。さあ、いよいよ各校精銳のメンバーガ登場してまいりました。各校を順に紹介していくことに致しましよう。一コース……、二コースは我らが都大附Aチームです、矢島・魚地・久保田・尾上（政）の四人はこのレースに全神経を集中してきました。本日もしかすると、歴代一位誕生

の瞬間が見られるかもしません！そしてお隣り三コース、都

大附の三連覇を阻むとすれば、おそらくこのチームではないで
しょうか、二年生二人、一年生二人のヤング学習院です。そし
て四コース……」

僕の頭の中・「歴一出すぞー／ベスト出すぞー／勝つぞー！」

実況・「さあ、間もなくスタートの合図がこの都大附ブルに響
き渡ります。都大附Aチームのトップは矢島君です！」

フェの音・「ビビ——」

スターーー・「用意！」

ピストルの音・「ズダーン！」

バシヤーン！

実況・「各チーム第一泳者、一斉に飛び出しました！」コース矢
島君が早くも抜き出ています。第二泳者の魚地君は、おそらく
彼のヤング・グラッドを感じているのではないか。お
っと、やはり飛ばし過ぎたか矢島君！だんだん落ちてきていま
す！」

僕の頭の中・「く、く、苦し~~~~~い！」

実況・「さあ、間もなく第二泳者に引き継ぎだ！どうだ矢島君、
二十秒台の壁を破るか？！破るか、破るか、破った~~~~十
九秒九だ~~~~！」

僕・「うお~~~~！」

実況・「魚地君、絶妙のスタートを切ったぞ！相変わらず豪快な
泳ぎだ！……あと十メートル、全く泳ぎが変わらない！いいぞ、

依然としてトップをキープ！その差約五メートルだ！タツチ！」
僕・「魚地、ベストだ~~~~！」

魚地・「うお~~~~！」

実況・「第三泳者久保田君スタート／隣り学習院は今大会200FRを
制した松島君だ！さすがに速い！差をどんどん詰めていくぞ！
がんばれ久保田君！……あと五メートル、アンカーにはエー
スの尾上（政）君が待っているぞ！負けるな久保田君／タツチ
~~~~チ！」

僕・「歴一出るぞ~~~~！」

実況・「尾上（政）君速い！Brの選手にしておくのはもつたないな  
いくらいだ！おっと？！学習院の若きエース一ノ瀬君、こちらも  
またメチャクチャ速い！ぐんぐん差を詰めて来た！もう一メー  
トルないぞ！」

僕の頭の中・「や、やばい……」

実況・「残りあと二十メートルを切った！あつ並んだ！尾上（政）  
君、遂に力尽きたか？！抜かれた！もの凄い一ノ瀬君のスパート  
！こんな力を残しておくとはなんとするいヤツだ！」

僕・「毗然……」

実況・「一ノ瀬君ゴオ~~~~ル！遂に都大附三連覇の神話が崩  
された！しかし良くやった、尾上（政）君。破ればしたもののベ  
ストを一気に三秒も縮め、都大附Aチームに歴代一位をもたら  
しました！だがやはり最後で抜かれたためか、尾上（政）君、非  
常に悔しそうです……」

——この時政美先輩の悔しがる姿が印象的だった……。

PART 2 「十月の歴一僕らに秋はない！」

木々も次第に枯れ始め、長かった夏に別れを告げるかのように  
記念祭も終わった。僕らに残されたのは、ひと夏の思い出と、半

年間といふ長きに渡る陸トレだった。そんな時、最後の記録会に挑むため、幾人かの若者達が都高ブールに集つた。季節の移り変わりと共に、この都高ブールも緑化が進んでいくため、シーズン最後のわがままかのように塩素を多量にブチこみ、なんとかその進行を最低限にくい止めているのだ。こんな日の部活なんて、日本シリーズの始まつた後の日本ハム対ロッテ戦みたいだ。ただの消化試合に過ぎないのに。「200FR歴一出そうぜ」政美先輩がこう言つた。僕も魚地も久保リンも、誰も異存はなかつた。ただ、寒かつた……。

スタート五分前、三人は祈つた。一人は遊んでいた……。

一分前、出るか、出ないか、最後の大勝負だ……。

五秒前、久保リンがスタート台に立つた。

用意、ゴー！  
バッシャーン！

十秒後、久保リン、調子いいんじゃないの？

二十九秒後、僕が飛び込む。「後は任せろ！」

五十七秒後、魚地が飛び込む。

一分二十四秒後、政美先輩がスタート。

一分五十二秒後、200FR歴一誕生！

十月四日、秋の出来事だった……。

競技場はいつでも舞台だ。数々のヒーローを生き出していく。  
だけどブールは、時には敗者の涙もソックリ流してくれる……。

くだらないことばかりあれこれと書いてきました。昨年

もそうだったけど、シーズン中はもつといろんなことを書きたかったのに、今となつてはこれが精一杯だ。でもなんかやつているときってそんなもんだからな。

今まで失つていた「夢」を取り戻したら、またちょっとびり、自分の進む道みたいなものが見えてきたような気がするよ。来季のことはどうなるかまだ分かんないけど、御要望とあらば、また「夢」みたいに泳いで、部の中心になつて活躍してみせましょう。そうしたら、今度は最上級生として、良き先輩として、後輩の諸君には僕なりの精一杯の優しさをプレゼントしてあげよう。今年一年間、キャブテンなんて大役を、よくぞ僕なんかに任して下さいました先輩方、誠にありがとうございました。来季も一層の精進を致します。

最後に、この僕の原稿を読んで、ムッとした、頭に血が登つたりしちゃつた方へ。くれぐれも时限爆弾とか、カミソリ入りレターやとかは送つてこないで下さい。それとリンチもごめんですよ。

今年一年我ながらビックリするほど良く働いたと思う。もう疲れてクタクタだ。でもこれで、やっとぐっすり眠れそうだし、それに来年もまたいい『夢』が見れそうだな。じゃあそろそろ眠りにつくとするか。では……。

一九八七年十月

『明日の明るい水泳部づくりを目指す会』

初代会長 矢島次雄

(「夢見るころを過ぎて」)

BY KENJI SUZUKI

# 額に三日月の傷を持つ少年の叫び！

夏を夢見る少年 柿沢英治

11月1日(土)夜12半すぎ、僕はもう寝ようと思ったその時、重大な事を思い出した。11月1日は「黒潮の原稿の〆切の日」！もつと余裕をもって、書くつもりだったのに結局あせって書かなくてはいけなくなつた。

## マスターーズ世界大会

今シーズンで感動した中の一つにマスターーズ世界大会がありました。プログラムを見ると全部英語で書かれていて見るのがつかれた。出場選手の名前の横にはエントリータイムらしいものがついていた。プログラムをバラバラめくつしていくと、200mFrに一人すごい速いタイムの人をみつけた。名前はモンゴメリーと書かれていた。なんかどこかで聞いたことのあるような気がした。しばらくして、いよいよ200mFrでさつきのモンゴメリーという人が出ると思い、見ると、その人はさすがに体が大きくてすごい人だと思った。その時、場内にアナウンスがあつて、さつきのモンゴメリーと言う人はしオリンピックで優勝したモンゴメリーだとわかつた。(どうりで聞いたことがあると思つた)

そのアナウンスが流れると、場内は歎声でわいた。そして、飛び込みのブールでアップやダウンをしてる人達が、モンゴメリーの泳ぎを見ようと次々とブールサイドに上がってきた。場内はすごく盛り上がり始めた。人々はみんなモンゴメリーのことを注目していた。スタートした。見ている人みんな歎声を上げた。ひとかきがすごく大

きくみてるとゆっくりしたピッチだけど2位の人がみるとみるうちにはなれていった。モンゴメリーは30歳と39歳の世界記録を出した。僕もあの泳ぎには感動した。

次の日の練習でFrの時モンゴメリーの泳ぎをまねしたら、速くなつたような気がした。

## 合宿の話

今年の合宿は学校でやつた。とっても苦しくて・つらくて・こわい合宿であった。なんといつても篤俊先輩、練習の時はいつもこわいけど、合宿では何倍もおそろしかつた。ある時はビート板、またある時はプラスチックのバットというようにそちらにある物みんな凶器にしておそります。それに、橋本先輩・山下先輩・玲江先輩までがブールの上でビート板をもつて僕達をにらんでいます。ああ、恐しい。でも僕達も合宿中はすごく気合いが入つた。合宿3日目には午前・午後に分けてやる予定のメニューを、昼食前までにやりとげようという恐しい計画を、信じられないがやりとげてしまつた。ああ、恐しい。

合宿中、もうひとつ恐いことがあつた。それは合宿4日目に200インターで泳いでいる時だつた。僕はとても苦しくてたまらなかつた。その時、足の裏をちょんちょんとさわる妖怪が現われた。僕が苦しんでいる時にその妖怪は僕に「速く泳がないとぬかしてしまうこと！」と微笑みながら足の裏をさわつてくる。恐いことにその妖怪は200インターでベスト+1秒ぐらいのタイムを出した。僕はその時金縛りにかけられてしまつた。その恐い妖怪の名前は通称「シン・ベー」であった。

今日は11月3日（文化の日）、黒潮の原稿の〆切が11月4日になつたので、助かりました。

## 十六校

8月21日（木）晴れ。この日のために練習をしてきた。

100m Br すごく緊張していた。最初から飛ばした。2位で50mのターンをしたが、その後、手足が重くて全然進まない。結局、ペスト+2秒のひどいタイムだった。

200m Br 妖怪「シン・パンチョウ」が僕を「失格！」の術で僕を金縛りにした。失格でなくともひどいタイムだった。午後になつて、200Br のコンソレ、決勝があった。僕はこのコンソレや決勝の人人がアップをしてるのを見て、すごくむなしく感じた。

200Br 決勝 な、な、なんと一位に政美先輩、二位に戸山高校の内藤君、三位に尾上先輩という、まるで、うちのブールで行われた戸山戦のような結果だった。応援してる僕らもあのレースには感動した。

——「エイジガウタエヨ！」——

昨日、クラスの人達の前で「ハローグッバイ」という歌を歌わせられました。なぜ、歌わせられたかと言うと。それは修学旅行の2日目に津和野へ向う僕達のクラスのバスはカラオケ大会が行われていた。バスの中は盛り上っていた。しかし、僕はとなりにいた少年と自分にマイクが来るのを恐れていた。その時、神田が歌うことになつた。題名は忘れたが、すごい歌を神田は歌つていた。そして、彼は歌い終わり、次の歌う人を指名することになった。彼はT君を指名した。僕は安心した。だが、そのT君はうまくごまかして、歌わなかつた。そして、マイクがいろんな人へまわつたがだれも歌わ

なかつた。その時、マイクが僕の手元に来た。僕の後方にすわつていた神田知秀という少年がその時、「ソウダ、エイジガウタエヨ」という恐しい言葉をバスの中いっぱい広がるように大きな声で言った。そして、他の人達は僕がいやがつているのをわかつていながら、「ウタエ、ウタエ！」とこれまで恐しい言葉をかけた。僕は寝たふりをしようとしたがもう遅い。それから僕は無駄な抵抗をしたがやっぱりもうダメ。気が動転してる僕は季節はまだ秋なのに、「春なのに」というとんでもなく季節はずれの歌を歌つてしまつた。歌い終わるとクラスの人達は、僕に「歌うまいね」という同情の言葉をおつしゃつた。そして僕が指名する番になつた。周りを見まわすと、後方に不自然に目をそらして、重くるしい髪型をした影のある少年久保田文彦がいた。彼はこっちを恐る恐る見た。僕はその時、ニタッと笑い、彼を指名した。だがそこへバスガイドのお姉さんの「津和野に着きました」という言葉が聞えた。久保田文彦はそしてうまく歌わずに済ませた。

ということで、僕は柏原芳恵のファンでもないのに「ハローグッバイ」を歌わせられた。これから機会のある度に歌わせられるのかと思うと、神田君のあの時の言葉は忘れられません。「そうだ、英治が歌えよ！」

ということで話がそれましたが、原稿用紙7枚にわたり、つまらない文章を書きましたがこのへんでおわりたいと思います。少々、大げさに書いてある所もありますが、おゆるし願います。

今シーズン、コチして下さった先輩のみなさま、すんごいメニューの練習のおかげで、IMやFrが信じられないほど伸びました。

Brは来年にとつておいたので、来年タイムが速くなる予定です。が、期待しないで待つていて下さい。今シーズンはありがとうございました。

今シーズンお世話になつた先輩・同輩・後輩のみなさま、ありがとうございました。来シーズンもできる限りがんばりますので、よろしくお願ひします。

という所で終わります。さて原稿用紙7枚と書いている内に8枚になつてしましました。  
おわり。

作者より

ついてだ。現在(いま)になつて考えてみるとかなり悔いがのこつてしまふ。なんとかといふと、七月三十一日に二〇〇米バタフライで三分〇五秒という夢のようなタイムがでてから二つの対抗戦でペストを更新することができなかつたからだ。合宿のときの気合いが持続してなかつた。だから、十六校ではコンソをねらつていたのになんと、予選十三位!!つまりギリチョンでおちたのである……。

いちばんいいことがかなり、いや絶対にマイナーな話だつたのでどーもすみません、なんていつちゃいけないね。

最後に、今季のいやな体験、つまり十三位といういちばん苦い順位だったのを来季は克服したい、あと今季はメドレーのAチームのバッタをかちとるぞと来年(一九八七年)のオーブンコンバでいいと思つています。それから今シーズン、コーチをしていただいた角田篤俊先輩をはじめコーチ陣の皆様、他の先輩、OB・OGの方々、私をシーズン間いろいろと支えていただいてありがとうございました。

二年 高岸 錢治

十一月四日火曜日、今日は何と黒潮の原稿のしめ切り日だ。みんなが陸トレをしてるあいだにかこうと思つていたんです。そうすれば陸トレもしなくていいからベストだなつと思つてきました。校友会会長の仕事というのが突然といっていくらいに割りこんできたので六時の活動のおわりまであと四十五分しかないので、つまり、

『四十五分で原稿を仕上げなくてはいけない!!』

という何ともいいがたい状況なので今季の感想としていいたいことをいいたい順にかくのであしからず。

まず、十六校のこと。いや、十六校にいたるまでの八月の半月に

題名と内容が全くといつていいほど一致しなくてスミマセン。それからこのよう粗雑な文章をお読みいただきありがとうございます。

――おわり――

# 無題

## ☆ QUIET RIOT ☆

—年 フィッシュマン・魚地俊光

水泳部制圧を目論み、尾上先輩に照準を絞った“世紀末罪人”U君（だれ？）は事が黒潮に掲載された後も、先輩達をジープの荷台につめ込んだり、メガフォンぶつけたりと攻撃の手を緩めなかつた。その結果、彼は37期を40期にする寸前までに至つた。だが、そこに一人の男がまつたをかけた。男は折衝の一年部員の一人であつた。

Y39君。彼もまた、制圧を狙う者か……？ 彼はU君にコースローブを巻き付け、カリカリを投げつけ、仕舞にはU君のビーサンを覆くようになつた。水球の時である。Y39はY38（数字は何期かを示す）との愛で結ばれた連携で“U君つぶし”にかかつた。（Y39の黒幕はY38だったのだ！）Y38が関節をきめ、弱つたところをY39が水中に沈め、レフ・エリーの死角をついてのエルボー3発／うち一発が側頭部を痛打し、結果、Uは傷がいえるまで制圧を断念した。そして、歴代入りと共に格を上げたY38とT（だれかな？）がこそとばかりに制覇に名乗りを上げた。Y38は尾上先輩を“チンサン”にしてしまつた。Tは目を点にした。一方、Uはハイエナレースでも政美先輩に惨敗し、もう立ち直れなくなつていて。そしてY1はとどめをさした。

「牛乳くせ——んだよ！」

言葉にならない胸の熱いたぎり

拳を固めろ叩きのめされても  
激しくたかぶる夢を眠らせるな  
あふれる思いもあきらめはしない  
Hound Dog 「ff」より

## ☆ BACK IN TIME ☆

私は今後の水泳部をはじめて考へてゐる一人である。そして、私は水泳部を素晴らしい部にする為に、一人の重要な人物に会わなくてはならなかつた……。

（清水研助氏に聞く！）

私は昭和44年7月17日、目黒川のはとりで拾われました。（親から聞いた）

レボーター…吹同に引き抜かれてから、何をやつてしまひたか？

S …世間に私の素性（吹同の一員）がバレるのを恐れ、人様の前では、さも、自分は水泳部員であるかのように振舞っております。

レボーター…あなたの水泳部復帰はありますか？

S …高岸君に女ができるのとはば同確率でしょう。BUT、

レボーター…最後に一言。

S …ブル掃除の時はまた呼んでやつて下さい。

（永井伸之氏に聞く！）

レボーター…永井さん、あなたはなぜ水泳部を脱退したのですか？

永井氏（以下N）…水泳部は腐っている！私は腐りたくなかった！

腐らせる水泳部をゆるせなかつた！

レボーター…滝川コチをどう思いますか？

N …愛している！

レボーター…あなたの強姦事件は真実？！

N …認めます……。

レボーター…最後に一言。

N …Ζガンダムは無敵だ！やつてやるぜ（女と）86年11月

2日を俺は忘れない。

水泳部の今後をうらなう為に重要な一人の言葉でした

### Interlude II

街の明かりの下では

誰もが目を閉じ闇さまよつて  
あくせく流す汗と音楽だけは

やむことがなかつた . . . .

### ★ LET'S GO CRAZY ☆

黒潮の前号で淵先輩がチョコやドーピングを行つたと書いてあつた。「よし、俺も」と思つていたら、本橋さんが「あれやると寿命縮まるよ」と教えてくれた。そこで僕は安全なドーピングを考えることにした。まず思い浮んだのはプロレス観戦だが、ちょっと無理だ。そこでプロレス実戦は、と思ったがレースに出られない人が出ると困るのでやめた。次にピンと来たのは音楽だ。これならと思って、すぐ作つてみた。（16枚で使用）

### Side A

ドリームス／バン・ヘイレソ  
セベレート ウエイズ／ジャニー  
ドント クライ／エイジア

ファイナル カウントダウン／ヨーロッパ  
バーニング ハート／サバイバー

アイ オブ ザ タイガ／サバイバー

トレーニング モンタージュ／ビンス ディコラ

### Side B

その前田のラジオを適当にダビング。

結果、ベストは出たものの、興奮より緊張をさそい納得できるタイムが出なかつたのが事実である。

### Interlude III

君はだれかと波に乗る  
やがて涙のグッバイ  
見上げる空に君の微笑み  
星がにじんでた . . . .

### KUWATA BAND「BAN×3」より

### ★ EACH TIME ☆

中二の終り頃、家から最も近い床屋が、とんでもない値上げを敢行した。そして、僕は新たな安い床屋を求めて旅に出た。が、なかなかないものである。ずいぶん田舎へ入った。（下馬は広大である）あつた！安い！そして、しばらく僕はそこに腰を据えた。ここにはおじさんとおばさんがいて、おじさんは僕が行く度に新星中か池尻中かと尋ねた。しかし、ここにも値上げの波は押し寄せた。そして僕は「和田」という店の名を横目に、また旅に出た。それから二年、僕は尾上先輩と英治と三人で、この店に訪ずれることになった。何でも、先輩がスキームに行く為、ここの娘さんのラジカセを借りたい

そうだ。店の様子はほとんど変っていない。うしん、なつかしい。そして、店のおじさんは今にも僕に池尻中か新星中か尋ねそうな顔をしていた。

9／30。昨日クラスでコンバがあった。みんな歌って踊って凄いコンバになつた。歌って踊れない僕は上半身裸にされバッタとフリーを泳がされた。そのせいか今、風邪をひいている。泳ごうと思つて来たが水がきないのでやめた。後夜祭で出没したメイドイントヤマのロボットが解任されている。東横線からも・らつて来たハートカクテルのボスターをモトリクリーの隣にはつた。夏は終つたか？ 10／31。家へは帰らず、世田谷公園の西口から一件家の並ぶ暗い道を南に自転車を走らせた。そして、新しいマンションの前で止まつた。思い出そうとしたができない。5年間、自分の人生のはば $\frac{1}{3}$ をここに通い続けたのに・・・。6年前、土地の所有者は企業にそこを売り払つた。そしてマンションが立つた。そこには僕がいた、寺の横に空手の道場があつた。僕は少年部で4人目の門下生だつた。練習日は火・木・土。その門下生の中で一番早く黒帯をしめたのが僕と、そこの一番弟子だった。僕はいつも僕の上を行き、くやしかつた。僕は奴の足にかぶりついたこともあつた。白・黄・だいだい・水色・紫・緑・茶・黒と帯の色が変わつた。それに費した歳月5年。やがて二人が同時に道場を去り、6年がたつた。道場はもうない。僕は国学院で自然研究会で部長をやつているという。僕もそろそろ格闘技から足が洗えそうだ。・・・・∞

☆会員募集☆

○都大付水泳部では短距離フリーリーストライド選手を大募集！一発野郎・無法者、

大歓迎！200Frで渋く、100Frでかっこよく、50Frで青春し、25Frで命を爆発させよう。

○英治・俊平に続く、先輩達のおもちゃ・風呂の主を募集！ことこんじめられても、くじけない人を求む！（俊平達もそろそろ三年です）

○86年冬に会長柿沢・副会長魚地で発足した「都会を笑いながら歩こう会」ではのん気で気の長い人を募集中です。僕達は月一回晴れた日にバイトをさがしながら歩いています。

☆終りの言葉☆

先輩達、OBの方々（特に篠俊先輩・橋本先輩）ども！これからもよろしくお願ひします。

## 神田くんクイズ！

二年 神田知秀

最近の私に関するクイズです。全問正解すると神田くんのカラオケが聞けます。（ラッキー！）・・・うそです。

1. 先日、俊平くんの家にいったとき再び降つていたのでかさをかりました。そのとき俊平くんのおばあちゃんがさしだしてくれたのは、何だつたでしょう。

a、日がさ b、ゴルフのかさ c、からかさオバケ

2. 最近私は藤子不二雄ランドという漫画を集めているのですが、その中で私が気に入っているのは何でしょう。

a、仮面ライダーブラック b、まんが道 c、ゲゲゲの鬼太郎

3. 私の性格はよく自分の世界を持つてゐるとか、自分勝手とか言われます。さて、そんな私の血液は何型でしょう。

a、歯型 b、B型 c、あですが

4. 最近私は寝るときネコと寝ています。さてその種類は何でしょ

う。

a、イリオモテアマネコ b、近所のノラねこ2匹

c、ドラえもん

5. 私は来年どこに入るでしょうか。

a、日本 b、知らない c、外国

(答えは全てb)

さー、どうだつたでしょ。馬鹿な試みですいませんでした。

つきなみですが、諸先輩方色々お世話してもらってどうもありがとうございました。同輩のみんな、自分勝手ですみません。後輩のみなさん、非理想的二年生でした、ごめんなさい。では。

## 恋のHEART ATTACKER

二年 久保田 文 彦

ガスの濃いある夜明け、場所は横浜氷川丸の前にZ-IIが一台、ヨシムラ直管の迫力ある音とともにやつて來た。

オウン キーフ

「ふう…すげえなこりや……ガスがすごくて10m先も見えねえや…」

言いながら、タバコをくわえた。後からドカとともに、もう一人の男が表れ、そして言つた。

「ガスが濃いな……この勝負あんまり、のり気やないやろ、研二」「…ところがそうでもないぜ、恭介。昨日の夜からこみあげる気持ちを、おさえるのに精一杯なんだ……オレ」

「なに？」

「胸の底から何か熱いものが、じわーとくるんだよ。久しぶりに感じるなこんな気持ちなつかしいよ ホント久しぶりだ。オレのハートが久しぶりに真赤に燃えそうだぜ 走ろうぜ恭介 昨日から胸はドキドキしつばなしなんだ ガスのはれるのなんかまつてらん

ねエよ

タバコなんかいくらすつても、もうこまかせね——や 熱くな

つてるハートはよおお!!」

「それやあーあ それをまつっていたあ研ニイツ」

二人は、バイクに跨がつて

「根性いれてこいよ恭介 オレはバイクじゅハン・バはやらねーぞお!! エンジンをかけて、研二が言つた。

「レースのやり方はッ?!」

「命を賭ける氣 あるか?!」

「あつたりまえじ ゃーい」

「…OK。この町でもつとも危険といわれたゲームだ、お前に教えてやるぜ 首都高速、死の逆走ゲーム!! 死んでも恨みっこなし だあッ」

「気に入つたあッ こういう勝負をまつてたんや」「そのセリフ生きていたらもう一度言つてみな!!」「やつかましーッ 死ぬのはお前じゅあ」

「山下ランブから首都高にのるぜ!! ゴールは羽田だーッ」

「ブォン、ブォ——ン、ブォ——ン、オーン、排氣音を残して研二達は横浜からきえていった。

(知る人ぞ、知る「あいつとララバイ」7巻の名場面より)

二年になつても相変らず、わけのわからない事を書いてるクボタです。

まあ、一年の時と變つてることなんて、部活の時に仕事をするようになつた事と、練習中に気合を入れるようになつた事と、バイクが好きになつた事ぐらいでしょ。

バイクに関しては、好きなんだけどお金の方がついてこないもんだから、バイク雑誌を見ながら、「あー、NSR250Rでたのか。いしなー」とか、「ワー、FZR250か1400と、そくしー」などと、言つてはいるだけですね。でも、この黒潮ができるころには、もしかしたらRZ250R(もち、61年型じゃなくて58~59年型だよ)あたりに乗つてんじゃないかなーなんて思つてんだけど……アマイカ! あつそうそう、その頃KRのNewtypeでんじやないかなー。まあNSRやTZ-Rに競おうつてんだから、V型でもつて重さは、やっぱ123~127kgでNameは、KR250Rが妥当だらうなし欲しいなし。

それと来年こそは、納会にバイクで行きたいよなあ。はつきり言つちやうと、初めは俊平達を裏切つてでも「Gで行こうと、思つてたんだよ、だけど納会の前日に聞いてみると、店のおっちゃんが、「ハッハッハッ わりイまだナンバーとつてねーや。30日にはできるヨ」なんて言つてくれるもんだから、急遽ボロボロのチャリで行

くことに、なつちやつたんだよネー。そのチャリがひデーの。走つてる途中で一つしかないブレーキが、ボロッなんて取れちゃうんだもん。サイクリングコースじゃなかつたら、事故つてたな、ハツキ

リ言つて。俊平達には迷惑かけたなあって思つてるよ、ホントに。練習面は、昨年なかなか良かつたとは、思うんだけど……なんかやつぱり、さびしかつたなあし。チームがなかつたから、しちょうがない事だろーけどさ。

来年はどうなるのかな?! と、毎年同じ事を、考へてゐる僕でした。

最後に、お世話になつたコチをはじめ、OB・OG、先輩、39期のみなさん、どうも有難うございました。

## TILL 100 YEARS OLD

二年 山本忠義

\*マスター1

一九八六年七月一三日、角田(鶴)先輩らと「第一回世界マスター」なるものを観戦した。はつきり言つて初めのうちは見に行くのがめんどくさい、どうせ有益になるものは何一つないだろうと、相当年を召された方が浮かんでいるのや、呼吸困難に陥り揚水させられているのをよそ目に考えていた。がすぐにその考えが誤ちであつたことに気付いた。史上初の100mFr50秒を切つたジム・モンゴメリの泳ぎを見れたこともその一つだが、帰りがけに見た「オーストラリアンナイト」が何よりも印象的だったのだ。

ブルーから外に出ると、何やらドンチャン騒ぎが聞こえてくる。

この辺の一昧違った若者達がパフォーマンス演奏でもしているのかと疑問に思いつつ見に行くと、年齢・性別そして国籍まったく関係なしに入り乱れ、さっきまで泳ぎ競っていた人々が一緒にになって踊っているではないか。これが「オーストラリアンナイト」だった。

何故かこちらまでもその雰囲気が漂ってくる。ものすごいノリの良さ。何故か感動したのだ。背筋に寒気が走る程に。思いつきりそのまま医氣に酔ってしまった。誰もが一緒になつて踊っている。こんな光景は普通なかなか見られるものではない。さっきまでは知らない

同志でも今は同じ水泳なるスポーツをenjoyした仲間なのだ。

お互いの健闘と健康に最大限の喜びを体で表現し、踊り乱れている。

誰もが思い思いの踊りで。今一緒に踊り楽しむために必要なものは

外国语を喋ることや、知人同志であるということでもない。ただ、同じ水泳というものを愛しているということだけだ。僕も混ざって踊り出したくなつた。是非こんな大会に出てみたい。水泳やつて良かつたなと再確認してしまつた。

「オリンピックに出る」などというのは、本当に手も届かない、ごく一握りの者にしか与えられない、持つこともおこがましくらいの夢ではあるが、このマスターズという大会はその気になれば誰でも参加可能なである。これは僕にも「世界的レベルの大会」に出来るチャンスがなきにしもあらずなのである。しかもマスターズ世界記録表を見ると、百歳台の記録はないのである。(ちなみに私の専門800FrのBestは55~59歳のマスターズ記録にやっと勝てるだけという情けなさ)となると僕の単純明快な頭は「百歳まで生きて泳いで、俺が世界記録を作つてやる!!」とはじきだした。この大会が現在のオリンピックのように変な方向へ走らず、いつまでも、僕

が百歳になるまでいつまでも残つていってくれ!

P.S. 篠俊先輩、出場する機会がありましたら僕も誘つて下さい。  
\*マスターズ

国際マスターズ水泳協会に所属している各国団体に登録している25歳以上の人を対照とした大会。年齢別に5歳ごと(25~29歳、30~35歳、36~40歳)にマスターズ記録として世界記録が定められている。

## 三年目に輝く物語

二年 横山俊平

あれから二年がたちました。今年の夏もがんばりました。そんなわけで今回ははじめて文章をつくります。

水泳人として二つのシーズンを終えたところです。とても充実にあふれた心で暑い暑い毎日を過していました。朝起きてプールで泳いで夜になつたら寝る。今となつてみて考えるとなんとも簡単でわかりやすい一日のプログラムでしょう。しかし、記憶の糸の先端までほどいて思いだすと、これが泥の底をはうような苦い苦いことばかりで埋めつくされます。それでも、みんなキラキラ輝いていた時代だったのでです。

自分の正直な気持ちをここに書きます。練習の量一質、そして気合、さらには結果までにも喜びの感情で満されています。がんばしいものばかりです。それだけに、それゆえに、あの厳しく苦しい練習は、もう結構ですといいたいです。もうこれからは穩居の身にな

つてみんなが練習している姿をとなりに見ながらブルで遊びたいと思いません。

しかしながらそういう能度を生活のリズムにして高3のシーズンを過し終えた時点で、現在、僕が手にしている満足感が全く得られないような気がしてなりません。だからといったものの、今年と同じきついメニューを消化、吸収していくと、今年は受験という行事が少し難しくなります。

あえて険しい道を進む勇気を備えつけていない僕には、今年の3年の先輩方の真似も、こりやまた大変だと感じるようです。いつもこと大学入るのが1年遅れるだけだと心に打ちつけ削み込んで丸1年大ガンバリするのも一つの手ですが、それは両親が額にしわを寄せるのが目に写つてイヤです。

しかし、なんだかんだいっても、もう一度、あのおがみ先輩のようにキラキラキラと光輝いてみたいと思う本日11月4日です。

今年お世話になつたヘッドコーチ1人、コーチ1人、サブコーチ2人、そしてその他のOBの方々や先輩、同輩、そして後輩の皆様どうもありがとうございました。

今年は、書く出来事と書く時間、この二つが足りなくて短くつまらない文になりました。せめてもと、わざと難しい文を思うままに並べたらこのような文ができました。

来年こそはガンバルゾと心に決めました。

## ひとかけらの夏

二年 平沢 美咲子

もう11月……

ほんと、時のたつのってはやい／＼と、最近つくづく思います。100Mインター1やつたのが、まるで昨日のことみたいなのに……。

実際、夏なんでもうとつくにおわっちゃつて、黒潮の原稿のしめ切が明日にせまつてしましました。

シーズン中は、黒潮にあれも書こう、これも書こうって思つていたのに、なんか、ありすぎるっていうのか、思い出せないっていうのか……何を書けばいいのか、わからなくなつてしまします。でもほんと、私たちの場合、「夏」って、文章なんかじや語りつくせない／＼って思うんです。

今シーズン、印象にのこつていることととと、やっぱり……今でも考えられない（考えたくない）けれど、1600IMを泳いだことかな。あの時は、ほんとに、他のコースに入つてしまいそうなくらい意識がもうろうとしてしまつて……はつきり言つて「つかれた」の一言です。

あとは……大好きな、小山台戦が、雨ですごくさむかったこと。Bestだらけの小山台戦（私がかつてに思ひこんでる）のはずなのに、ぜんぜん出ないんだもん。（いつもはきれいで、短くかんじるブルなのに、あの日は、25Mがすごく長くかんじた……。つていうのは言い訳ですね）ほんと悲しかつた……。でも、やっぱり一番頭にきたのは、次の日がくも一つない晴れだったことですね。



もう一つは、みんな「この日のために……」という、メインの大會、16校です。私は、なぜか昨年よりも緊張しちゃって……。ねむれないってことはなかつたけれど、落ちつくおまじないなんかを、知つてるかぎりやつてしましました。……試合のときとかつて、いつつもそうなんです。泳ぐまえ、胃がいたくなるくらい緊張しても、おわつてしまふと、なんであるなに緊張したんだろう？ってあつけらかんとしてしまふ。毎回、これのくり返しでした。でも、16校では、大Bestが出たので、すごくうれしかつたです。

まつこのぐらいかなあ……。今年も、有意義な夏でした。

ガラスのむこう

冬近い カモメだけの渚  
ひとり来たの Seaside

あれはただ 夏がおわる予感  
ごめんなさい 素直じゃなくつて

ふたりの海で ひとかけらの夏  
さがしているの

I've got summer memory

I'll wait until it comes again

Summer memory

昨年のシーズン中は、夢の中でも毎日泳いでて、ずっととこのまま夏がつづくんじゃないかと思うくらい長くかんじたのに、今シーズンは、はじまつた時はいやだつたけど、すごく短かかつた。やっぱり終わつてみると、なんかさみしいです。

それにしても、水泳部に入つて、精神的にも体力的にも、ほんとすごくてきたえられたと思います。……でも、なんか知力だけ、おとろえていく気がするのは私だけでしょ？

来年もできるだけ、泳ぐように、がんばりたいです。

……うーん。今年は、おもしろいのを書きたいと思つていたのに、またつまらない内容になつてしまつて……よんでも下さる方、ひまつぶしにもなりませんね。

——さいごに

OB・OG・コーチのみなさん、現役のみなさん、ほんとにめいわくばっかりかけてすいません&お世話になりました。特に、一年生のみなさん、ほんと先輩らしくなくつてごめんなさい。私なんか見習わないで、りっぱな先輩になつて下さい。来年は、もっと部員をふやして……がんばろうね。  
みなさん、これからもよろしくお願ひします。——おわり——

## 力ゼをめされたD J娘

二年 高根沢 洋子

△△△△△自宅△

「ちよつと待つて、今いつたい何時なの？あららもう12時すぎているじゃない、どうりで眠くなつたはずだ……」と心でつぶやき、今までのスローな動きとはうつてかわつてみるみるうちに布団に入る私、zzz……。

こんな日がどれくらい続いたことだろう、なんたつて原稿のしめ

切り日は駅弁のふたについた米粒くらいのものぞし……。よし、キメタ、今日こそは一分でも一秒でも長く起きて原稿書かなくては、と思いながらラジオに手を触れONを押し、それなりの環境づくりをする。ちなみにこのラジオの効果は深夜放送を楽しむものでなく眠り防止である（あしからず）。

△ここはスタジオ▽

ビンボンバンボン！番組の途中ですがしばらくお待ち下さい、OFFにしないでそのままに2分後に始まります。

あ～ゴメンゴメンちょっととかぜひいちゃって、ゆうべからひどくて、ほらね、こんなふう（とセキこむD洋子）。『もういい？』「はーい」と言いお茶でのどをうるおす。

ONAIR

はいみなさん今日も元気かな、さつきは本当にゴメンナサイね、貴重な時間を2分もさいてしまって、でも逆にトイレに行けて喜んでいる諸君もおるのでは：そもそもこんな具合なので今日はどうなるかちょっと心配ではあります、頑張つていいと思います。

C M番組の提供は都立大学附属高校水泳部でおくりしております。

え～それでは今日のMENUから、あ、そうでしたね、リクエスト特集です。みんなにみせてあげられなくて残念ですが、私のうしろには沢山のハガキ、その中で特に多かったのが、高校生の夏についてでした。でさっそく我々は、それにふさわしい人をみつけて取材しました。T高の高根沢洋子さん（17）です。彼女は、水泳部で、この夏の出来事を語つてもらいました。では、テープでどうぞ。

—今年の夏ですか、去年とはひと味ちがつた苦しみ喜びを味わい

ました。いろんな感情をもつた夏でしたね。まあ一沢山ありますけど印象に残ることと言いますと、

○春先：体の故障（背中）と家庭の事情でもしや退部しなければいけないかもと悩み苦しんでいました。家でも学校でも胃痛がしばしばおこりました。また練習している姿を見ると自分へのあせりと不安を感じ、練習中の人に言葉をわけたとき、果して自分が幸せなのか不幸なのか考えてしまうこともよくありました。大会でB F S Tが出て喜んでいる人を見ると、ますますあせりいてもいたらない気持つたことを覚えています。

○合宿：

私が退部しなくとも済むようになり、またある程度体が治ってきたのでこの位の時期から泳ぎ始めたのです。泳いでいてつらいつらい、体が水に慣れていないのと、泳ぎを忘れてしまったのと二重の苦しみです。同じように練習していれば違ったのでしょうか、インターにはついでいけない→まわせない→距離が減る、泳ぎが完全でない→パワーがない→つかれる→あせるとなつていくのです。

○合宿後：

なんとか泳ぎを思いだしインターにもなんとかついていくようになつても、どこか違う、それは、パワーと春先からの苦しみだ。パワーは泳いだ分蓄積されるものだが、私にはみんなより貯蓄されたパワーが少ないのです。これは最後までつきまとつたものでした。それならパワーで無理なら泳ぎを研究しようと改心して本をいつも持ち歩いて学びそして練習で実践しました。そういうまくいくはずがありません。毎日苦戦の連続で、今日はク

ロールについてとかわけてやりました。効果のあつたものといえ、クロール、バタフライ、ブレスト、効果のなかつたのはのこるバックでしたね。最終的な結果を言つてしまれば、クロールはBESTも出て（50m・100m・200m↑特に）バタフライは出たのもありましたが（100m・200m）50mが出せなかつたのが悔れます。ちなみに200mでは関六で失格さえしなければ記録に残つたものを…。7秒早くなつております。残念、無念、悪夢、

記録はあります。それから練習中といつても記録会の時泣いたこともあります。ブールの四すみの一角を借りて。もちろんBESTが出ないことのいらだちです。またBESTが出ても他の人よりおそかつたりまた、その時のまわり人達の喜びの反応を見てかなり悲しい気持ちになりました。これはあたりまえのことですからしうがないのですが、やはりBESTには違わないとその時の私は思つていました。でもシーズンをおえて考えてみれば単なる甘えにしかならないものだということに気づきました。

いつも思いました練習量の偉大さをでも今一はつきりしない夏でした。できれば、この泳ぎならある人にまかせられるというようなものをつくつとおきたかったです。……後の後悔と、まあこんな具合でしょか。（テープきれる）なるほど、いろんなことがあつたのですね。夏といつても人それぞれ過し方あります、心身を共に水泳できえたることによつてま

た一つ大人になつていつたようですね。

おつと、ごめんなさいもう時間がきてしまつたようですね。今日はリクエスト特集しかおおりできませんでしたが、また次の日を楽しみにしていて下さいね。こんども楽しい情報を集めてまつています。

Good—By See you soon !!

△ここは自宅△

お一終わつた。なんとか書けたみたい。やつたぞー。

△それから△

今年も私をささて下さった先輩のみなさん、ありがとうございます。一年を無事に過ごせたことを感謝しております。

## YESTERDAY — part I

### 第一章 — プロローグ —

一年 安田理思

初めまして、僕は『安田理思』です。『やすださとし』と読みます。しかし、はじめて僕の名前を見る人は、大抵、『安田理恵』つまり『やすだりえ』と読みたがるんですね。実際、ダイレクトメールなんかは必ず宛名が『安田理恵様』なんてなっていますし、教育実習のときは三人の先生の玉子が三人とも、「安田さん」と出席を取ろうとするんですね。勿論、僕はシカとしてやりましたけど。

普段、部活では『やすだ』と呼ばれていますが、クラスでは『やつちゃん』と呼ばれています。又かつては、『あんでん』、或いは

『りし』、時には『きょうじゅ』などと呼ばれていた時代もありました。

現在、僕は渋谷から新玉川線に乗って10分位の『桜新町駅』から、5分くらいのところにあるフツーのおうちに住んでいます。電車で通学すると50分くらい掛かっちゃいますけど、自転車なら15分くらいで着くので、僕は自転車（なんとwhiteです！）通学しています。

## 第二章——春です！——

昭和六十一年早春、となりの家の木蓮の蕾が寒そうにふるえていました。この紫色の花の咲くころ僕は、僕は……。

二月十三日、筑駒の試験がありました。勿論、僕は落ちました。まるで夕陽のように。その後、国学院（in渋谷）、一日おいて巣鴨、二月二十五日に都立を受けました。結果は第二志望の巣鴨（商業ではない方です）が落ちて、第三志望の都立と滑り止めにしていた国学院（in渋谷）は受かりました。あるとき、三月にはいってもう全てが終わってしまってから、ある先生が僕のクラスにやってきてこうおっしゃいました、「このクラスにも第三志望の学校に行く人がいるかもしれないけど、私だって第一志望にしていた学校に落ちてどうしても行きたくない学校にしようがなくいつたけれども、中学のときには考えられないような素晴らしい友人ができたり……、今ではこうして中学の教師をやっているからね、みんなも……」僕は泣きましたよ、本当に。どうせ第三志望ですよ。でも、同じ世田谷区立深沢中学校から東京都立大学附属高等学校に入学した一年C組のF君なんか慶應志木が確実と云われていたのに、試験中におなかが痛くなつてその後のテストが受けられなくなつて、結

局スペッチャでこうして都立大にきていたんだから、矢張り何事にも上には上がいるんですねえ。

クラブ紹介の日——「青春という名のエネルギーを燃焼させるには、やっぱ水泳やるしかないな！」なんて全然考えていないかった僕は、最初、山岳部に入りました。けど、やっぱ入らなかったので、水泳部にでもしようかなあと思って、バレー、ゴートとグランドの間の人だりをしている中を水泳部の人を探していたら、いました黒地に金ビカ（そう見えた）のTORITSU-SWIMMING-TEAMがウロチヨロしていました。先ず真っ先に僕をつかまえて呉れたら入ってあげようと思つて水泳部のデスクの前で突っ立ついたら、誰も僕のことを見つけてくれませんでした。ハッキリ云つて僕はムカツキました。絶対に水泳部なんて入つてやるもんか、と決意しました。が、家に帰つてよく考えてみると、他に出来るスポーツがないんですね。陸上はダメだし、バレーは苦手、バスケもできないし、野球は打てない・捕れない・肩がない。やっぱり水泳部しかないなあ、と思つて次の日のミーティングに出てみました。自己紹介のときに、「専門種目は一応ブレストです」と云つたら、「オオー」とドヨメキが起つたのが恥ずかしかったからでしょうが、妙におぼえていました。それに、後平先輩が今からは想像もつかないような茶色いヘルメットのような頭をしていて、「きっと不良だろうなあ。イジメられるかなあ。やだなあ」と一人で恐がつていました。それから永井先輩がカンロクがあつてカッコ良かつたですね。

## 第二章と第三章の間の——アトラクション——

ただいま一九八六年十一月四日の六時限目で、英語のリーダーの

授業を受けています。なんとか六枚目にもつていく為にこんなことを書いているんですけど、と書いている間に六枚目にいきました。

これじゃあアトラクションでも何でもありませんねえ。というのも実は今日が〆め切りで、あと3分かそこらすると篤俊先輩が来て原稿を持っていってしまうからなんです。だから、この辺で今回はやめておいて続きは次回の黒潮を読んで下さい。

### 追 信

下らないグダグダとした読み辛くてここは飛ばして次の人の分を読みたくなる様な文で済みませんでした。

では、今年のコ一チや先輩や同輩の皆様には本当に世話になりました。

## 災 難

一年

瀬 戸 剛 士

ぼくは、作文とかとにかく長い文章が苦手で、これを書くまえにも原稿用紙に5枚ほど書いてみて、完成しないうちに前を読み返し、自分で気に入らなくてまた始めから書くということが二度ほどあり、三度目の正直、こんどこそは完成させようと思いますが、だんだん話の方向がずれて来てしまって……。

本文に入ろうと思います。この題の通りにぼくの身に起きた災難を、四月から順に書いて行きます。この災難話だけで話をすませようと思いますので、時間のある人と他人の不幸を笑いたい人は読んで下さい。わーまた話がずれてしまった。

今度こそ本文になります。何ぶん思いついたことをそのまま書いているので……。

まず最初に皮膚病。医者に行つたらふやけさせてはならないとのことで、しばらく泳がないでいたら、ちっともよくならないのできらめて泳いでしまった。今でも後遺症が少しあります。

次に事故その1。通学中に裏通りで、とび出して来た自転車をよけそな、自分の自転車ごとブロック塀と電柱の間に突っ込み、頭を打つてしまつて、その後二日間は絶対安静というハメになりました。この事故のことを、ぼくが自転車でこけて頭を打つたと思っている方があるようですが、真実はこうです。

その次は致命傷、名物の自爆です。自転車でこれまた登校中、ギヤを変えたらなかなか変わらないので思いつ切りペダルをふんだその瞬間ギヤが変わり、ペダルが重くなりそれと同時に思いつ切りふみ込んだ足がペダルからすべり、前にとび出しました。そのままバランスがくずれて反射的にハンドルを切り、そのためとび出した足が前輪にまき込まれ、あとは自転車もろともガラガラガラシャンというわけで物の見事にとんぼがえつて左鎖骨を折つてしまつたわけで、まあ切開手術が必要なほどの骨折だったでのかなり痛く、救急車が来て病院へ運び込まれるまで20分少々、事故現場からその病院（都立大北口目黒方面行バス停前の本田病院。ちなみに自爆地点は軟庭場横の裏通りから八雲方向に100メートルほどの裏通り。また本文からそれてしまつた）とにかく病院についてまず言われたことが、「9時になつたら先生がいらっしゃいますので、それまで待つていて下さい」

という言葉だった。この時の時刻は8時40分、救急車で運び込ま

れた上に20分も待たせられるのなら、まだ他の病院にたらい回しにされた方がよかつた。

された方がよかつた。が、このあと先生が来て、

「まずレントゲンを撮ってらっしゃい」

と言われ、二階へエレベーターで上がり、レントゲンの受付に伝票をわたす。そのあと準備で15分待ち、それをレントゲンを撮り一階へ行ったら先生は机の上のインターホンを取つて、

「もしもし、レントゲンですか？ 外科の写真はもっと広い範囲を撮つてくれなければ困りますよ。え？ いえね、指定したのはたしかに鎖骨ですけれど、他の骨だつて折れているかもしませんので、もう一度おねがいします」

というわけでレントゲン撮り直し、さらに10分待たされて病院内で45分、事故つてから一時間少々、これだけ時間があればラーメンでも作つて食つてまだ時間が余る。またもや話がそれてしまつた。とにかく最終的に言われたことは、「いちおう包帯で固定しておきますが、明日の夕方、麻酔の先生が来るのでそれから手術します。もう一人先にやる人がいるんでついでにやつてしまします」

人を手術するのについてとは何事だ!!しかもその日は30ccばかり採血され、案内された病室がなんと老人ホーム。一番年の若い人でも40代、最年長が84歳のおじいさんで、話相手はいなく、一人暗くなつていました。次の日、全身麻酔の手術をするため、午前8時以後断食・断水で、心電図をとつたりその他いろいろやらされ、午後5時ごろ手術、麻酔が切れて肩は痛いわ、少しでも起きると咳氣にするわ、はいても胃がからっぽなので腸液しか出て来ないわ、面回謝絶なのに六人部屋でとなりの人はさわぐわで、やっぱり他の

病院にたらい回しにされた方がよかつた。

その後も入院・ギブス・骨を針金で固定という三重苦があり、強化練は出席不能、退院後も針金が皮膚をつき破つて出て来てしまうなどハブニングがあり、夏休みの終わり近くになってギブスもとれ、針金をぬくことになり、これがまた麻酔もせずにベンチでもつて、表面に出ている部分の針金をつかみ、ひょいと引きぬいてしまつて、その後痛いのなんの、さらにその傷がなかなかおらず、ついには医者が僕を見て、

「中に何かある。ピンセットかして」と言つて麻酔も痛み止めもなしに傷口にピンセットを入れ、その『何か』をとり出しました。

その後、いちおう傷もなおり部活で泳げると思つたら紅白戦、そこでは個人賞として『交通事故は痛かったで賞』をいたたく結果となり、陸トレになつたと思つたらダメ押し。体育の柔道で背負い投げをくらいい、折つたところにまたヒビを入れてしまいました。が動かすと時々「ボコ」という感じの音がするからひょいとしたら折れてしまつてゐるのかと思いながらこの原稿を書きました。

追伸 本文中度々「すべる」「転ぶ」などの言葉が出て来ました  
が、受験生の先輩方、気にしないで下さい。



## とある少女の夏の日々

一年 和田順子

4月の日だったかな？クラブ勧誘があったのは…。私はわけもわからずただボーッと歩いていた。すると、ドドドー…というもののすごい音とともに人間たちが走ってきた。私はそのすさまじい人間たちの中で、手を引っぱられたり、背中を押されたりしてもみくちゃにされた。そしてふと気が付くと、鉛筆を手に持つて、ノートにクラスと名前を書いていた。

「もう何回同じ事を書いただろう」と思つて歩いていると、「ひょーっ、ひょーっ」という奇声がどこからともなく聞こえてきた。

そして、その奇声が聞こえたかと思うと、今度は真っ黒な物体が私の頭上から次々と落ちてきた。よく見たらそれはなんと人間だった。

私はその人間たちを見てすぐさま思った。「仮面ライダーのショックカーだ！」私はおもわずサインと握手をねだるところであった。ショックカーたちは私の手を握ってくれた。私は、「わっ！向こうから握手をしてくれた」と嬉んでいた。また腕を組んでくれたショックカーもいた。「ダブルLUCKY！」と私は思つた。そして、ショックカーカーたちは私をどこかへ連れていくつてくれるようだつた。私は、「仮面ライダーと戦うところを見せてくれるのかしら？それともショックカーたちの基地に行くのかしら？」なんていうようにワクワクしていた。しかし、私はどういうわけかまたもやノートにクラスと名前を書くめになつたのである。それも“水泳部”というところの…。

そうなのだ！私が今までショックカーと信じこんでいた人々は、水泳部の部員だったのだ。「なんで真っ黒だったのかなあ」って思つたが、それは夏にやけたからだそうだ。いやあ、それにしても感心するほどに黒かった。けど私はショックカーでなくてがっかりした。そして思つた。「この人たちは、本当はショックカーになりたいのかかもしれない。だけど夏は有無を云わざず泳がされるので、仮面ライダーと戦う暇がないからショックカーになれないんだ。本当はとつてもかわいそうな人たちなんだ」と。私はこのショックカーになりたくてもなれない人たちのことを、ショックカーにちなんで、ショックカーと名付けることにした。（かわいいでしょ？）

とにかく、このショックカー率いる水泳部に私が仮入部したのは、隠しようのない、まぎれもない事実である。

4月19日、オーブンコンパンが開かれた。私をはじめ仮入部した一年生は、お菓子を食べたり、ジュースを飲んだりしていた。ブルーサイドで二年生の出し物が始まる、というので見に行つた。  
『およげタイヤキ君』のかえ歌を歌いながら劇(?)のようなものを行つていた。最後にE先輩（別に英治先輩のことじゃないですよ）が飛び込み台の上からブルーに飛びこんだのは、びっくりした。

「あの先輩、なかなかやるなー」と思つていて、二年生の男子の先輩の目がギララッとして輝いて、事態はいきなり一転した。私たちをブルーに落とそうと先輩たちが追いかけてきたのだ。私はもう無我夢中で逃げた。本気で走つた。だけどつかまつてしまつた。両手・両足をもち上げられ更衣室の前まで来た時は、「もう逃げられない。どうしよう」と思つた。そうこうしているうちに、あと一步でブル…という所まで来ていた。私は必死で抵抗した。が、私の手を引っぱつて先輩は落とそうとすることをやめてくれなかつた。

他の先輩が、「もうやめろ」と字つてくれているのにもかかわらず、その先輩はまだ落とそうとする。その先輩とは……

どおこのだあれかは、知りられないけれどお、

誰もがみんな知つてえいいる

のテーマソングにぴったりな、N先輩である。私はこの先輩の性格がいまいちよくつかめなかつた。ところでこのオープンコンペで私は貴重な体験をした。それは、「お風呂のあいさつ」である。他人が見たら（他人でなくとも）全く阿呆らしいことだけど、これがなかなかやつてみるとおもしろいんだ。私はおもしろさのあまり（？）なぜか息が苦しくなつた。こんなことをしてオープコンペは幕を閉じた。

とつぜんだけど、私は自らショッカーの一員になることを決意した。私が決意したころ、はじめは七、八人いた一年生がいつの間にか四人に減つていて。どうやらみんなショッカーになることを恐れたらしい。そもそもう。今年、新たなショッカーを育てあげる指導員と、一年間、あるいは二年間教育されてショッカーに近づいている先輩たちを見れば……。（わ、私はその指導員と先輩たちを見て、そ、それで『ここはきっといい所にちがいない』と思つて入つたんですよ。もちろん。ホントよ——）私がショッカーの一員になろうと思つた理由の一つは……。私つて昔から「正義の味方」って思つてゐるし、友達と「ゴレンジャーごっこ」するに必ず「モレンジャー」だったし、（けして「キレンジャー」ではない）「シンデレラ姫」の劇とくればもちろん主役の「シン・デ・レ・ラ」（まさか、カボチャの馬車を押す役……なんてやるわけないし）。といふように、華やかな役しかやつたことがなかつたわけなのよ。そこ

で、それじゃあたまには地味で悪い奴の役（ショッカーが悪役だったの）、ショッカーも悪役だ、と勝手に決めつけてる私）に挑戦してみるか、と思ったのだ。それに、いろんな役をやっておくということは、近い将来女優になる私にとっても勉強になるし。（私のこの美貌なら、そろそろスカウトされるはずなのよね）……なんていふ大ウソをついて一人で虚しくなつてしまふ私は、「むなし会」に入れるからしら。ねえ、愛子先輩、どお？！

ちょっとこの辺で真面目なことを書いてみようと思う。

初泳ぎ（4月17日）から最後の練習日（10月4日）まで約五ヶ月と二週間、さまざまのことがあつた。楽しいこと、嬉しいこと、悲しいことやくやしいことも。どんなことも、全て想い出に変わつてしまつた。なんか、ちょっとさみしい気分……。私はその数々の想い出の中で、"BEST"について少し書いてみようと思う。

水泳部に入つて一番最初に計つたのが、400Frだつた。かつて200Frもろくに泳いでいなかつた私にとっては一大事であつた。

「えーっ！本当に泳ぐの？」と思いつつも泳ぎ切つてしまつた私をすごいと思う。（これが当たり前なのね）タイムを云われても全くビンとこなくて、「ああそうですか」と言つてはいた。この時神田先輩が、「順子ちゃん速いねえ」としきりにほめてくれたのがすごくうれしかつた。神田先輩どうもありがとうございます。とまあ、400Frをはじめとしていろんな試合等でBESTが出た。一番思い出に残つるのは、戸山戦で中学の時の100FrのBFSTを抜いたこと。それまでずっと駄目で、ほとんどあきらめ切つてた。そんな時にいきなり出たんでめちゃんこうれしかつた。けれど、結局100Frはその時のタイムが今季のBESTとなつてしまい、もうちょっとタイムを縮め

たかった私としては少し不満気味。（あきえ先輩を抜きたかったある。あと京子先輩も……）他の種目に關しては、BaとBuがよくBESTが出たと思う。スタイル1のFrよりもBaやBuの方がBESTが出たように思うのは氣のせいかな？まいいか。BESTはいいものだし。タイムについては、400Frと200Fr。どうにかならないものだろうか、これは。がんばってるつもりなんだけどねえ。思うようにタイムが伸びない。まだ努力不足なのかな……。

長いようで短かった五ヶ月間。なんか瞬く間に過ぎてしまつて、やり残したことが沢山あるような気がする。「あつ、もっとあの時こうすれば良かった」などと今さら云つても仕方ない。それは反省というものだから。来シーズンは、そんなことを思わぬように、「あれで良かつたんだ」と思えるように精一杯努力したいと思う。また、自分で十分に納得のいくような日々を過ごしたいと思う。別に女歴1位でなくともいい。自分の満足のいくBESTを着実に出していくようになりたいと願う今日比の頃である。

さて、私にとつて水泳部とはとっても魅力的な存在であつた。水泳部って、なんか各々の個性を投げつけ合つてゐる、はぢやめちゃで、とつてもおかしなおかしな部だと思う。でも、でもね。皆、素敵です。どうしようもなく素敵な人たちなんです。だから、だから私、こんな水泳部が“だあーいすき”なんです。（うーん、とけびあーん！）

最後になつてしまつたけれど、OB・OG・コーチの方々、また、

先輩・同輩の皆々様、大変お世話になりました。私ははつきりいつて（はつきりいわなくて）、うるさくて、生意氣で、手間のかかる、とんでもはづぶんじゅうはづぶん（つまり、とんでもない、と

いうこと）な子だったと思ひます。いろいろご迷惑かけてごめんなさいでした。私みたいなどうしようもない子を最後まで面倒みて下さつて、私の胸は感謝の気持ちでいっぱいです。来シーズンは、今シーズンよりもすこーし成長してがんばるつもりですでの、どうぞよろしくお願ひ致します。

それではみなさんこの辺で……。

See you again. Good-bye.

## わつもうこんな時間

一年 長谷川 みか

ここは、ラーメン屋「啓ちゃん」と、焼肉「京城園」の協力による、香り高いマンションの一室。そこでは一人暮らしを始めてまだまもない姉妹が気持ち良さそうに眠つていた。

P I P I P I P I P I ……

朝6時を知らせる目ざましの音。妹の思考回路がゆっくりと作動し始める。

——もう、朝あ？やめてよ。うー、起きたくないよお。起きたくないよおお。……米。お米やんなきや。あーあ、やつぱり昨日やつとけばよかつた。うーん。失敗。……いいや。6時半に起きよ。よし。……——。

そして妹が再び目を覚したのは7時。

——げつ。もう7時い？やめてよ。うー、起きたくないよお。起きたくないよおお。……あーあ、休みじゃないんだよね今日。どうし

て今日は日曜日じゃないの。数学もあるじゃない。2時間もやめて、やめて。……。

こんなことをふとんの中で考えている間に、時刻は7時10分をまわっているのであった。

☆

名前・長谷川みか

生年月日・昭和45年6月13日

血液型・B

家族構成・父、母、姉、妹、弟。

☆

現在、姉と二人で親もとを離れて生活中。別に家出ではありません。ましてぜいたくで一人暮らしをしているのでもありません。念のため。ではなぜこんな無謀なことをしているのか、理由はさておきまして、学生の二人暮らしなんてやるもんじゃありませんね。ほんと。親がいない自由好きなことがじゅんじゅんできるつ。……甘い。よく考えてみて下さい、みなさん。親がいないから、TVをたくさん見れる、と思うでしょう。ところが、自分がTVを見ているとき親は何しますか？夕飯作ってたりしません？うちはそうなんです。また朝、着がえとか歯みがきとか、学校へ行く用意、その他もろもの、朝の仕度をしているとき、親は何しますか？もしかして、朝食を作つてたりしません？うちはそうなんです。そういう食事の仕度なんかを親がやってくれたおかげで、私はTVを見たり、勉強したりする時間があって、朝はギリギリに起きても遅刻せずに学校に行けたのです。しかし、その親がいないということは、当然、食事の仕度をしているとき、他のことができない。〃自

分の時間」を失つてしまうのです。でもTVは見たい。勉強もしなくて、くちやいけない。そこでけずられてしまうのは、どう考へてもやっぱり睡眠時間でしよう。だいたい8時間が標準、5時間で寝過ぎて、もつたないと思いませんか。（8時間は私の基準です。私は6時間で寝不足になります）睡眠4時間が標準、5時間で寝過ぎぐらいだったら、どんなに楽か。一日24時間でのも短すぎます。きつちり30時間というのはどうでしよう。そうすれば合計8時間から9時間も自分の時間が持てるつ。ワーハーハーハー。……ふあっねむ。

☆

今年の夏はなんて夏だったんでしよう。夏に限らず春から初秋にかけて。かなり異常な生活を送つてきたよな気が……。

4月、まさか、もう泳がされるとは思わなかつた。温水プールのある女子校の友達に、

「うちだつてまだ泳いでないよ」と言われた。

5月、クラスコンバのある日、

「こんな寒い日に泳ぐの？死なないでね」

（力なく）「うん：生きてたら行くね」

6月、ブルー熱。うーん。これはすごい。

7月、だんだん泳ぐのが楽しくなつてきた。楽しくといいうのはちょっと言いすぎかも。でも合宿中も、いやだいやだと言ひながら、あの充実した生活が結構好きだつた。（と、終わつたから言える）そして女歴入りつ。ばんざい。

8月、小山台戦、戸山戦、16校、関6。数々の試合の中で、16校だけBESTが出なかつた。200BrでBESTだと思ったら、水没で失格。情なくて涙も出なかつた。しかし、この反動でか、関6では、

すこぶる快調。大大BESTが出た。特に200Fr、400Fr。自分でも信じられないくらい。(Baに関しては何も言えない)

9月、と聞くと鼻が痛みだす。(なんちゃって)でもE先輩、いつだつたか私、水球を思いつき先輩の顔にぶつけちやつたときありましたよね。あれ痛かったでしょ。だから、手が顔にぶつかったとき、目の前真っ暗にしながら、あの時のお返しかなあ、と思ってしまった。(うそうそ)

これでおあいこですね。

紅白戦、篠俊先輩のおかげで2分間レース賞状もらいました。ありがとうございました。



NOUKAI。(初めて耳にしたとき、「農会」としか思い浮かばなかつた)得体の知れない響きがありました。誰が予想したでしょう。あの日、私があーなることを。でもちょっと失敗しました。あまりに早く死人部屋へ運ばれてしまつたと思うのです。(しかし、あの時は、あれ以上そこにいたら、死んでたかもしぬなかつたから仕方なかつたんですけど。ねえ、J先輩、M先輩)そのため、おもしろい出来事を、数多く見逃してしまいました。ですから来年は、死人部屋に運ばれないように、飲み過ぎ、笑い過ぎに注意しようと思ひます。

突然こんな所に聞かない名前が出てきて、みんな驚いていることだろう。私が誰だかわかるかな?まだ君達は気づいていないかも知れないが、私は都高水泳部の練習法や各部員のデータ、その他隠された秘密をある高校の水泳部に流すために水泳部員として送り込まれた、いわばスペイ的部員なのだ。

61年9月上旬、私は水泳部員五名によって構成される賭博組織があるのを突き止めた。組織の名は"予想屋"。彼らはある事に対し予想を立て、金を賭け、予想適中の者に金を配当するのだ。その時に動く金は××円を下らないと思われる。

そして彼らは動き始めた。61年9月27日、そう、記念祭の二日目のことだ。数人の予想屋が集まり、大学の駐車場に向かって歩き始めた。山上と園田と庭内、それに、あ、あれは戸山系の畠原じゃないか。どういうことだ?彼らは車に乗り込んだ。私は尾行を続けるためにタクシーを拾つた。

しそうです。ほんとに速い夏でした。これって水泳部だけが味わえる気分ですね。水泳部に入つてよかつた。皆さん、来年もよろしくお願ひします。(何か、年賀状の文句のような文で終わつてしまつた。ま、いいか)

おわり

到着した所は世田谷区の桜上水だった。アジトは畠原の家らしい。

私は窓辺に近づき、そっと中をうかがった。スペゲッティを食べて

いるぞ。

食事が終わると部屋の中に一人の男が入って来た。都大附系の鹿島と高西だ。

しばらくの雑談の後、また二人の男が入ってきた。戸山系だ。たしか、篠沢と上村とかいう名だつたな。まさか戸山系にも組織が広がっていたとは。小山台高校にも探りを入れる必要があるかもしれない。

八人の“予想屋”はテーブルを囲んで向き合った。そして組織のボスらしい園田が内ポケットから一枚の写真を取り出した。そこに写っていた人物を見て、私は“まことちゃん”的に反り返ってしまった。あ、あれは、一年生の……

園田.. 今回のカモはこいつだ

庭内.. なんだ。一年のSじゃないか。俺はこいつが中学時代に頭髪

検査にひっかかったことに百円賭けるぜ。

山上.. いや、小学時代に三百円だ。

園田.. あてるんじゃねえ。今回はそんなちっぽけな事じゃない。

今までにない莫大な金が動き、しかもどんな予想を立てても各々の命中率は高いと、俺は予想するぜ。

畠原.. よつ！さすがは予想屋!!

園田.. くだらぬえこと言うな。まず俺の調べた限りのSの経歴を発表するぞ。Sは水泳部に入部したのはよかつたが、皮膚病のため水に入れなかつた。そして自転車で転倒し頭の打ち所が

悪くて一時的に脳波が狂い、またある時は体育の時間柔道で鎖骨を折り、後にねんざ。まったく災難を絵にしたような男だ。

高西.. つまり、この先彼がどんな災難に遭遇するかを予想するわけですね。

園田.. そうだ。今回の規定だが、災難の内容とその場所を予想し、百円一口で賭け金を決め、その額に適中率順位をかけた数を最終的に賭け金とする。さあ、張つた張つた!!

園田.. こんなもんでいいだろう。

(ルルルルル、ルルルルル、ルル……)

畠原.. もしもし畠原ですが。あ、音橋さんですか。え、次の部活の日？そんなことよりどうですか、予想を一発。今回はこれこれこういう人物ですが。はあ？カラスが：頭の上に止まつて：血が出る？なに寝ぼけたこと言つてるんですか。10口も？!

まあいいでしょ。それじゃ。

園田.. これで全予想がそろつたわけだな。賭けの有効期間を今日61年9月27日から62年9月27日迄の一年間としよう。今夜はこれで解散だ。この事はくれぐれも他に漏らさぬようにな。

私は畠原が眠っている間に部屋に忍び込み、一枚の書類を手に入れた。なるほど、これを見ると、戸山系の予想屋はまだキャラリアが浅いようだ。それにしてもこの事をS君自身が気づいた時が心配だ。去年世間を騒がせた“鹿川君事件”的な結果を招かなければよいが。

その後、何もなかつたかのようには柔道の授業で、なんと直つたはずの鎖骨にヒビを入れてしまつたのだ。私はそれを11月上旬に確認した。予想はすべてはずれ。災難の内容が内容だけに、予想屋達は拍子抜けしていたようだ。だが賭けの有効期限までまだ間がある。S君には気をつけてほしい。

というわけで、水泳部の隠された秘密を一般公開してしまつたが、お気づきのとおり全て仮名にしてある。なぜなら私の目的は部を壊させることではなく、秘密をあばくことにあるからだ。"予想屋"の場合、名前がばれれば部活動停止につながる。それを免れるには組織を解散するか、秘密を握っている"私"を消すか、だ。

| 順位 | 予想屋 | 災難の内容    | (A) 時  | (B) | (C) 賭け金<br>金額 |
|----|-----|----------|--------|-----|---------------|
| 中  | 上   | 肉離れ      | 陸上中    | 口数  |               |
| 1  | 山上  | 肉離れ      | 陸上中    | 10  | 1000          |
| 2  | 園田  | アキレス腱切断  | 陸上中    | 5   | 1000          |
| 3  | 庭内  | 手首複雑骨折   | 階段     | 3   | 900           |
| 4  | 畠原  | 記憶喪失     | ランニング中 | 3   | 1200          |
| 5  | 鹿島  | 冷水による神経痛 | 川口隊    | 5   | 2500          |
| 6  | 高西  | 急性アル中    | 懇親会    | 4   | 2400          |
| 7  | 上村  | 盲腸       | 6月中    | 3   | 2100          |
| 8  | 篠沢  | 蛇入れ歯     | 日航機事故  | 4   | 3200          |
| 9  | 音橋  | カラスによる出血 | 頭の上    | 10  | 9000          |

| 順位        | 配当金       |
|-----------|-----------|
| (A) & (B) | (C) × 3 円 |
| (A)       | (C) × 2 円 |
| (B)       | (C) × 1 円 |

昭61年9月27日～62年9月27日迄



P.S.

私は他にも秘密を握っている。一年生の"Y"だ。彼はいつも右手で左腕のひじをかかえているのだ。たまには違うポーズをとれと言えば、その逆をやる。彼はなかなかのエンターテイナーだ。



記

録

昭和六十一年度

|      |        |      |
|------|--------|------|
| 神保美佳 | ヘッドコーチ | 角田篤俊 |
| 高橋朝子 | サブコーチ  | 中井玲江 |
| 藤本淳子 | コーチ補佐  | 橋本修  |
| 和田小雪 | "      | 山下元裕 |

|    |          |      |      |
|----|----------|------|------|
| 2年 | 矢島次雄(主将) | 現役3年 | 尾上政美 |
|    | 柿沢英治     |      | 尾上健二 |
|    | 高岸銳治     |      | 橋高昌  |
|    | 魚地俊光     |      | 荒木憲一 |
|    | 神田知秀     |      | 坂岩治  |
|    | 久保田文彦    |      | 横山誠  |
|    | 山本忠義     |      | 木青子  |
|    | 横山俊平     |      | 丹羽晶子 |
|    | 平沢美咲子    |      | 稻垣居子 |
|    | 高根沢洋子    |      | 落合弘美 |
|    |          |      | 菊田京子 |
| 1年 | 安田理思     |      | 木下知見 |
|    | 瀬戸剛士     |      | 河野道子 |
|    | 和田順子     |      |      |
|    | 長谷川みか    |      |      |

# 記 錄 の 部

## 都高校選手権大会

7月5, 6日  
於：立川市営プール

1-5 女子 100m Fr  
和田(順) 失格(1-22-8)

1-8 女子 100m Bu  
和田(順) 失格

1-9 男子 100m Fr  
矢島 1-07-29  
魚地 失格(1-12-0)  
荒木 失格(1-12-5)

1-12 男子 100m Br  
尾上(政) 1-17-48  
柿沢 失格(1-26-4)  
神田 失格(1-26-6)

1-16 男子 400m FR  
尾上(政), 魚地, 尾上(健), 矢島  
TOTAL 4-31-19

2-2 男子 400m MR  
尾上(政), 尾上(健), 矢島, 魚地  
TOTAL 5-19-29

2-4 男子 200m IM  
矢島 2-52-13

2-11 男子 200m Br  
尾上(政) 2-48-64  
尾上(健) 3-02-04  
神田 失格(3-09-1)

2-14 男子 800m FR  
矢島, 荒木, 尾上(健), 尾上(政)  
TOTAL 失格

## 東京都春季大会

6月21, 22日  
於：明治神宮プール

1-1 男子 400m MR  
久保田, 尾上(健), 尾上(政), 矢島  
TOTAL 5-18-80

1-2 女子 400m MR  
木下, 青木, 藤本, 和田  
TOTAL 6-17-81

1-5 男子 200m IM  
尾上(健) 3-01-73  
荒木 失格(3-15-5)  
柿沢 失格(3-11-6)

2-2 男子 100m Ba  
久保田 1-23-29

2-5 男子 100m Br  
尾上(政) 1-17-93  
神田 1-27-80

2-6 女子 100m Br  
青木 1-40-4  
長谷川 失格(1-58-5)  
藤本 1-43-62

2-9 女子 100m Fr  
和田(順) 1-20-54  
平沢 失格(1-40-8)

2-10 男子 100m Fr  
矢島 1-05-80  
魚地 1-11-80  
永井 失格(1-17-4)

⑦ 和田  
高根沢

2-57-14

3-12-60

№3 男子 200m IM

<決勝>

|           |         |
|-----------|---------|
| 1. 渡辺(大森) | 2-26-65 |
| 2. 島村(新宿) | 2-33-18 |
| 3. 箕輪(九段) | 2-34-59 |
| 4. 八尾(三田) | 2-34-73 |
| 5. 萩沢(筑附) | 2-40-61 |
| 斎藤(青山)    | 失格      |

<コンソレーション>

|            |         |
|------------|---------|
| 1. 勝(小石川)  | 2-42-66 |
| 2. 広川(駒東)  | 2-43-03 |
| 3. 久保田(都附) | 2-43-31 |
| 4. 高野(三田)  | 2-44-46 |
| 5. 水口(筑附)  | 2-44-96 |
| 6. 押田(文京)  | 2-45-09 |

⑦ 久保田  
岩坂

2-43-57

2-49-93

№4 女子 200m IM

<決勝>

|            |         |
|------------|---------|
| 1. 岩佐(九段)  | 2-36-33 |
| 2. 仁禮(都駒)  | 2-46-80 |
| 3. 清水(青学)  | 2-55-28 |
| 4. 加藤(小石川) | 2-55-87 |
| 5. 土屋(三田)  | 3-00-14 |
| 6. 渡辺(九段)  | 3-01-53 |

<コンソレーション>

|            |         |
|------------|---------|
| 1. 古川(日女附) | 3-03-10 |
| 2. 三沢(雪谷)  | 3-04-39 |
| 3. 上村(都駒)  | 3-06-77 |
| 4. 鈴木(三輪田) | 3-07-49 |
| 5. 根本(戸山)  | 3-13-50 |
| 6. 山本(三輪田) | 3-18-03 |

⑦ 平沢

3-27-46

## 東京都16高校対抗水上競技大会

8月21, 22, 23日

於: 小石川高校プール

№1 男子 200m FR

<決勝>

|           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 1. 三田 平山  | : 26-59 | 1-45-36 |
| 2. 都駒 山下  | : 27-11 | 1-46-48 |
| 3. 九段 石綱  | : 26-61 | 1-48-01 |
| 4. 筑附 田嶋  | : 26-09 | 1-48-67 |
| 5. 小石川 片山 | : 27-77 | 1-49-68 |
| 6. 小山台 池田 | : 29-98 | 1-50-09 |

<コンソレーション>

|           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 1. 新宿 島村  | : 28-09 | 1-50-96 |
| 2. 豊島 斎藤  | : 27-61 | 1-52-29 |
| 3. 戸山 小西  | : 27-16 | 1-52-42 |
| 4. 筑駒 田沼  | : 30-44 | 1-52-64 |
| 5. 学習院 草間 | : 30-05 | 1-53-24 |
| 6. 雪谷 中山  | : 27-9  | 1-53-46 |

⑦ 都附 久保田, 尾上(健), 尾上(健), 矢島  
失格

№2 女子 200m Fr

<決勝>

|            |         |
|------------|---------|
| 1. 辻(九段)   | 2-12-99 |
| 2. 渋谷(都駒)  | 2-15-33 |
| 3. 馬場(九段)  | 2-16-43 |
| 4. 大沢(小石川) | 2-22-65 |
| 5. 根橋(東附)  | 2-31-97 |
| 6. 長尾(成蹊)  | 2-35-97 |

<コンソレーション>

|           |         |
|-----------|---------|
| 1. 内藤(九段) | 2-36-87 |
| 2. 松本(麹町) | 2-36-92 |
| 3. 柳川(三田) | 2-37-29 |
| 4. 金杉(筑附) | 2-38-73 |
| 5. 太田(新宿) | 2-38-99 |
| 6. 鈴木(三田) | 2-41-54 |

№7 男子 100m Bu

<決勝>

1. 越川(九段) 1-01-61
2. 小野木(戸山) 1-03-39
3. 高薄(小石川) 1-03-60
4. 田嶋(筑附) 1-04-14
5. 伊藤(都駒) 1-04-72
6. 吉田(筑附) 1-06-13

<コンソレーション>

1. 砂川(青山) 1-06-41
2. 池田(三田) 1-06-42
3. 山下(都駒) 1-06-94
4. 松村(小山台) 1-07-54
5. 織屋(新宿) 1-09-41
6. 張(都駒) 1-09-65

⑦ 高岸

横山(誠) 1-26-66

横山(俊) 1-29-91

④魚地 1-25-25

№8 女子 50m Bu

<決勝>

1. 宍戸(三田) 31-96
2. 曽我(都駒) 32-74
3. 勝見(都駒) 34-58
4. 土肥(日女附) 35-48
5. 鎌田(麹町) 35-74
6. 相原(麹町) 35-79

<コンソレーション>

1. 森(北園) 35-50
2. 藤本(都附) 35-70
3. 篠原(九段) 37-19
4. 梶原(小石川) 37-20
5. 沢田(都駒) 37-46
5. 高城(文京) 37-40

⑦ 藤本

36-27

№5 男子 100m Br

<決勝>

1. 林(小石川) 1-10-05
2. 尾上(政)(都附) 1-13-50
3. 内藤(戸山) 1-14-16
4. 水野(筑附) 1-16-29
5. 国安(豊島) 1-16-99
6. 尾上(健)(都附) 1-17-43

<コンソレーション>

1. 竹田(小石川) 1-17-17
2. 藤(筑附) 1-17-39
3. 村瀬(三田) 1-17-42
4. 秋山(小山台) 1-17-79
5. 井上(筑附) 1-18-31
6. 下田(小石川) 1-18-43

⑦ 尾上(政)

尾上(健) 1-17-3

柿沢 1-21-10

④安田 1-26-91

④横山(俊) 失格

№6 女子 100m Br

<決勝>

1. 田中(筑附) 1-22-90
2. 石井(三田) 1-24-14
3. 德武(小石川) 1-25-33
4. 新田(三田) 1-27-33
5. 沢(麹町) 1-27-57
6. 坂井(都駒) 1-29-74

<コンソレーション>

1. 岩田(筑附) 1-28-22
2. 古川(雪谷) 1-28-38
3. 林(青学) 1-28-72
4. 長尾(成蹊) 1-29-77
5. 富岡(新宿) 1-30-42
6. 岡田(都駒) 1-31-18

⑦ 長谷川

1-37-49

№11 男子 400m MR

<決勝>

- 三田嶋田: 1-10-51 4-24-37
- 小石川大沢: 1-11-73 4-24-78
- 都駒伊藤: 1-09-80 4-28-30
- 筑附渡辺: 1-11-05 4-32-08
- 小山台池田: 1-12-33 4-32-49
- 九段石綱: 1-10-68 4-32-82

<コンソレーション>

- 戸山北原: 1-17-49 4-40-53
- 新宿門脇: 1-11-38 4-40-71
- 豊島斎藤: 1-12-99 4-44-71
- 雪谷佐々木: 1-19-00 4-52-42
- 都附岩坂: 1-17-84

尾上(政):

久保田:

矢島: TOTAL 4-56-48

成蹊 キケン

⑦ 都附岩坂: 1-15-81

尾上(政):

矢島:

久保田: TOTAL 4-48-41

№12 女子 100m Ba

<決勝>

- 梅村(九段) 1-14-75
- 仁禮(都駒) 1-14-85
- 西川(三田) 1-18-03
- 松永(大森) 1-19-32
- 竹村(麴町) 1-19-99
- 根橋(東附) 1-20-89

<コンソレーション>

- 若狭(麴町) 1-19-70
- 蓬萊(都駒) 1-21-21
- 斎藤(小石川) 1-23-11
- 本橋(城南) 1-23-51
- 井沢(小石川) 1-23-63
- 藤原(小石川) 1-25-26

№9 男子 800m Fr

<決勝>

- 鈴木(三田) 9-23-77 大会新
- 岡田(雪谷) 9-41-04
- 松山(筑附) 9-50-44
- 林(青山) 10-00-28
- 朝香(筑附) 10-04-89
- 佐久間(都駒) 10-14-47
- 笠原(豊島) 10-19-20
- 木原(都駒) 10-20-56
- 鷹野(筑附) 10-25-95
- 柄沢(都駒) 10-29-09
- 白井(豊島) 10-40-58
- 鈴木(小石川) 10-42-59
- 山本 11-44-36

№10 女子 200m MR

<決勝>

- 九段辻: 33-93 2-13-55
- 都駒仁禮: 35-92 2-14-99
- 三田西川: 36-52 2-18-89
- 麴町若狭: 36-58 2-21-54
- 小石川斎藤: 38-15 2-22-19
- 青学 キケン

<コンソレーション>

- 筑附鈴木: 40-65 2-28-08
- 戸山根本: 42-13 2-35-31
- 青山八塙: 40-24 2-35-8
- 学習院竹内: 42-56 2-37-1
- 東附 失格
- 新宿 失格

⑦ 都附和田: 42-32

長谷川:

高根沢:

平沢: TOTAL 2-48-2

No. 15 男子 200m Bu

<決勝>

- 高 薄(小石川) 2-24-10
- 佐久間(都駒) 2-26-97
- 箕 輪(九段) 2-30-41
- 伊 藤(都駒) 2-30-59
- 吉 田(筑附) 2-36-74
- 小野木(戸山) 失格

<コンソレーション>

- 野 口(三田) 2-33-10
- 杉 森(都駒) 2-40-42
- 小 野(小石川) 2-51-36
- 萩 沢(筑附) 2-51-37
- 綿 屋(新宿) 2-52-48
- 斎 藤(新宿) 2-53-34

⑦ 高 岸  
横山(俊) 3-01-5  
3-27-6

No. 16 女子 100m Fr

<決勝>

- 馬 場(九段) 1-02-59
- 加 藤(都駒) 1-03-49
- 越 前(九段) 1-06-30
- 土 屋(城南) 1-09-34
- 根 橋(東附) 1-09-53
- 太 田(新宿) 1-11-67

<コンソレーション>

- 松 本(麹町) 1-09-56
- 伊 藤(都駒) 1-10-49
- 景 山(青山) 1-10-65
- 清 水(青学) 1-11-46
- 三 沢(雪谷) 1-11-73
- 佐 藤(戸山) 1-12-44

No. 13 男子 200m Ba

<決勝>

- 一ノ瀬(学習院) 2-28-03
- 渡 辺(筑附) 2-30-98
- 石 綱(九段) 2-31-51
- 大 沢(小石川) 2-32-59
- 門 脇(新宿) 2-35-05
- 嶋 田(三田) 2-39-50

<コンソレーション>

- 開 沢(駒東) 2-36-92
- 伊 藤(筑附) 2-39-84
- 池 田(小山台) 2-41-86
- 伊 藤(三田) 2-42-26
- 高 橋(小石川) 2-43-52
- 倉 重(筑附) 2-44-58

⑦ 安 田 3-31-58

No. 14 女子 100m Bu

<決勝>

- 岩 佐(九段) 1-09-00
- 宍 戸(三田) 1-11-31
- 相 原(麹町) 1-20-70
- 梶 原(小石川) 1-20-84
- 鎌 田(麹町) 1-21-74
- 松 本(学習院) 1-27-70

<コンソレーション>

- 藤 本(都附) 1-24-00
- 土 肥(日女附) 1-26-20
- 土 屋(三田) 1-27-63
- 高 城(文京) 1-28-99
- 渡 辺(九段) 1-29-77
- 鈴 木(三輪田) 1-32-00

⑦ 藤 本 1-26-06

№19 男子 400m Fr

<決勝>

1. 鈴木(三田) 4-27-71
2. 林(小石川) 4-28-10
3. 岡田(雪谷) 4-36-76
4. 岡田(筑駒) 4-38-51
5. 林(青山) 4-43-77
6. 松山(筑附) 4-44-69
7. 鷹野(筑附) 4-46-25
8. 上田(都駒) 4-50-24
9. 岩津(筑附) 4-57-95
10. 山本(駒東) 4-58-51
11. 笠原(豊島) 4-59-32
12. 柄沢(都駒) 5-00-17
- 山本 5-27-85

№20 女子 400m FR

1. 九段辻: 1-02-77 4-14-49 ④
2. 都駒加藤: 1-03-22 4-19-61
3. 両国小池: 1-08-18 4-34-10
4. 小石川梶原: 1-11-51 4-42-48
5. 筑附田中: 1-12-02 4-49-72
- 三田 失格

<コンソレーション>

1. 麻町松本: 1-10-47 4-49-55
2. 青学小竹: 1-18-11 4-54-41
3. 東附石野: 1-24-63 5-00-54
4. 新宿白石: 1-14-32 5-01-31
5. 戸山中島: 1-15-78 5-05-08
6. 雪谷古川: 1-18-01 5-06-94

④ 都附青木: 1-13-63  
藤本:  
和田:  
長谷川:  
TOTAL: 5-09-67

№21 男子 800m FR

<決勝>

1. 都駒山下: 2-12-39 8-47-43
2. 三田池田: 2-18-65 8-53-85

№17 男子 200m Fr

<決勝>

1. 広谷(都駒) 2-09-72
2. 奈須(駒東) 2-12-37
3. 平山(三田) 2-12-89
4. 片山(小石川) 2-13-08
5. 松島(学習院) 2-15-01
6. 朝香(筑附) 2-21-35

<コンソレーション>

1. 高浜(小山台) 2-13-50
2. 小柳(青山) 2-17-03
3. 林(東附) 2-17-58
4. 岩津(筑附) 2-18-90
5. 八尾(三田) 2-19-15
6. 大塩(小石川) 2-19-16

④ 矢島 2-21-70  
魚地 2-25-47  
荒木 2-32-68  
④横山誠 2-40-61

№18 女子 400m Fr

<決勝>

1. 辻(九段) 4-37-05
2. 渋谷(都駒) 4-43-26
3. 大澤(小石川) 4-55-37
4. 森(北園) 5-14-68
5. 勝見(都駒) 5-16-68
6. 内藤(九段) 5-30-65
7. 蓬萊(都駒) 5-33-29
8. 柳川(三田) 5-42-80
9. 鈴木(三田) 5-46-11
10. 古川(日女附) 5-47-83
11. 金杉(筑附) 5-48-57
12. 浜口(小石川) 5-51-48
- 和田 6-24-86

№23 男子 100m Fr

<決勝>

1. 高浜(小山台) 54-22⑦
2. 広谷(都駒) 55-18⑦
3. 渡辺(大森) 57-86
4. 田嶋(筑附) 58-00
5. 平山(三田) 58-08
6. 山下(都駒) 1-00-18

<コンソレーション>

1. 岡田(筑附) 1-00-60
2. 松島(学習院) 1-00-79
3. 小柳(青山) 1-00-88
4. 内野(武蔵) 1-01-09
5. 立川(新宿) 1-01-47
6. 松村(小山台) 1-01-52

- ⑦ 矢島 1-04-46  
 魚地 1-04-52  
 荒木 1-07-93  
 ⑦横山(誠) 1-09-20  
 ⑦高橋 1-11-21  
 ⑦尾上(政) 1-18-99

№24 女子 50m Ba

<決勝>

1. 曽我(都駒) 34-33
2. 小池(両国) 34-50
3. 梅村(九段) 34-81
4. 斎藤(小石川) 35-82
5. 西川(三田) 35-85
6. 若狭(麹町) 36-31

<コンソレーション>

1. 土屋(城南) 37-73
2. 竹村(麹町) 37-95
3. 根橋(東附) 38-63
4. 井沢(小石川) 38-71
5. 藤原(小石川) 38-91
6. 宇佐美(両国) 38-99

- ⑦ 青木 40-40

3. 小石川 片山: 2-16-09 8-55-44
4. 篠附松山: 2-12-73 8-59-77
5. 九段箕輪: 2-16-89 9-00-68
6. 小山台高浜: 2-00-31⑦ 9-03-92

<コンソレーション>

1. 青山 斎藤: 2-19-70 9-09-32
  2. 駒東奈須: 2-13-60 9-14-49
  3. 豊島 斎藤: 2-19-95 9-22-42
  4. 戸山 小野木: 2-11-60 9-22-54
  5. 新宿立川: 2-22-84 9-32-28
  6. 都附矢島: 2-23-27
- 荒木:  
 魚地:  
 尾上(政):  
 TOTAL: 9-38-83

⑦ 都附矢島: 2-22-48

- 魚地:  
 尾上(政):  
 久保田:  
 TOTAL: 9-33-81

№22 女子 50m Fr

<決勝>

1. 加藤(都駒) 29-32
2. 小泉(両国) 30-05
3. 越前(九段) 30-11
4. 鈴木(麹町) 30-13
5. 池田(両国) 30-93
6. 景山(青山) 32-15

<コンソレーション>

1. 加藤(小石川) 32-17
2. 田中(麹町) 32-53
3. 相河(小石川) 32-76
4. 佐藤(戸山) 32-84
5. 村上(文京) 32-89
6. 片貝(小石川) 33-08

⑦ 青木 33-77

№27 男子 200m Br

<決勝>

1. 尾上(政)(都附) 2-38-50
2. 内藤(戸山) 2-43-27
3. 尾上(健)(都附) 2-43-64
4. 竹田(小石川) 2-48-81
5. 水野(筑附) 2-51-34
6. 国安(豊島) 2-51-49

<コンソレーション>

1. 村瀬(三田) 2-50-42
2. 秋山(小山台) 2-51-04
3. 下田(小石川) 2-51-43
4. 高橋(駒東) 2-52-90
5. 井上(筑附) 2-55-05
6. 藤(筑附) 2-56-02

- ① 尾上(政) 2-39-74  
 尾上(健) 2-44-92  
 柿沢 失格  
 ② 横山(俊) 3-00-21  
 ③ 安田 3-13-87

№28 男子 400m IM

<決勝>

1. 越川(九段) 5-07-54
2. 島村(新宿) 5-33-82
3. 大塩(小石川) 5-35-55
4. 野口(三田) 5-39-41
5. 砂川(青山) 5-41-65
6. 片山(小石川) 5-41-90
7. 門脇(新宿) 5-42-84
8. 熊田(青山) 5-46-86
9. 上田(都駒) 5-48-87
10. 倉重(筑附) 5-54-04
11. 高野(三田) 5-56-85
12. 大住(駒東) 6-05-06
- 久保田 6-12-26

№25 男子 100m Ba

<決勝>

1. 一ノ瀬(学習院) 1-07-19
2. 渡辺(筑附) 1-09-15
3. 石綱(九段) 1-09-37
4. 鳴田(三田) 1-10-22
5. 大沢(小石川) 1-11-91
6. 池田(小山台) 1-28-50

<コンソレーション>

1. 松下(青学) 1-12-13
2. 伊藤(筑附) 1-13-34
3. 開沢(駒東) 1-13-57
4. 高橋(小石川) 1-15-20
5. 伊藤(三田) 1-15-33
6. 北原(戸山) 1-16-95

- ① 高橋 1-36-01

№26 女子 200m Br

<決勝>

1. 田中(筑附) 2-58-26
2. 石井(三田) 3-04-91
3. 徳武(小石川) 3-06-47
4. 沢(麹町) 3-09-02
5. 坂井(都駒) 3-09-80
6. 古川(雪谷) 3-10-95

<コンソレーション>

1. 岩田(筑附) 3-10-12
2. 村松(九段) 3-10-13
3. 吉永(両国) 3-16-01
4. 岡田(都駒) 3-16-39
- 新田(三田) 失格
- 大木(青学) キケン

- ① 長谷川 失格  
 (3-30-3)

# 関東六高校水上競技大会

8月27, 28日

於：都立大附属高プール

## №1 女子 200m MR <決勝>

|          |       |        |
|----------|-------|--------|
| 1. 都附(A) | 青木    |        |
|          | 丹羽    |        |
|          | 藤本    |        |
|          | 菊田    |        |
|          | TOTAL | 2-33-6 |
| 2. 東附    |       | 2-35-6 |
| 3. 学習院   |       | 2-37-0 |
| 4. 成蹊    |       | 2-41-8 |

|            |       |        |
|------------|-------|--------|
| OPEN 都附(B) | 和田    |        |
|            | 長谷川   |        |
|            | 高根沢   |        |
|            | 平沢    |        |
|            | TOTAL | 2-47-8 |

## №2 男子 400m MR <決勝>

|          |       |        |
|----------|-------|--------|
| 1. 学習院   |       | 4-47-7 |
| 2. 都附(A) | 岩坂    |        |
|          | 尾上(政) |        |
|          | 矢島    |        |
|          | 魚地    |        |
|          | TOTAL | 4-50-1 |
| 3. 成蹊    |       | 5-17-5 |
| 4. 東附    |       | 5-19-8 |

|            |       |        |
|------------|-------|--------|
| OPEN 都附(B) | 久保田   |        |
|            | 尾上(健) |        |
|            | 高岸    |        |
|            | 荒木    |        |
|            | TOTAL | 5-07-6 |

| 男 子     |     | 女 子     |     |
|---------|-----|---------|-----|
| 学校名     | 得点  | 学校名     | 点   |
| 1. 筑附   | 237 | 1. 九段   | 226 |
| 2. 小石川  | 203 | 2. 都駒   | 222 |
| 3. 三田   | 194 | 3. 麻町   | 153 |
| 4. 都駒   | 166 | 4. 三田   | 138 |
| 5. 九段   | 122 | 5. 小石川  | 130 |
| 6. 小山台  | 83  | 6. 筑附   | 71  |
| 7. 新宿   | 70  | 7. 両国   | 59  |
| 8. 青山   | 63  | 8. 東附   | 41  |
| 9. 都附   | 62  | 9. 日女附  | 27  |
| 10. 戸山  | 59  | 10. 青学  | 26  |
| 11. 学習院 | 51  | 11. 雪谷  | 24  |
| 12. 豊島  | 48  | 12. 城南  | 22  |
| 13. 駒東  | 43  | 13. 北園  | 19  |
| 14. 雪谷  | 33  | 13. 青山  | 19  |
| 15. 大森  | 29  | 15. 新宿  | 18  |
| 16. 筑駒  | 24  | 16. 戸山  | 15  |
| 17. 青学  | 7   | 17. 学習院 | 14  |
| 18. 東附  | 4   | 18. 成蹊  | 13  |
| 19. 武藏  | 3   | 19. 都附  | 12  |
| 20. 文京  | 1   | 19. 大森  | 12  |
| 21. 両国  | 0   | 21. 文京  | 7   |
| 21. 北園  | 0   | 22. 三輪田 | 5   |
| 21. 大崎  | 0   | 23. 豊島  | 0   |
| 21. 城南  | 0   | 23. 小山台 | 0   |
| 21. 成蹊  | 0   | 23. 大崎  | 0   |

|      |          |            |      |        |      |       |         |
|------|----------|------------|------|--------|------|-------|---------|
| 予選   | 長谷川      | 3-24-4     | M3   | 男子     | 800m | F r   | <決勝>    |
| 〃    | 丹羽       | 3-28-7     | 1.   | 内野(武)  |      |       | 10-53-3 |
| 〃    | 菊田       | 3-51-7     | 2.   | 田中(学)  |      |       | 11-08-0 |
|      |          |            | 3.   | 鈴木(東)  |      |       | 11-09-7 |
| M7   | 男子       | 200m       | B r  | <決勝>   | 4.   | 内田(学) | 11-20-6 |
| 1.   | 尾上(政)(都) |            | 5.   | 相馬(成)  |      |       | 11-34-2 |
| 2.   | 尾上(健)(都) |            | 6.   | 山本(都)  |      |       | 12-05-5 |
| 3.   | 柿沢(都)    |            |      | 橋本(武)  |      |       | 12-59-8 |
| 4.   | 中川(学)    |            | OPEN | 魚地     |      |       | 11-18-8 |
| 5.   | 岩倉(学)    |            | 〃    | 高岸     |      |       | 12-07-4 |
| 6.   | 長瀬(学)    |            |      |        |      |       |         |
|      | 師尾(東)    |            | M4   | 女子     | 200m | B a   | <決勝>    |
| OPEN | 横山(俊)    |            | 1.   | 根橋(東)  |      |       | 2-51-0  |
| 〃    | 神田       |            | 2.   | 小原(学)  |      |       | 3-17-4  |
| 〃    | 安田       |            | 3.   | 奈良(学)  |      |       | 3-20-1  |
|      |          |            | 4.   | 石野(東)  |      |       | 3-27-8  |
| M8   | 女子       | 200m       | B u  | <決勝>   | 5.   | 竹内(学) | 3-28-0  |
| 1.   | 松本(学)    |            | 6.   | 平沢(都)  |      |       | 3-46-3  |
| 2.   | 高田(学)    |            |      | 高根沢(都) |      |       | 3-55-5  |
| 3.   | 三島(学)    |            | 予選   | 平沢     |      |       | 3-38-3  |
| ※    | 高根沢(都)   | 失格(3-56-5) | 〃    | 高根沢    |      |       | 4-05-1  |
| M9   | 男子       | 200m       | B u  | <決勝>   | OPEN | 和田    | 3-24-5  |
| 1.   | 高岸(都)    |            | 〃    | 落合     |      |       | 4-19-0  |
| 2.   | 常盤(学)    |            |      |        |      |       |         |
| 3.   | 浅見(学)    |            | M5   | 男子     | 200m | B a   | <決勝>    |
| 4.   | 横山(都)    |            | 1.   | 一ノ瀬(学) |      |       | 2-39-6  |
| 5.   | 安田(都)    |            | 2.   | 久保田(都) |      |       | 2-49-7  |
| ※    | 岡田       | キケン        | 3.   | 横山誠(都) |      |       | 3-19-1  |
| M10  | 女子       | 200m       | F r  | <決勝>   | 4.   | 荒木(都) | 3-53-0  |
| 1.   | 根橋(東)    |            | ※    | 鶴田(東)  |      |       | 失格      |
| 2.   | 藤本(都)    |            | ※    | 西郷(学)  |      |       | キケン     |
| 3.   | 須賀(東)    |            | ※    | 坂本(武)  |      |       | キケン     |
| 4.   | 太田(学)    |            | OPEN | 矢島     |      |       | 2-54-2  |
| 5.   | 和田(都)    |            | 〃    | 高橋     |      |       | 3-24-3  |
| 6.   | 倉地(学)    |            |      |        |      |       |         |
|      | 坂井(学)    |            | M6   | 女子     | 200m | B r   | <決勝>    |
| 予選   | 藤本       |            | 1.   | 長尾(成)  |      |       | 3-13-8  |
| 〃    | 和田       |            | 2.   | 佐藤(学)  |      |       | 3-20-1  |
| OPEN | 青木       |            | 3.   | 山脇(学)  |      |       | 3-21-5  |
| 〃    | 長谷川      |            | 4.   | 国枝(学)  |      |       | 3-22-0  |
| 〃    | 平沢       |            | 5.   | 長谷川(都) |      |       | 3-24-5  |
|      |          |            | 6.   | 高橋(成)  |      |       | 3-51-3  |

|      |       |      |        |      |
|------|-------|------|--------|------|
| №14  | 女子    | 400m | F r    | <決勝> |
| 1.   | 長尾(成) |      | 5-33-9 |      |
| 2.   | 太田(学) |      | 6-04-1 |      |
| 3.   | 中川(学) |      | 6-30-8 |      |
| 4.   | 平沢(都) |      | 6-59-3 |      |
| 5.   | 小杉(学) |      | 7-19-3 |      |
| OPEN | 長谷川   |      | 6-35-3 |      |
| 〃    | 高根沢   |      | 6-56-0 |      |

  

|      |       |      |        |      |
|------|-------|------|--------|------|
| №15  | 男子    | 400m | F r    | <決勝> |
| 1.   | 相馬(成) |      | 5-12-7 |      |
| 2.   | 鈴木(東) |      | 5-19-8 |      |
| 3.   | 内田(学) |      | 5-24-8 |      |
| 4.   | 山本(都) |      | 5-27-3 |      |
| 5.   | 草間(学) |      | 5-34-8 |      |
| 6.   | 葉抱(東) |      | 6-20-1 |      |
|      | 中村(学) |      | 7-18-0 |      |
| OPEN | 矢島    |      | 5-19-4 |      |
| 〃    | 魚地    |      | 5-20-5 |      |

|     |       |      |        |      |
|-----|-------|------|--------|------|
| №16 | 女子    | 100m | B a    | <決勝> |
| 1.  | 根橋(東) |      | 1-22-6 |      |
| 2.  | 奈良(学) |      | 1-31-3 |      |
| 3.  | 青木(都) |      | 1-31-7 |      |
| 4.  | 和田(都) |      | 1-31-8 |      |
| 5.  | 小原(学) |      | 1-32-4 |      |
| 6.  | 竹内(学) |      | 1-33-2 |      |
|     | 二宮(成) |      | 1-38-2 |      |
| 予選  | 青木    |      | 1-32-0 |      |
| 〃   | 和田    |      | 1-32-0 |      |
| 〃   | 菊田    |      | 1-39-5 |      |

|     |          |      |        |      |
|-----|----------|------|--------|------|
| №17 | 男子       | 100m | B a    | <決勝> |
| 1.  | 樋口(成)    |      | 1-16-6 |      |
| 2.  | 久保田(都)   |      | 1-17-3 |      |
| 3.  | 飯田(成)    |      | 1-21-6 |      |
| 4.  | 鶴田(東)    |      | 1-26-0 |      |
| 5.  | 横山(誠)(都) |      | 1-29-9 |      |
| 6.  | 魚地(都)    |      | 1-30-0 |      |
| ※   | 一ノ瀬(学)   |      | キケン    |      |
| 予選  | 久保田      |      | 1-17-8 |      |
| 〃   | 魚地       |      | 1-26-0 |      |
| 〃   | 横山(誠)    |      | 1-29-1 |      |

|      |                   |      |        |      |
|------|-------------------|------|--------|------|
| №11  | 男子                | 200m | F r    | <決勝> |
| 1.   | 松島(学)             |      | 2-16-0 |      |
| 2.   | 林(東)              |      | 2-16-5 |      |
| 3.   | 矢島(都)             |      | 2-21-7 |      |
| 4.   | 魚地(都)             |      | 2-24-8 |      |
| 5.   | 荒木(都)             |      | 2-30-6 |      |
| 6.   | 草間(学)             |      | 2-32-0 |      |
|      | 青木(学)             |      | 2-40-9 |      |
| 予選   | 矢島                |      | 2-22-4 |      |
| 〃    | 魚地                |      | 2-24-6 |      |
| 〃    | 荒木                |      | 2-29-7 |      |
| OPEN | 久保田               |      | 2-31-9 |      |
| 〃    | 山本                |      | 2-32-6 |      |
| 〃    | 横山(誠)             |      | 2-47-8 |      |
| 〃    | 高橋                |      | 2-54-3 |      |
| №12  | 女子                | 200m | F R    | <決勝> |
| 1.   | 都附(A)藤本           |      |        |      |
|      | 菊田                |      |        |      |
|      | 和田                |      |        |      |
|      | 青木                |      |        |      |
|      | TOTAL             |      | 2-14-4 |      |
| 2.   | 東附                |      | 2-14-7 |      |
| 3.   | 学習院               |      | 2-19-1 |      |
| 4.   | 成蹊                |      | 2-21-5 |      |
| OPEN | 都附(B)和田(順)        |      |        |      |
|      | 長谷川               |      |        |      |
|      | 高根沢               |      |        |      |
|      | 平沢                |      |        |      |
|      | TOTAL             |      | 2-28-0 |      |
| №13  | 男子                | 200m | F R    | <決勝> |
| 1.   | 都附(A)矢島           |      |        |      |
|      | 尾上(健)             |      |        |      |
|      | 久保田               |      |        |      |
|      | 尾上(政)             |      |        |      |
|      | TOTAL             |      | 1-53-7 |      |
| 2.   | 学習院(A)            |      | 1-55-3 |      |
| 3.   | 成蹊(A)             |      | 1-56-1 |      |
| 4.   | 東附                |      | 2-02-3 |      |
| OPEN | 都附(B)             |      |        |      |
|      | 魚地, 荒木, 横山(誠), 高橋 |      |        |      |
|      | TOTAL             |      | 1-58-8 |      |

№22 女子 100m Fr <決勝>

|             |        |
|-------------|--------|
| 1. 根橋(真)(東) | 1-10-3 |
| 2. 須賀(東)    | 1-13-5 |
| 3. 倉地(学)    | 1-17-7 |
| 4. 大井(学)    | 1-18-7 |
| 5. 坂井(学)    | 1-20-2 |
| 6. 落合(都)    | 1-24-4 |
| 山中(成)       | 1-30-3 |
| 予選落合        | 1-22-3 |

№18 女子 100m Br <決勝>

|           |        |
|-----------|--------|
| 1. 山脇(学)  | 1-31-1 |
| 2. 佐藤(学)  | 1-31-5 |
| 3. 国枝(学)  | 1-33-6 |
| 4. 丹羽(都)  | 1-35-5 |
| 5. 長谷川(都) | 1-35-7 |
| 6. 岡村(成)  | 1-48-3 |
| 鈴木(成)     | 1-54-7 |
| 予選長谷川     | 1-34-2 |
| 〃 丹羽      | 1-34-5 |

№23 男子 100m Fr <決勝>

|           |        |
|-----------|--------|
| 1. 松島(学)  | 1-01-0 |
| 2. 林(東)   | 1-01-2 |
| 3. 魚地(都)  | 1-03-6 |
| 4. 矢島(都)  | 1-04-0 |
| 5. 久保田(都) | 1-07-2 |
| 6. 青木(学)  | 1-07-8 |
| 樋口(成)     | 1-11-5 |
| 予選矢島      | 1-05-3 |
| 〃 魚地      | 1-06-3 |
| 〃 久保田     | 1-06-8 |
| OPEN 荒木   | 1-07-2 |
| 〃 山本      | 1-09-1 |
| 〃 横山誠     | 1-10-1 |
| 〃 高橋      | 1-10-5 |

№19 男子 100m Br <決勝>

|           |        |
|-----------|--------|
| 1. 尾上政(都) | 1-15-1 |
| 2. 川崎(成)  | 1-18-8 |
| 3. 尾上健(都) | 1-19-1 |
| 4. 横山俊(都) | 1-20-2 |
| 5. 中川(学)  | 1-21-8 |
| 6. 佐々木(学) | 1-27-9 |
| 師尾(東)     | 1-30-8 |
| 予選尾上(政)   | 1-19-1 |
| 〃 尾上(健)   | 1-20-0 |
| 〃 横山(俊)   | 1-21-1 |
| OPEN 柿沢   | 1-20-5 |
| 〃 神田      | 1-23-2 |
| 〃 安田      | 1-26-8 |

№24 女子 200m IM

|           |        |
|-----------|--------|
| 1. 長尾(成)  | 2-54-1 |
| 1. 根橋麻(東) | 2-54-1 |
| 3. 根橋真(東) | 2-54-7 |
| 4. 藤本(都)  | 3-09-2 |
| 5. 松本(学)  | 3-09-9 |
| 6. 青木(都)  | 3-11-5 |
| 大井(学)     | 3-31-0 |

|         |        |
|---------|--------|
| 予選青木    | 3-10-2 |
| 〃 藤本    | 3-12-7 |
| 〃 平沢    | 3-37-1 |
| OPEN 和田 | 3-14-5 |
| 〃 高根沢   | 3-37-2 |

№20 女子 100m Bu <決勝>

|          |        |
|----------|--------|
| 1. 藤本(都) | 1-23-9 |
| 2. 松本(学) | 1-26-6 |
| 3. 大井(学) | 1-31-3 |
| 4. 寺沢(成) | 1-41-8 |
| 5. 高橋(成) | 1-57-0 |
| 6. 馬場(学) | 1-57-2 |

№21 男子 100m Bu <決勝>

|           |        |
|-----------|--------|
| 1. 一ノ瀬(学) | 1-08-0 |
| 2. 田中(学)  | 1-16-0 |
| 3. 常盤(学)  | 1-18-7 |
| 4. 高岸(都)  | 1-22-9 |
| 5. 横山俊(都) | 1-37-6 |
| 6. 安田(都)  | 1-43-8 |
| ※ 篠原(成)   | 失格     |

OPEN 都附(B) 平 淢  
 長谷川  
 落 合  
 高根沢  
 TOTAL 5-36-9

〃 成蹊(B) 5-56-9

M.28 男子 800m FR <決勝>  
 1. 学習院(A) 9-23-9  
 2. 都附(A) 矢 島  
 魚 地  
 久保田  
 尾上(政)  
 TOTAL 9-25-8  
 3. 東 附 10-30-9  
 4. 成 蹤 10-37-2

OPEN 都附(B) 尾上(健)  
 荒 木  
 横山(誠)  
 山 本  
 TOTAL 10-17-8

〃 学習院(B) 不 明

M.25 男子 200m IM <決勝>  
 1. 一ノ瀬(学) 2-34-7  
 2. 林 (東) 2-38-7  
 3. 松 島(学) 2-40-4  
 4. 久保田(都) 2-47-8  
 5. 尾上(健)(都) 2-54-7  
 6. 田 中(学) 3-06-1  
 矢 島(都) 3-13-2  
 予 選 久保田 2-48-4  
 〃 尾上(健) 2-49-0  
 〃 矢 島 2-49-4  
 OPEN 柿 淢 2-55-7  
 〃 高 岸 3-02-7  
 〃 横山(誠) 3-04-7  
 〃 高 橋 3-11-6

M.26 O・B レース (200m FR)  
 1. 東附(A) 2-02-9  
 2. 都附(B) 中 井  
 角 田(篤)  
 橋 本  
 本 橋  
 TOTAL 2-05-7  
 3. 学習院(A) 2-09-4  
 4. 都附(A)  
 メンバー  
 不 明

TOTAL 2-17-3  
 5. 学習院(B) 2-35-7  
 6. 東 附 2-43-5

M.27 女子 400m FR <決勝>  
 1. 都附(A) 藤 本  
 和 田  
 菊 田  
 青 木  
 TOTAL 5-09-3  
 2. 学習院 5-16-0  
 3. 成 蹤 5-24-5  
 ※ 東 附 失 格

2-10 男子 100m Fr  
矢島 1-04-78  
山本 1-10-40

## 東京都新人大会

9月20, 21日  
於：明治神宮プール

1-2 男子 200m MR  
久保田, 横山(俊), 高岸, 柿沢  
TOTAL 2-22-77

1-3 女子 50m Fr  
高根沢 38-73  
平沢 37-57

1-4 男子 50m Fr  
魚地 29-65  
神田 31-00

2-2 男子 200m IM  
久保田 2-55-87  
柿沢 3-02-59

2-4 男子 400m FR  
矢島, 魚地, 山本, 柿沢  
TOTAL 4-34-17

2-6 男子 100m Bu  
高岸 1-24-24

2-7 男子 100m Br  
横山(俊) 1-25-33  
安田 失格( )

2-9 女子 100m Fr  
和田(順) 1-20-08

## 黒潮会の記録

|      |           |        |      |
|------|-----------|--------|------|
| Br ① | 横 森       | 33-4   | 黒潮会新 |
|      | 尾 上(政)    | 34-2   |      |
|      | 尾 上(健)    | 37-0   |      |
| ②    | 角 田(浩)    | 39-8   |      |
| ③    | 伊 藤(真)    | 41-3   |      |
| ④    | 中 野       | 41-4   |      |
|      | 竹 村       | 48-4   |      |
|      | 松 井(おくさん) | 1-04-5 |      |
| ○    | 松井めぐむちゃん  | 1-14-0 |      |
|      | 竹村ようこちゃん  | 1-30-6 |      |

|      |     |      |       |
|------|-----|------|-------|
| Bu ① | 岩 渕 | 29-3 | 黒潮会タイ |
|      | 久保田 | 33-6 |       |
| ○    | 小 汲 | 34-5 |       |
|      | 矢 島 | 35-4 |       |
|      | 藤 本 | 39-0 |       |
|      | 高 岸 | 41-9 |       |

|      |        |      |      |
|------|--------|------|------|
| Fr ① | 梶      | 27-3 | 黒潮会新 |
| ②    | 佐々木    | 28-3 |      |
| ③    | 関      | 29-9 |      |
|      | 魚 地    | 30-2 |      |
|      | 横 山(誠) | 30-7 |      |
|      | 高 橋(昌) | 30-7 |      |
| ○    | 早 坂    | 31-0 |      |
| ○    | 橋 本    | 31-0 |      |
|      | 荒 木    | 31-2 |      |
| ○    | 川 崎    | 31-6 |      |
|      | 山 本    | 32-3 |      |
| ○    | 石 山    | 32-4 |      |
| ○    | 森      | 32-9 |      |
| ○    | 松 井    | 36-0 |      |
| ○    | 佐 藤    | 36-6 |      |
| ○    | 山 本    | 36-9 |      |
| ○    | 小 坂(順) | 37-4 |      |
| ○    | 菱 沼    | 37-4 |      |
| ○    | 小谷野    | 38-2 |      |

|                     |        |        |      |
|---------------------|--------|--------|------|
| 8月10日<br>○印……OB, OG |        |        |      |
| ℳ 1                 | 100m競技 | (OBのみ) |      |
| IM 1.               | 横 森    | 1-08-5 | 黒潮会新 |
| 2.                  | 岩 渕    | 1-12-2 |      |
| 3.                  | 佐々木    | 1-15-9 |      |
| 4.                  | 角 田(浩) | 1-20-5 |      |
| 5.                  | 橋 本    | 1-21-7 |      |
| 6.                  | 小 汲    | 1-24-1 |      |
| 7.                  | 山 下    | 1-36-0 |      |

|    |     |        |
|----|-----|--------|
| Fr | 菱 沼 | 1-24-6 |
|    | 小 坂 | 1-30-6 |
| ○  | 井 上 | 1-31-2 |
|    | 伊 丹 | 1-38-7 |

|      |               |        |
|------|---------------|--------|
| ℳ 2  | 2分間レース (OBのみ) |        |
| 1.   | 角 田(篤)        | 1-58-8 |
| 2.   | 山 本           | 1-54-8 |
| 3.   | 石 山           | 1-52-5 |
| 4.   | 梶             | 1-51-5 |
| 5.   | 橋 本           | 1-49-6 |
| 6.   | 中 野           | 1-48-2 |
| 7.   | 佐々木           | 1-44-2 |
| 8.   | 角 田(浩)        | 1-22-9 |
| 以下失格 |               |        |

|      |        |           |
|------|--------|-----------|
| ℳ 3  | 50m 競技 |           |
| Ba ① | 梶      | 31-6 黒潮会新 |
| ②    | 角 田(浩) | 37-7      |
| ③    | 山 本    | 45-5      |
| ④    | 菱 沼    | 46-7      |

No.9 水 球  
OB ○ vs × 現役  
14 — 8

○ 井 上(兄) 39-9  
○ 井 上(弟) 40-7  
伊 丹 41-2  
武 村 43-3  
松井めぐむさん 1-02-2

No.4 総 会

No.5 O B • O G 紹介

No.6 現役 紹介

自己紹介及び潜水25m及びO Bによる  
カンヅメ投下

No.7 かんづめひろい

No.8 リレー

200m FR

1. 34 + 35 + 36 = 105 チーム  
1-48-0
2. 大石さんチーム  
1-52-1
3. オールデストボーイズ  
2-08-5
4. 山本さんチーム  
2-12-1

200m MR

1. 34 + 35 + 36 = 105 チーム  
2-04-8
2. 大石さんチーム  
2-11-0
3. 山本さんチーム  
2-31-3
4. サイモン&ガーファンクル  
2-36-2
5. オールデストボーイズ  
2-44-4

# 黒潮会 15 傑

## 200m 自由形

|                |         |
|----------------|---------|
| 1. 宮崎(50卒.53)  | 2-25-1  |
| 2. 田島(46卒.48)  | 2-29-5  |
| 3. 森(38卒.41)   | 2-40-2  |
| 4. 目(39卒.43)   | 2-40-5  |
| 5. 藤巻(27卒.30)  | 2-44-0  |
| 6. 菱沼(41卒.42)  | 2-44-6  |
| 7. 佐々木(57卒.57) | 2-49-2  |
| 8. 鈴木(26卒.30)  | 2-54-4  |
| 9. 石塚(41卒.42)  | 2-55-6  |
| 9. 村上(42卒.33)  | 2-55-6  |
| 11. 藤田(50卒.51) | 2-57-03 |
| 12. 大石(49卒.50) | 2-59-9  |
| 13. 桜井(42卒.43) | 3-03-3  |
| 14. 新井(35卒.46) | 3-10-4  |
| 15. 小林(50卒.50) | 3-14-3  |

## 50m 自由形

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 1. 梶(53卒.61)    | 27-3  |
| 2. 佐藤(58卒.58)   | 27-5  |
| 3. 藤田(50卒.53)   | 27-7  |
| 3. 宮崎(50卒.53)   | 27-7  |
| 5. 森(54卒.56)    | 27-8  |
| 6. 目(39卒.40)    | 28-2  |
| 7. 大賀(53卒.56)   | 28-26 |
| 8. 田島(46卒.47)   | 28-3  |
| 8. 佐々木(57卒.61)  | 28-3  |
| 10. 村林(51卒.52)  | 28-8  |
| 11. 越智(48卒.52)  | 29-0  |
| 12. 伊丹(13卒.28)  | 29-4  |
| 12. 藤巻(27卒.28)  | 29-4  |
| 14. 大和田(48卒.49) | 29-5  |
| 15. 久保田(27卒.28) | 29-8  |

## 400m 自由形

|                |        |
|----------------|--------|
| 1. 服部(34卒.38)  | 5-26-3 |
| 2. 佐々木(57卒.58) | 5-43-7 |
| 3. 菱沼(41卒.41)  | 5-59-9 |
| 4. 山本(34卒.36)  | 6-02-0 |
| 5. 目(39卒.41)   | 6-09-2 |
| 6. 平出(48卒.50)  | 6-14-4 |
| 7. 大賀(53卒.58)  | 6-16-9 |
| 8. 森(38卒.39)   | 6-20-4 |
| 9. 大石(49卒.51)  | 6-24-2 |
| 10. 中村(34卒.39) | 6-48-0 |
| 11. 横山(34卒.41) | 7-13-4 |
| 12. 田島(46卒.58) | 7-37-6 |
| 13. 福島(44卒.45) | 7-38-0 |

## 100m 自由形

|                |         |
|----------------|---------|
| 1. 梶(53卒.54)   | 1-00-6  |
| 2. 宮崎(50卒.53)  | 1-02-9  |
| 3. 森(54卒.56)   | 1-03-31 |
| 4. 田島(46卒.48)  | 1-03-8  |
| 5. 野村(54卒.57)  | 1-04-6  |
| 6. 藤田(50卒.51)  | 1-05-5  |
| 7. 目(39卒.40)   | 1-05-7  |
| 8. 中島(47卒.49)  | 1-06-3  |
| 9. 服部(34卒.37)  | 1-06-4  |
| 9. 大和田(48卒.48) | 1-06-4  |
| 11. 平出(48卒.49) | 1-07-0  |
| 12. 藤巻(27卒.30) | 1-08-8  |
| 13. 森(38卒.40)  | 1-09-5  |
| 14. 大賀(53卒.56) | 1-09-59 |
| 15. 越智(48卒.51) | 1-10-2  |

**200m 平 泳**

|                 |        |
|-----------------|--------|
| 1. 村 上(50卒.50)  | 2-57-8 |
| 2. 森 (38卒.39)   | 3-04-0 |
| 3. 丹 羽(30卒.34)  | 3-06-8 |
| 4. 中 村(34卒.37)  | 3-07-2 |
| 5. 伊 藤(44卒.44)  | 3-08-1 |
| 6. 勝 又(39卒.42)  | 3-12-2 |
| 7. 横 山(34卒.42)  | 3-24-3 |
| 8. 角 田(60卒.61)  | 3-26-7 |
| 9. 佐 野(33卒.35)  | 3-27-4 |
| 10. 北 川(43卒.43) | 3-28-4 |
| 11. 宮 本(46卒.51) | 3-28-9 |
| 12. 高 品(33卒.41) | 3-33-0 |
| 13. 橋 本(59卒.61) | 3-33-2 |
| 14. 中 井(61卒.61) | 3-35-1 |
| 15. 大和田(48卒.51) | 3-57-1 |

**50m 平 泳**

|                 |      |
|-----------------|------|
| 1. 横 森(60卒.61)  | 33-4 |
| 2. 村 上(50卒.52)  | 35-3 |
| 3. 大 賀(53卒.54)  | 35-4 |
| 4. 北 川(43卒.43)  | 35-6 |
| 5. 藤 田(50卒.54)  | 36-3 |
| 6. 村 林(51卒.54)  | 36-4 |
| 7. 水 口(43卒.47)  | 36-6 |
| 8. 高 品(33卒.37)  | 36-9 |
| 8. 伊 藤(44卒.44)  | 36-9 |
| 10. 安 部(44卒.45) | 37-4 |
| 11. 勝 又(39卒.43) | 37-8 |
| 12. 角 田(58卒.58) | 38-1 |
| 13. 田 島(46卒.47) | 38-2 |
| 13. 越 智(48卒.52) | 38-2 |
| 15. 宮 崎(50卒.51) | 38-5 |

**50m 背 泳**

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 1. 梶 (53卒.61)   | 31-6  |
| 2. 越 智(48卒.49)  | 34-4  |
| 3. 河 北(36卒.44)  | 34-9  |
| 4. 森 (38卒.42)   | 35-2  |
| 5. 角 田(58卒.58)  | 35-6  |
| 6. 森 (54卒.54)   | 35-8  |
| 7. 小 木(50卒.52)  | 36-1  |
| 8. 佐 藤(58卒.58)  | 36-4  |
| 9. 鈴 木(37卒.40)  | 36-5  |
| 9. 早 坂(38卒.40)  | 36-5  |
| 11. 田 島(46卒.46) | 36-58 |
| 12. 田 中(46卒.46) | 37-4  |
| 13. 大 塚(43卒.46) | 38-1  |
| 14. 小 林(55卒.55) | 38-12 |
| 15. 目 (39卒.42)  | 40-2  |

**100m 平 泳**

|                 |         |
|-----------------|---------|
| 1. 大 賀(53卒.54)  | 1-18-88 |
| 2. 村 上(50卒.51)  | 1-21-2  |
| 3. 水 口(43卒.47)  | 1-21-7  |
| 4. 宮 崎(50卒.54)  | 1-22-9  |
| 5. 中 村(34卒.39)  | 1-23-1  |
| 6. 横 山(34卒.36)  | 1-23-2  |
| 7. 高 品(33卒.37)  | 1-23-4  |
| 8. 丹 羽(30卒.30)  | 1-24-0  |
| 9. 野 村(54卒.54)  | 1-24-3  |
| 10. 勝 又(39卒.39) | 1-24-5  |
| 10. 伊 藤(44卒.47) | 1-24-5  |
| 12. 村 林(51卒.52) | 1-25-08 |
| 13. 吉 村(53卒.53) | 1-25-3  |
| 14. 森 (38卒.39)  | 1-25-4  |
| 15. 北 川(43卒.44) | 1-25-7  |

**100m バタフライ**

1. 梶 (53卒.60) 1-08-0
2. 佐々木(57卒.60) 1-08-5
3. 森 (54卒.55) 1-11-04
4. 藤田(50卒.50) 1-13-4
5. 服部(34卒.38) 1-17-0
6. 大賀(53卒.56) 1-17-76
7. 目 (39卒.43) 1-22-5
8. 横山(34卒.38) 1-27-5
9. 菅野(35卒.37) 1-27-9
10. 飯沼(39卒.39) 1-28-8
11. 宮本(46卒.50) 1-32-7
12. 村林(51卒.52) 1-34-7
13. 安部(44卒.44) 1-37-6
14. 福島(44卒.45) 1-39-8
15. 菅ヶ谷(43卒.47) 1-39-9

**100m 背泳**

1. 梶 (53卒.60) 1-12-8
2. 小木(50卒.51) 1-16-6
3. 森 (38卒.42) 1-17-4
3. 越智(48卒.50) 1-17-4
5. 河北(36卒.36) 1-20-3
6. 服部(34卒.41) 1-21-0
7. 田中(46卒.47) 1-21-2
8. 早坂(38卒.39) 1-22-7
9. 野村(54卒.55) 1-23-2
10. 森 (54卒.54) 1-24-2
11. 錦木(37卒.39) 1-24-6
12. 小林(55卒.55) 1-25-38
13. 山本(34卒.36) 1-26-2
14. 角田(58卒.58) 1-26-6
15. 川崎(30卒.38) 1-27-0

**100m 個人メドレー**

1. 横森(60卒.61) 1-08-5
2. 梶 (53卒.58) 1-10-0
3. 岩淵(61卒.61) 1-12-2
4. 大賀(53卒.57) 1-15-8
5. 佐々木(57卒.61) 1-15-9
6. 角田(58卒.58) 1-17-9
7. 森 (54卒.58) 1-18-7
8. 藤田(50卒.58) 1-20-9
9. 橋本(59卒.61) 1-21-7
10. 小汲(61卒.61) 1-24-1
11. 角田(60卒.60) 1-24-9
12. 田島(46卒.58) 1-28-3
13. 大石(49卒.58) 1-29-4
14. 中野(55卒.60) 1-30-8
15. 山下(59卒.61) 1-36-0

**50m バタフライ**

1. 梶 (53卒.58) 29-3
1. 岩淵(61卒.61) 29-3
3. 森 (54卒.58) 30-1
4. 藤田(50卒.50) 30-8
5. 佐々木(57卒.60) 31-2
6. 早坂(38卒.41) 31-6
7. 田島(46卒.47) 32-2
8. 村上(42卒.44) 33-0
9. 大賀(53卒.56) 33-25
10. 目 (39卒.40) 33-5
11. 田中(46卒.46) 33-8
12. 平出(48卒.49) 34-3
13. 小汲(61卒.61) 34-5
14. 橋本(59卒.60) 34-8
15. 北村(38卒.42) 35-3

## 200m リレー

|                                          |              |
|------------------------------------------|--------------|
| 1. (森, 野村, 村林, 大賀, 宮崎, 梶, 藤田, 小木)        | (54) 1-44-07 |
| 2. (橋本, 山下, 角田(篤), 横森, 関, 岩淵, 小汲, 光延)    | (61) 1-48-0  |
| 3. (大賀, 藤田, 田島, 越智, 宮崎, 大石, 吉村, 佐藤)      | (53) 1-48-5  |
| 4. (田中, 田島, 福島, 阿部, 大谷, 大賀, 吉村, 高取)      | (56) 1-49-13 |
| 5. (越智, 村上, 福島, 宮本, 藤田, 宮崎, 大石, 村林)      | (52) 1-49-76 |
| 6. (小木, 村上, 宮崎, 藤田, 村林, 石山, 野村, 森)       | (55) 1-50-47 |
| 7. (中町, 石山, 村上, 生田, 藤田, 宮崎, 三橋, 村林)      | (51) 1-52-1  |
| 7. (石山, 吉村, 大石, 佐藤, 中野, 梶, 森, 伊藤(眞))     | (61) 1-52-1  |
| 9. (菱沼(弟), 田中, 宮本, 水谷, 大和田, 越智, 大石, 田島)  | (51) 1-52-97 |
| 10. (石山, 吉村, 佐藤, 梶, 森, 佐々木, 中野, 角田(篤))   | (60) 1-53-4  |
| 11. (佐々木, 佐藤, 角田, 梶)                     | (58) 1-56-4  |
| 12. (福島, 安部, 伊藤, 北川, 菱沼(兄), 野村, 菅ヶ谷, 大塚) | (45) 1-58-5  |
| 13. (中島, 田中, 角田, 平出, 武笠)                 | (49) 1-59-4  |
| 14. (菱沼(兄), 安部, 谷岡, 斎藤, 大谷, 菅ヶ谷, 大塚, 水口) | (51) 1-59-5  |
| 15. (小沢, 大石, 越智, 生田, 佐藤, 武村, 菅野, 山本)     | (56) 1-59-62 |

## 200m メドレーリレー

|                                       |              |
|---------------------------------------|--------------|
| 1. (梶, 佐藤, 大賀, 角田, 佐々木, 藤田, 森, 田島)    | (58) 1-56-2  |
| 2. (橋本, 山下, 角田(篤), 横森, 関, 岩淵, 小汲, 光延) | (61) 2-04-8  |
| 3. (石山, 吉村, 佐藤, 梶, 森, 佐々木, 中野, 角田(篤)) | (60) 2-07-3  |
| 4. (田島, 菱沼, 伊藤, 大谷, 安部, 山本, 大割, 小坂)   | (54) 2-10-2  |
| 5. (小木, 村上, 藤田, 宮崎)                   | (51) 2-10-3  |
| 6. (石山, 吉村, 大石, 佐藤, 中野, 梶, 森, 伊藤(眞))  | (61) 2-11-0  |
| 7. (田中, 佐藤, 大谷, 小沢, 越智, 大石, 福島, 生田)   | (56) 2-13-53 |
| 8. (越智, 大石, 安部, 大和田, 井上, 菱沼(兄))       | (50) 2-13-8  |
| 9. (佐藤, 吉村, 梶, 大賀)                    | (54) 2-17-4  |
| 10. (野村, 大賀, 森, 佐々木)                  | (57) 2-17-7  |
| 11. (塙田, 福島, 越智, 大石, 本間, 村上, 小木, 宮崎)  | (60) 2-17-9  |
| 12. (河北, 高品, 早坂, 菅野)                  | (38) 2-18-2  |
| 13. (勝又, 山本, 小杉, 北川, 石塙, 高橋, 吉田, 大塚)  | (53) 2-18-5  |
| 14. (鈴木, 横山, 石塙, 服部)                  | (38) 2-19-5  |
| 15. (田島, 大石, 藤田, 宮崎)                  | (53) 2-19-7  |

# 全都立各種目30傑

| 200m 自由形 |       | 100m 自由形     |           |             |
|----------|-------|--------------|-----------|-------------|
| 1.       | 横森知仁  | 2-09-05 (57) | 1. 横森知仁   | 56-6 (59)   |
| 2.       | 岩淵洋一  | 2-09-7 (59)  | 2. 岩淵洋一   | 57-5 (59)   |
| 3.       | 尾上政美  | 2-15-0 (61)  | 3. 梶東洋男   | 1-01-2 (52) |
| 4.       | 梶東洋男  | 2-15-8 (52)  | 4. 森 敦    | 1-02-6 (53) |
| 5.       | 矢島次雄  | 2-19-9 (61)  | 4. 尾上政美   | 1-02-6 (61) |
| 6.       | 野村隆志  | 2-20-5 (52)  | 6. 田島健三   | 1-02-7 (45) |
| 7.       | 魚地俊光  | 2-23-4 (61)  | 6. 関 健    | 1-02-7 (60) |
| 8.       | 関 健   | 2-23-6 (59)  | 8. 野村隆志   | 1-02-8 (53) |
| 9.       | 森 敦   | 2-24-9 (52)  | 8. 佐藤勝治   | 1-02-8 (56) |
| 10.      | 岩坂卓   | 2-25-2 (60)  | 10. 矢島次雄  | 1-03-0 (61) |
| 11.      | 佐藤勝治  | 2-26-1 (56)  | 11. 目信彦   | 1-03-2 (38) |
| 11.      | 久保田文彦 | 2-26-1 (61)  | 12. 魚地俊光  | 1-03-6 (61) |
| 13.      | 村林宜昭  | 2-26-2 (49)  | 13. 小汲竜   | 1-04-0 (59) |
| 14.      | 小汲竜   | 2-28-4 (59)  | 14. 久保田文彦 | 1-04-6 (61) |
| 15.      | 中島孝幸  | 2-28-7 (45)  | 15. 岩坂卓   | 1-04-8 (60) |
| 16.      | 目信彦   | 2-29-4 (37)  | 16. 中島孝幸  | 1-05-0 (45) |
| 17.      | 佐々木豪  | 2-29-5 (56)  | 16. 佐々木豪  | 1-05-0 (56) |
| 18.      | 荒木憲治  | 2-29-7 (61)  | 16. 尾上健二  | 1-05-0 (61) |
| 19.      | 田島健三  | 2-30-7 (45)  | 19. 米本礼太郎 | 1-05-2 (14) |
| 20.      | 米本礼太郎 | 2-31-2 (14)  | 20. 平出英夫  | 1-05-4 (47) |
| 20.      | 野村克夫  | 2-31-2 (15)  | 21. 藤田亮   | 1-06-0 (49) |
| 22.      | 山本忠義  | 2-32-6 (61)  | 21. 村林宜昭  | 1-06-0 (49) |
| 23.      | 尾上健二  | 2-33-4 (61)  | 23. 荒木憲治  | 1-06-3 (61) |
| 24.      | 藤田亮   | 2-33-5 (48)  | 24. 宮崎公義  | 1-06-4 (49) |
| 25.      | 荻野洋太  | 2-34-0 (53)  | 25. 伊丹康夫  | 1-06-5 (12) |
| 26.      | 平出英夫  | 2-34-5 (46)  | 25. 大和田晃  | 1-06-5 (47) |
| 27.      | 伊丹康夫  | 2-34-7 (12)  | 27. 野町克夫  | 1-06-6 (16) |
| 28.      | 横山誠   | 2-35-0 (61)  | 28. 岩瀬均   | 1-07-0 (41) |
| 29.      | 大賀周也  | 2-35-6 (52)  | 29. 山本忠義  | 1-07-4 (61) |
| 29.      | 印南晋   | 2-35-6 (54)  | 30. 久保田邦彦 | 1-07-6 (26) |
| 29.      | 橋本修   | 2-35-6 (57)  |           |             |

## 800m 自由形

|            |          |      |
|------------|----------|------|
| 1. 横森 知仁   | 9-36-3   | (97) |
| 2. 岩淵 洋一   | 9-41-1   | (59) |
| 3. 梶 東洋男   | 10-26-3  | (51) |
| 4. 矢島 次雄   | 10-43-9  | (60) |
| 5. 関 健     | 10-49-3  | (59) |
| 6. 野村 隆志   | 10-51-6  | (52) |
| 7. 尾上 政美   | 10-57-5  | (60) |
| 8. 岩坂 卓    | 11-06-7  | (60) |
| 9. 魚地 傑光   | 11-07-3  | (61) |
| 10. 萩野 洋太  | 11-10-8  | (53) |
| 11. 村林 宜昭  | 11-11-7  | (44) |
| 12. 久保田 文彦 | 11-16-2  | (60) |
| 13. 山本 忠義  | 11-19-0  | (61) |
| 14. 目信彦    | 11-23-3  | (37) |
| 15. 小汲 竜   | 11-26-2  | (59) |
| 16. 米本 礼太郎 | 11-28-0  | (12) |
| 17. 伊丹 康夫  | 11-32-4  | (12) |
| 18. 荒木 慶治  | 11-37-2  | (61) |
| 19. 佐藤 勝治  | 11-44-5  | (55) |
| 20. 中島 孝幸  | 11-45-2  | (45) |
| 21. 柿沢 英治  | 11-46-8  | (61) |
| 22. 野村 克夫  | 11-52-0  | (12) |
| 23. 平出 英夫  | 11-54-5  | (46) |
| 24. 高橋 昌一  | 11-56-7  | (60) |
| 25. 佐々木 豪  | 11-57-6  | (55) |
| 26. 森 敦    | 11-58-9  | (52) |
| 27. 青木 愛子  | 11-59-1  | (60) |
| 28. 橋本 修   | 12-03-93 | (57) |
| 29. 田島 健三  | 12-04-0  | (44) |
| 30. 印南 晋   | 12-04-7  | (54) |

## 400m 自由形

|            |        |      |
|------------|--------|------|
| 1. 横森 知仁   | 4-41-2 | (59) |
| 2. 岩淵 洋一   | 4-48-4 | (59) |
| 3. 梶 東洋男   | 4-51-4 | (51) |
| 4. 尾上 政美   | 5-01-6 | (61) |
| 5. 矢島 次雄   | 5-02-3 | (61) |
| 6. 関 健     | 5-06-6 | (59) |
| 7. 野村 隆志   | 5-06-9 | (52) |
| 8. 村林 宜昭   | 5-11-0 | (49) |
| 9. 魚地 傑光   | 5-14-3 | (61) |
| 10. 岩坂 卓   | 5-17-6 | (60) |
| 11. 目信彦    | 5-19-1 | (37) |
| 12. 佐藤 勝治  | 5-19-3 | (56) |
| 13. 小汲 竜   | 5-23-2 | (59) |
| 14. 米本 礼太郎 | 5-24-0 | (12) |
| 15. 中島 孝幸  | 5-25-0 | (45) |
| 16. 萩野 洋太  | 5-26-7 | (53) |
| 17. 山本 忠義  | 5-27-3 | (61) |
| 18. 森 敦    | 5-28-1 | (52) |
| 19. 荒木 慶治  | 5-32-0 | (61) |
| 20. 久保田 文彦 | 5-32-4 | (60) |
| 21. 尾上 健二  | 5-34-1 | (61) |
| 22. 佐々木 豪  | 5-35-3 | (56) |
| 23. 宮崎 公義  | 5-35-5 | (48) |
| 24. 田島 健三  | 5-35-7 | (44) |
| 25. 伊丹 康夫  | 5-37-0 | (12) |
| 26. 野村 克夫  | 5-37-0 | (12) |
| 27. 藤田 亮   | 5-37-7 | (48) |
| 28. 高橋 昌一  | 5-38-2 | (60) |
| 29. 高岸 銳治  | 5-38-9 | (61) |
| 30. 平出 英夫  | 5-39-1 | (46) |

## 200m 平泳

1. 尾上政美 2-38-50 (61)
2. 尾上健二 2-43-64 (61)
3. 岩淵洋一 2-45-3 (59)
4. 横森知仁 2-46-6 (59)
5. 村上敬 2-47-5 (49)
6. 村林宜昭 2-48-7 (49)
7. 光延拓洋 2-50-5 (59)
8. 吉村克郎 2-53-0 (52)
9. 柿沢英治 2-53-3 (61)
10. 横山俊平 2-54-2 (61)
11. 横尾武 2-55-0 (45)
12. 伊藤隆 2-55-2 (42)
13. 北川英一 2-57-0 (41)
14. 根来清太郎 2-57-2 (17)
15. 正田譲 2-57-9 (52)
16. 勝又民樹 2-58-2 (37)
17. 大賀周也 2-59-2 (52)
18. 神田知秀 2-59-8 (61)
19. 塚田研一郎 3-00-4 (45)
20. 森健二 3-01-5 (36)
21. 宮崎公義 3-01-9 (48)
22. 野村隆志 3-02-0 (52)
23. 中島洋 3-02-1 (43)
23. 藤井雅裕 3-02-1 (58)
25. 大島義郎 3-02-5 (31)
26. 伊東良本 3-03-0 (58)
27. 石井和雄 3-03-2 (27)
28. 丹羽和央 3-04-0 (29)
29. 菅野次彦 3-04-2 (33)
30. 水口寛幸 3-04-5 (40)

## 100m 平泳

1. 尾上政美 1-12-2 (61)
2. 横森知仁 1-12-9 (59)
3. 岩淵洋一 1-16-2 (59)
4. 村上敬 1-16-5 (49)
5. 尾上健二 1-17-3 (61)
6. 横尾武 1-18-2 (47)
7. 北川英一 1-18-8 (41)
8. 吉村克郎 1-19-1 (52)
9. 柿沢英治 1-19-4 (61)
10. 光延拓洋 1-19-5 (59)
11. 伊藤隆 1-19-6 (42)
12. 村林宜昭 1-20-0 (48)
13. 正田譲 1-20-2 (52)
13. 横山俊平 1-20-2 (61)
15. 塚田研一郎 1-20-7 (45)
16. 大賀周也 1-21-2 (52)
17. 野村隆志 1-21-6 (53)
18. 根来清太郎 1-21-8 (18)
18. 宮崎公義 1-21-8 (48)
20. 勝又民樹 1-22-1 (37)
21. 森健二 1-22-3 (37)
22. 水口寛幸 1-22-4 (40)
22. 神田知秀 1-22-4 (60)
24. 重宗信正 1-22-6 (26)
25. 塩谷晋 1-23-0 (12)
25. 米本礼太郎 1-23-0 (12)
27. 角田浩 1-23-17 (56)
28. 藤井雅裕 1-23-3 (58)
29. 高品齊 1-23-5 (31)
30. 久保田文彦 1-23-9 (60)

## 200m 背泳

|           |          |      |
|-----------|----------|------|
| 1. 岩淵洋一   | 2-3 3-4  | (59) |
| 2. 横森知仁   | 2-3 7-8  | (59) |
| 3. 梶東洋男   | 2-4 0-2  | (52) |
| 4. 岩坂卓    | 2-4 6-1  | (60) |
| 5. 久保田文彦  | 2-4 7-0  | (61) |
| 6. 矢島次雄   | 2-4 7-6  | (60) |
| 7. 越智昌之   | 2-4 8-1  | (47) |
| 8. 角田浩    | 2-4 8-7  | (55) |
| 9. 小木協仁   | 2-5 0-0  | (49) |
| 10. 田中伸   | 2-5 2-6  | (41) |
| 11. 大和田晃  | 2-5 2-9  | (47) |
| 12. 尾上政美  | 2-5 3-4  | (60) |
| 13. 森敦    | 2-5 4-9  | (52) |
| 14. 佐藤勝治  | 2-5 5-69 | (56) |
| 15. 早坂義昭  | 2-5 5-8  | (36) |
| 16. 野村隆志  | 2-5 5-86 | (52) |
| 17. 村林宜昭  | 2-5 7-4  | (49) |
| 18. 小池清   | 2-5 7-6  | (17) |
| 19. 河北紘明  | 2-5 9-2  | (35) |
| 20. 上原信一郎 | 2-5 9-4  | (16) |
| 21. 中島猛   | 2-5 9-8  | (18) |
| 22. 石渡良一  | 3-0 0-0  | (12) |
| 23. 宮崎公義  | 3-0 0-3  | (48) |
| 24. 小林真佐子 | 3-0 0-4  | (54) |
| 25. 田島健三  | 3-0 0-7  | (44) |
| 26. 米本礼太郎 | 3-0 3-0  | (14) |
| 27. 長坂聰   | 3-0 5-0  | (17) |
| 28. 関健    | 3-0 5-7  | (59) |
| 29. 滝川美香  | 3-0 5-9  | (57) |
| 30. 木下知見  | 3-0 6-6  | (60) |

## 100m 背泳

|           |          |      |
|-----------|----------|------|
| 1. 岩淵洋一   | 1-0 8-27 | (60) |
| 2. 横森知仁   | 1-0 8-8  | (59) |
| 3. 梶東洋男   | 1-1 3-0  | (51) |
| 4. 越智昌之   | 1-1 5-4  | (47) |
| 5. 岩坂卓    | 1-1 5-5  | (60) |
| 6. 小木協仁   | 1-1 5-7  | (49) |
| 7. 佐藤勝治   | 1-1 6-91 | (56) |
| 8. 田中伸    | 1-1 7-2  | (44) |
| 9. 角田浩    | 1-1 7-3  | (57) |
| 9. 久保田文彦  | 1-1 7-3  | (61) |
| 11. 田島健三  | 1-1 7-8  | (44) |
| 12. 矢島次雄  | 1-1 8-3  | (60) |
| 13. 早坂義昭  | 1-1 8-6  | (36) |
| 13. 大和田晃  | 1-1 8-6  | (47) |
| 13. 野村隆志  | 1-1 8-6  | (52) |
| 16. 上原信一郎 | 1-1 9-0  | (15) |
| 16. 河北紘明  | 1-1 9-0  | (35) |
| 18. 尾上政美  | 1-2 0-1  | (60) |
| 19. 小池清   | 1-2 1-0  | (18) |
| 19. 森敦    | 1-2 1-0  | (53) |
| 21. 小林真佐子 | 1-2 1-4  | (53) |
| 22. 石渡良一  | 1-2 2-0  | (10) |
| 22. 米本礼太郎 | 1-2 2-0  | (14) |
| 24. 中川充   | 1-2 3-0  | (12) |
| 25. 鈴木貞男  | 1-2 3-4  | (36) |
| 26. 村林宜昭  | 1-2 3-5  | (48) |
| 27. 中島猛   | 1-2 3-6  | (16) |
| 28. 中光尚之  | 1-2 3-8  | (14) |
| 28. 野村克夫  | 1-2 3-8  | (16) |
| 30. 長坂聰   | 1-2 4-2  | (17) |

| 200m バタフライ |        | 100m バタフライ |                    |
|------------|--------|------------|--------------------|
| 1.         | 岩淵 洋一  | 2-17-8     | (59)               |
| 2.         | 横森 知仁  | 2-33-1     | (59)               |
| 3.         | 梶 東洋男  | 2-43-35    | (51)               |
| 4.         | 尾上 政美  | 2-52-1     | (60)               |
| 5.         | 岩坂 卓   | 2-55-3     | (60)               |
| 6.         | 藤田 亮   | 2-56-9     | (49)               |
| 7.         | 高岸 錠治  | 2-59-4     | (61)               |
| 8.         | 佐々木 豪  | 3-01-4     | (56)               |
| 9.         | 菅ヶ谷 泰邦 | 3-04-5     | (41)               |
| 10.        | 森 敦    | 3-08-0     | (53)               |
| 11.        | 藤本 淳子  | 3-09-3     | (60)               |
| 12.        | 大賀周也   | 3-10-3     | (52)               |
| 13.        | 村林 宜昭  | 3-10-4     | (49)               |
| 14.        | 小汲 竜   | 3-11-5     | (59)               |
| 15.        | 宮崎 公義  | 3-11-6     | (48)               |
| 16.        | 恒吉 康夫  | 3-12-1     | (39)               |
| 17.        | 久保田 文彦 | 3-13-2     | (61)               |
| 18.        | 関 健    | 3-14-1     | (59)               |
| 19.        | 矢島 次雄  | 3-14-4     | (60)               |
| 20.        | 早坂 義昭  | 3-15-7     | (36)               |
| 21.        | 尾上 健二  | 3-16-2     | (61)               |
| 22.        | 野村 隆志  | 3-16-5     | (52)               |
| 23.        | 橋本 修   | 3-18-7     | (58)               |
| 24.        | 安部 俊秀  | 3-19-2     | (42)               |
| 25.        | 田島 健三  | 3-19-4     | (45)               |
| 26.        | 飯沼 清   | 3-20-0     | (37)               |
| 27.        | 荒木 憲治  | 3-20-2     | (61)               |
| 28.        | 横山 誠   | 3-20-9     | (60)               |
| 29.        | 宮本 俊男  | 3-21-6     | (44)               |
| 29.        | 角田 篤俊  | 3-21-6     | (59)               |
|            |        | 1.         | 岩淵 洋一 1-01-2 (60)  |
|            |        | 2.         | 梶 東洋男 1-05-9 (52)  |
|            |        | 3.         | 横森 知仁 1-08-0 (57)  |
|            |        | 4.         | 森 敦 1-12-2 (53)    |
|            |        | 5.         | 岩坂 卓 1-12-7 (60)   |
|            |        | 6.         | 藤田 亮 1-12-8 (49)   |
|            |        | 6.         | 尾上 政美 1-12-8 (61)  |
|            |        | 8.         | 田島 健三 1-13-4 (45)  |
|            |        | 9.         | 菅ヶ谷 泰邦 1-14-3 (41) |
|            |        | 10.        | 佐々木 豪 1-14-7 (56)  |
|            |        | 11.        | 矢島 次雄 1-14-9 (61)  |
|            |        | 12.        | 早坂 義昭 1-15-3 (37)  |
|            |        | 13.        | 久保田 文彦 1-16-2 (60) |
|            |        | 14.        | 大和田 晃 1-16-3 (47)  |
|            |        | 15.        | 目 信彦 1-16-4 (37)   |
|            |        | 16.        | 大賀周也 1-17-3 (52)   |
|            |        | 17.        | 村林 宜昭 1-17-5 (50)  |
|            |        | 18.        | 尾上 健二 1-18-0 (61)  |
|            |        | 19.        | 関 健 1-18-6 (59)    |
|            |        | 20.        | 石塚 徹 1-19-2 (30)   |
|            |        | 21.        | 橋本 修 1-20-1 (58)   |
|            |        | 22.        | 小汲 竜 1-20-5 (60)   |
|            |        | 23.        | 平出 英夫 1-20-6 (47)  |
|            |        | 24.        | 野村 隆志 1-20-72 (52) |
|            |        | 25.        | 佐藤 勝治 1-20-74 (56) |
|            |        | 26.        | 宮崎 公義 1-21-0 (47)  |
|            |        | 27.        | 越智 昌之 1-21-1 (48)  |
|            |        | 28.        | 恒吉 康夫 1-21-5 (39)  |
|            |        | 29.        | 高岸 錠治 1-21-7 (61)  |
|            |        | 30.        | 安部 俊秀 1-22-1 (42)  |

## 400m 個人メドレー

1. 横森知仁 5-12-2 (59)
2. 岩淵洋一 5-15-6 (59)
3. 梶東洋男 5-32-9 (51)
4. 尾上政美 5-43-9 (60)
5. 矢島次雄 5-49-23 (60)
6. 村林宜昭 5-51-0 (49)
7. 岩坂卓 5-55-9 (60)
8. 尾上健二 5-59-6 (61)
9. 野村隆志 6-07-3 (52)
10. 久保田文彦 6-08-3 (61)
11. 森 敦 6-15-6 (52)
12. 関 健 6-17-2 (59)
13. 角田篤俊 6-28-0 (59)
14. 魚地俊光 6-29-5 (61)
15. 宮崎公義 6-29-8 (48)
16. 柿沢英治 6-30-2 (61)
17. 田島健三 6-30-5 (45)
18. 青木愛子 6-31-7 (60)
19. 横山誠 6-32-3 (60)
20. 神田知秀 6-34-9 (60)
21. 荒木憲治 6-35-2 (60)
22. 角田浩 6-35-5 (57)
22. 高岸銳治 6-35-5 (61)
24. 越智昌之 6-38-0 (47)
25. 佐々木豪 6-38-6 (56)
26. 小汲竜 6-42-7 (59)
27. 大貫直子 6-44-2 (49)
28. 高橋昌一 6-46-3 (60)
29. 滝川美香 6-51-4 (57)
30. 藤本淳子 6-52-4 (59)

## 200m 個人メドレー

1. 横森知仁 2-24-4 (59)
2. 岩淵洋一 2-27-0 (59)
3. 梶東洋男 2-32-4 (52)
4. 尾上政美 2-35-5 (60)
5. 矢島次雄 2-39-6 (60)
6. 岩坂卓 2-41-2 (60)
7. 村林宜昭 2-43-0 (49)
8. 久保田文彦 2-43-31 (61)
9. 森敦 2-46-9 (52)
10. 関健 2-47-4 (60)
11. 越智昌之 2-47-7 (47)
12. 野村隆志 2-47-8 (52)
13. 田島健三 2-48-6 (45)
14. 尾上健二 2-48-7 (61)
15. 宮崎公義 2-49-5 (48)
16. 柿沢英治 2-50-2 (52)
17. 角田浩 2-52-3 (57)
18. 大和田晃 2-52-9 (47)
19. 藤田亮 2-54-4 (49)
20. 柿沢英治 2-55-9 (61)
21. 角田篤俊 2-57-0 (59)
22. 魚地俊光 2-57-8 (61)
23. 横山誠 2-58-9 (61)
24. 大貫直子 2-59-3 (50)
25. 村上敬 2-59-5 (49)
26. 青木愛子 3-00-1 (60)
27. 薬袋紀子 3-00-5 (44)
28. 横尾武 3-00-9 (47)
29. 大賀周也 3-01-0 (52)
30. 佐々木豪 3-01-4 (56)
30. 神田知秀 3-01-4 (61)

200m リレ－

|                             |        |      |
|-----------------------------|--------|------|
| 1. (久保田, 矢島, 魚地, 尾上政)       | 1-52-2 | (61) |
| 2. (関, 矢島, 小汲, 岩淵)          | 1-53-5 | (60) |
| 3. (矢島, 尾上(健), 久保田, 尾上(政))  | 1-53-7 | (61) |
| 4. (関, 岩坂, 小汲, 岩淵)          | 1-54-8 | (59) |
| 4. (尾上(政), 魚地, 矢島, 尾上(健))   | 1-54-8 | (61) |
| 6. (大賀, 野村, 森, 梶)           | 1-55-2 | (52) |
| 7. (原田, 田島, 宮本, 中島)         | 1-56-0 | (45) |
| 8. (中島, 田中, 宮本, 田島)         | 1-56-3 | (44) |
| 9. (横山(誠), 神田, 久保田, 尾上(政))  | 1-56-6 | (61) |
| 10. (村林, 小木, 宮崎, 藤田)        | 1-56-8 | (49) |
| 11. (関, 角田, 小汲, 横森)         | 1-57-3 | (59) |
| 12. (野村, 浜野, 萩野, 森)         | 1-57-4 | (53) |
| 13. (野村, 森, 梶, 疊田)          | 1-57-5 | (52) |
| 14. (米本, 鈴木, 久保田, 藤巻)       | 1-57-6 | (25) |
| 15. (武笠, 越智, 大和田, 平出)       | 1-58-2 | (47) |
| 16. (柿沢, 神田, 山本, 魚地 )       | 1-58-3 | (61) |
| 17. (野村, 森, 梶, 吉村 )         | 1-58-4 | (52) |
| 18. (矢島, 尾上(健), 岩坂, 横山(誠) ) | 1-58-5 | (61) |
| 19. (久保田, 尾上(政), 岩坂, 魚地 )   | 1-58-6 | (60) |
| 20. (松永, 森, 野村, 梶 )         | 1-58-8 | (51) |
| 20. (魚地, 荒木, 横山(誠), 高橋 ))   | 1-58-8 | (61) |
| 22. (野村, 森, 大賀, 吉村 )        | 1-58-9 | (52) |
| 23. (久保田, 岩坂, 高橋, 横山(誠))    | 1-59-0 | (61) |
| 24. (福島, 角田, 安部, 田島 )       | 1-59-1 | (43) |
| 24. (佐藤, 橋本, 角田(浩), 佐々木 )   | 1-59-1 | (56) |
| 26. (平出, 大和田, 原田, 中島 )      | 1-59-2 | (46) |
| 27. (岩坂, 角田, 関, 横森 )        | 1-59-4 | (59) |
| 28. (魚地, 高橋, 岩坂, 柿沢 )       | 1-59-9 | (61) |
| 29. (大和田, 田淵, 横尾, 宮崎 )      | 2-00-0 | (47) |
| 30. (早坂, 北村, 森, 目 )         | 2-00-3 | (37) |
| 30. (村林, 石山, 宮崎, 藤田 )       | 2-00-3 | (49) |

## 800m リレー

|                               |         |      |
|-------------------------------|---------|------|
| 1. (矢島, 魚地, 久保田, 尾上(政))       | 9-25-8  | (61) |
| 2. (関, 矢島, 岩坂, 岩淵)            | 9-29-3  | (60) |
| 3. (関, 岩坂, 小汲, 岩淵)            | 9-36-3  | (59) |
| 4. (矢島, 荒木, 魚地, 尾上(政))        | 9-38-83 | (61) |
| 5. (梶, 野村, 森, 大賀)             | 9-45-0  | (52) |
| 6. (久保田, 尾上(政), 岩坂, 矢島)       | 9-48-4  | (60) |
| 7. (浜野, 萩野, 森, 野村)            | 10-08-3 | (53) |
| 8. (野村, 森, 梶, 正田)             | 10-13-9 | (52) |
| 9. (尾上(健), 荒木, 横山(誠), 山本)     | 10-17-8 | (61) |
| 10. (佐々木, 佐藤, 角田, 龍村)         | 10-23-8 | (56) |
| 11. (久保田, 尾上(政), 荒木, 小汲)      | 10-24-7 | (60) |
| 12. (角田, 岩淵, 関, 橋本)           | 10-26-3 | (58) |
| 13. (荒木, 山本, 柿沢, 横山(誠))       | 10-27-6 | (61) |
| 14. (森, 松永, 野村, 梶)            | 10-28-4 | (51) |
| 15. (小木, 石山, 藤田, 村林)          | 10-33-6 | (49) |
| 16. (宮崎, 石山, 藤田, 村林)          | 10-35-8 | (49) |
| 17. (米本, 久保田, 藤巻, 鈴木)         | 10-42-2 | (25) |
| 18. (石渡, 岡田, 米本, 伊丹)          | 10-44-4 | (12) |
| 19. (中野, 大賀, 森, 野村)           | 10-47-3 | (52) |
| 20. (高橋(昌), 魚地, 尾上(健), 横山(誠)) | 10-47-9 | (60) |
| 21. (斎藤, 小林, 野村, 森)           | 10-48-5 | (52) |
| 22. (村林, 梶, 松永, 石山)           | 10-49-6 | (50) |
| 23. (中島, 田中, 宮本, 田島)          | 10-55-0 | (45) |
| 24. (角田, 福島, 薬袋, 田島)          | 10-55-2 | (43) |
| 25. (伊藤, 尾上(政), 小汲, 関)        | 10-58-3 | (60) |
| 26. (清水(一), 清水(義), 藤巻, 久保田)   | 10-59-7 | (26) |
| 27. (鈴木, 清水(義), 久保田, 藤巻)      | 11-00-0 | (25) |
| 28. (長谷川, 横山, 服部, 佐野)         | 11-00-3 | (32) |
| 29. (井上, 角田, 佐々木, 佐藤)         | 11-04-8 | (55) |
| 29. (久保田, 藤本, 青木, 矢島)         | 11-04-8 | (60) |

400m メドレーリレー

|                              |         |        |
|------------------------------|---------|--------|
| 1. ( 岩坂, 尾上(政), 岩淵, 関 )      | 4-35-0  | ( 60 ) |
| 2. ( 矢島, 尾上(政), 岩淵, 関 )      | 4-39-4  | ( 60 ) |
| 3. ( 岩坂, 尾上(政), 矢島, 久保田 )    | 4-48-41 | ( 61 ) |
| 4. ( 岩坂, 光延, 岩淵, 小汲 )        | 4-49-0  | ( 59 ) |
| 5. ( 岩坂, 尾上(政), 矢島, 魚地 )     | 4-50-1  | ( 61 ) |
| 6. ( 野村, 吉村, 梶, 森 )          | 4-50-2  | ( 52 ) |
| 7. ( 久保田, 尾上(健), 尾上(政), 矢島 ) | 4-52-1  | ( 61 ) |
| 8. ( 岩坂, 尾上(政), 岩淵, 横森 )     | 4-52-30 | ( 59 ) |
| 9. ( 岩坂, 尾上(政), 岩淵, 久保田 )    | 4-53-01 | ( 60 ) |
| 10. ( 越智, 横尾, 大和田, 平出 )      | 4-54-1  | ( 47 ) |
| 11. ( 小木, 村上, 藤田, 宮崎 )       | 4-54-1  | ( 49 ) |
| 12. ( 小木, 村上, 藤田, 村林 )       | 4-55-4  | ( 49 ) |
| 12. ( 野村, 斎田, 梶, 森 )         | 4-55-4  | ( 52 ) |
| 14. ( 岩坂, 尾上(政), 久保田, 矢島 )   | 4-56-48 | ( 61 ) |
| 15. ( 久保田, 尾上(政), 岩坂, 矢島 )   | 4-59-3  | ( 60 ) |
| 16. ( 矢島, 尾上(政), 久保田, 魚地 )   | 4-59-5  | ( 61 ) |
| 17. ( 田中, 横尾, 田島, 中島 )       | 5-02-0  | ( 45 ) |
| 18. ( 久保田, 尾上(政), 矢島, 魚地 )   | 5-02-8  | ( 61 ) |
| 19. ( 角田, 藤井, 岩淵, 橋本 )       | 5-03-1  | ( 58 ) |
| 20. ( 野村, 大賀, 梶, 森 )         | 5-04-1  | ( 51 ) |
| 21. ( 角田, 災村, 佐々木, 佐藤 )      | 5-06-1  | ( 56 ) |
| 22. ( 矢島, 尾上(政), 久保田, 小汲 )   | 5-06-2  | ( 60 ) |
| 23. ( 大塚, 北川, 菅ヶ谷, 岩瀬 )      | 5-06-7  | ( 47 ) |
| 24. ( 久保田, 尾上(健), 高岸, 荒木 )   | 5-07-6  | ( 61 ) |
| 25. ( 青木, 中井, 岩淵, 関 )        | 5-11-1  | ( 60 ) |
| 26. ( 矢島, 尾上(政), 藤本, 小汲 )    | 5-11-9  | ( 60 ) |
| 27. ( 鈴木, 森, 早坂, 目 )         | 5-12-0  | ( 36 ) |
| 28. ( 越智, 横尾, 大和田, 田淵 )      | 5-12-2  | ( 47 ) |
| 29. ( 田中, 塚田, 宮本, 田島 )       | 5-12-4  | ( 44 ) |
| 30. ( 横森, 尾上(政), 角田, 関 )     | 5-12-7  | ( 59 ) |

# 女子歴代15傑

## 200m 自由形

|           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 青木愛子   | 2-37-9 (60) |
| 2. 藤本淳子   | 2-40-7 (60) |
| 2. 大貫直子   | 2-41-0 (50) |
| 4. 薬袋紀子   | 2-43-2 (44) |
| 5. 木下知見   | 2-44-6 (60) |
| 6. 斎藤かおり  | 2-45-0 (52) |
| 7. 滝川美香   | 2-49-6 (57) |
| 8. 小林真佐子  | 2-50-2 (53) |
| 9. 菊田京子   | 2-50-2 (60) |
| 10. 中町恵理子 | 2-50-3 (49) |
| 11. 井上道代  | 2-50-5 (55) |
| 12. 中井玲江  | 2-51-2 (59) |
| 13. 林美紀   | 2-51-7 (57) |
| 14. 和田順子  | 2-54-7 (61) |
| 15. 稲垣香居  | 2-57-9 (60) |

## 50m 自由形

|          |            |
|----------|------------|
| 1. 薬袋紀子  | 31-9 (43)  |
| 2. 青木愛子  | 32-3 (60)  |
| 3. 木下知見  | 32-8 (60)  |
| 4. 滝川美香  | 32-94 (56) |
| 5. 中町恵理子 | 33-0 (49)  |
| 5. 小林真佐子 | 33-0 (54)  |
| 7. 武藤真紀子 | 33-1 (53)  |
| 8. 斎藤かおり | 33-25 (52) |
| 9. 中井玲江  | 33-3 (59)  |
| 10. 大貫直子 | 33-4 (51)  |
| 11. 藤本淳子 | 33-6 (61)  |
| 12. 黒井治子 | 34-1 (59)  |
| 12. 和田順子 | 34-1 (61)  |
| 14. 井上道代 | 34-3 (55)  |
| 15. 菊田京子 | 34-5 (60)  |

## 400m 自由形

|           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 大貫直子   | 5-39-7 (49)  |
| 2. 青木愛子   | 5-42-4 (60)  |
| 3. 藤本淳子   | 5-43-4 (60)  |
| 4. 薬袋紀子   | 5-44-2 (44)  |
| 5. 滝川美香   | 5-52-56 (57) |
| 6. 小林真佐子  | 5-56-7 (53)  |
| 7. 菊田京子   | 5-58-4 (60)  |
| 8. 木下知見   | 6-01-2 (60)  |
| 9. 斎藤かおり  | 6-03-1 (52)  |
| 10. 中井玲江  | 6-10-3 (59)  |
| 11. 稲垣香居  | 6-12-0 (60)  |
| 12. 林美紀   | 6-15-3 (57)  |
| 13. 吉田雅   | 6-15-8 (59)  |
| 14. 井上道代  | 6-17-3 (55)  |
| 15. 中町恵理子 | 6-19-0 (48)  |

## 100m 自由形

|           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 青木愛子   | 1-11-5 (60) |
| 2. 木下知見   | 1-12-0 (60) |
| 3. 大貫直子   | 1-12-1 (50) |
| 4. 薬袋紀子   | 1-12-4 (43) |
| 5. 小林真佐子  | 1-13-5 (53) |
| 6. 斎藤かおり  | 1-13-7 (52) |
| 6. 滝川美香   | 1-13-7 (57) |
| 8. 藤本淳子   | 1-14-0 (60) |
| 9. 中町恵理子  | 1-14-8 (50) |
| 10. 菊田京子  | 1-16-1 (60) |
| 11. 武藤真紀子 | 1-17-0 (53) |
| 12. 中井玲江  | 1-17-2 (59) |
| 13. 和田順子  | 1-17-4 (61) |
| 14. 井上道代  | 1-17-7 (55) |
| 15. 黒井治子  | 1-17-8 (59) |

## 200m 平泳

|          |              |
|----------|--------------|
| 1. 丹羽晶子  | 3-08-8 (60)  |
| 2. 塩川恭子  | 3-15-8 (50)  |
| 3. 中井玲江  | 3-16-7 (58)  |
| 4. 桂川裕加  | 3-18-07 (56) |
| 5. 青木愛子  | 3-21-4 (60)  |
| 6. 長谷川みか | 3-24-4 (61)  |
| 7. 南条由紀江 | 3-27-2 (44)  |
| 8. 中島曜子  | 3-28-2 (56)  |
| 9. 河野道子  | 3-30-6 (60)  |
| 10. 薬袋紀子 | 3-30-8 (44)  |
| 11. 乗松敬子 | 3-31-0 (53)  |
| 12. 猪俣美加 | 3-32-20 (55) |
| 13. 和田順子 | 3-33-7 (61)  |
| 14. 神保美佳 | 3-34-7 (60)  |
| 15. 藤村素子 | 3-35-9 (56)  |

## 50m 平泳

|           |            |
|-----------|------------|
| 1. 丹羽晶子   | 40-9 (60)  |
| 2. 中井玲江   | 41-0 (59)  |
| 3. 桂川裕加   | 41-65 (56) |
| 4. 大貫直子   | 42-0 (51)  |
| 5. 青木愛子   | 42-8 (60)  |
| 6. 乗松敬子   | 43-1 (53)  |
| 7. 南条由紀江  | 43-2 (44)  |
| 8. 神保美佳   | 43-3 (60)  |
| 8. 薬袋紀子   | 43-5 (44)  |
| 10. 藤村素子  | 43-5 (56)  |
| 11. 長谷川みか | 43-6 (61)  |
| 12. 塩川恭子  | 43-8 (49)  |
| 13. 中島曜子  | 44-21 (56) |
| 14. 菊地博子  | 45-6 (37)  |
| 15. 伊藤由美  | 45-1 (53)  |

## 50m 背泳

|          |            |
|----------|------------|
| 1. 小林真佐子 | 36-8 (53)  |
| 2. 滝川美香  | 39-16 (57) |
| 3. 青木愛子  | 39-4 (60)  |
| 3. 木下知見  | 39-4 (60)  |
| 5. 薬袋紀子  | 39-8 (44)  |
| 6. 斎藤かおり | 41-4 (52)  |
| 7. 中島曜子  | 42-1 (56)  |
| 7. 和田順子  | 42-1 (61)  |
| 9. 藤村素子  | 42-2 (56)  |
| 9. 中井玲江  | 42-2 (60)  |
| 11. 大貫直子 | 42-6 (50)  |
| 11. 藤本淳子 | 42-6 (60)  |
| 13. 高橋実佳 | 43-3 (55)  |
| 14. 菊田京子 | 43-4 (60)  |
| 15. 井上道代 | 45-0 (55)  |

## 100m 平泳

|          |              |
|----------|--------------|
| 1. 丹羽晶子  | 1-28-8 (60)  |
| 2. 桂川裕加  | 1-29-51 (56) |
| 3. 中井玲江  | 1-30-6 (58)  |
| 4. 青木愛子  | 1-31-0 (59)  |
| 5. 塩川恭子  | 1-33-3 (49)  |
| 6. 南条由紀江 | 1-33-6 (44)  |
| 7. 長谷川みか | 1-34-2 (61)  |
| 8. 藤村素子  | 1-36-35 (56) |
| 9. 乗松敬子  | 1-36-5 (58)  |
| 10. 神保美佳 | 1-36-6 (60)  |
| 11. 中島曜子 | 1-36-67 (56) |
| 12. 和田順子 | 1-36-8 (61)  |
| 13. 薬袋紀子 | 1-37-0 (44)  |
| 13. 河野道子 | 1-37-0 (60)  |
| 15. 猪俣美加 | 1-39-5 (55)  |

## 50m バタフライ

|           |            |
|-----------|------------|
| 1. 薬袋紀子   | 35-6 (45)  |
| 1. 藤本淳子   | 35-6 (60)  |
| 3. 大貫直子   | 36-0 (49)  |
| 4. 青木愛子   | 38-5 (60)  |
| 5. 中井玲江   | 39-1 (58)  |
| 6. 落合弘美   | 40-8 (60)  |
| 7. 吉田雅    | 41-5 (59)  |
| 8. 木下知見   | 41-6 (60)  |
| 9. 神保美佳   | 41-7 (60)  |
| 9. 和田順子   | 41-7 (61)  |
| 11. 菊田京子  | 41-9 (60)  |
| 12. 滝川美香  | 42-5 (57)  |
| 13. 小林真佐子 | 42-6 (54)  |
| 14. 桂川裕加  | 43-1 (57)  |
| 15. 鈴木泰子  | 43-36 (52) |

## 100m 背泳

|          |              |
|----------|--------------|
| 1. 小林真佐子 | 1-21-4 (53)  |
| 2. 木下知見  | 1-26-5 (60)  |
| 3. 滝川美香  | 1-27-1 (57)  |
| 4. 薬袋紀子  | 1-27-2 (44)  |
| 5. 青木愛子  | 1-28-4 (60)  |
| 6. 斎藤かおり | 1-29-0 (52)  |
| 7. 和田順子  | 1-31-8 (61)  |
| 8. 高橋実佳  | 1-32-8 (55)  |
| 9. 大貫直子  | 1-32-98 (51) |
| 10. 藤本淳子 | 1-33-10 (60) |
| 11. 中島曜子 | 1-33-1 (56)  |
| 12. 藤村素子 | 1-33-45 (56) |
| 13. 中井玲江 | 1-34-2 (60)  |
| 14. 菊田京子 | 1-34-9 (60)  |
| 15. 井上道代 | 1-37-03 (55) |

## 100m バタフライ

|           |             |
|-----------|-------------|
| 1. 藤本淳子   | 1-23-6 (60) |
| 2. 大貫直子   | 1-25-5 (49) |
| 3. 薬袋紀子   | 1-28-5 (44) |
| 4. 中井玲江   | 1-30-3 (58) |
| 5. 青木愛子   | 1-33-0 (59) |
| 6. 和田順子   | 1-34-4 (61) |
| 7. 吉田雅    | 1-34-9 (59) |
| 8. 小林真佐子  | 1-35-9 (54) |
| 9. 中町恵理子  | 1-39-2 (49) |
| 10. 斎藤かおり | 1-40-0 (52) |
| 11. 滝川美香  | 1-42-2 (57) |
| 12. 落合弘美  | 1-42-4 (60) |
| 13. 神保美佳  | 1-43-0 (59) |
| 14. 木下知見  | 1-44-9 (60) |
| 15. 菊田京子  | 1-45-4 (60) |

## 200m 背泳

|           |              |
|-----------|--------------|
| 1. 小林真佐子  | 3-00-4 (54)  |
| 2. 滝川美香   | 3-05-9 (57)  |
| 3. 木下知見   | 3-06-6 (60)  |
| 4. 青木愛子   | 3-10-0 (60)  |
| 5. 斎藤かおり  | 3-12-0 (52)  |
| 6. 高橋実佳   | 3-18-7 (55)  |
| 6. 菊田京子   | 3-18-7 (60)  |
| 8. 中島曜子   | 3-22-08 (56) |
| 9. 和田順子   | 3-23-9 (61)  |
| 10. 中井玲江  | 3-27-7 (60)  |
| 11. 藤村素子  | 3-28-6 (56)  |
| 12. 藤本淳子  | 3-29-4 (60)  |
| 13. 高橋朝子  | 3-32-2 (60)  |
| 14. 野本敦子  | 3-34-2 (56)  |
| 15. 平沢美咲子 | 3-38-3 (61)  |

**200m メドレーリレー**

1. (青木, 木下, 菊田, 藤本) 4-55-1 (60)
2. (藤本, 菊田, 落合, 木下) 5-05-2 (60)
3. (青木, 藤本, 和田, 長谷川) 5-09-67 (61)
4. (藤本, 菊田, 青木, 平沢) 5-12-5 (61)
5. (中井, 藤本, 木下, 青木) 5-15-7 (59)
6. (中井, 藤本, 吉田, 青木) 5-16-9 (59)
7. (林, 桂川, 野本, 滝川) 5-17-4 (57)
8. (中井, 黒井, 吉田, 青木) 5-19-0 (59)
9. (中井, 藤本, 黒井, 青木) 5-19-9 (59)
10. (中島, 滝川, 藤村, 桂川) 5-20-4 (56)
11. (武藤, 伊藤, 大内, 小林) 5-21-2 (53)
12. (藤村, 林, 桂川, 滝川) 5-23-4 (56)
13. (木下, 吉田, 青木, 中井) 5-29-4 (59)
14. (吉田, 川合, 中井, 滝川) 5-31-8 (58)
15. (藤村, 中島, 林, 滝川) 5-35-1 (56)

**200m 個人メドレー**

1. 大貫直子 2-59-3 (50)
2. 青木愛子 3-00-1 (60)
3. 薩袋紀子 3-00-5 (44)
4. 滝川美香 3-06-9 (57)
5. 中井玲江 3-07-9 (57)
6. 藤本淳子 3-08-5 (60)
7. 小林真佐子 3-10-7 (53)
8. 和田順子 3-13-0 (61)
9. 斎藤かおり 3-14-7 (52)
10. 菊田京子 3-17-1 (60)
11. 中町恵理子 3-24-2 (49)
12. 木下知見 3-24-3 (60)
13. 井上道代 3-24-6 (55)
14. 野本敦子 3-25-2 (57)
15. 中島曜子 3-25-84 (56)

**400m リレー**

1. (木下, 丹羽, 藤本, 青木) 2-28-88 (60)
2. (青木, 丹羽, 藤本, 木下) 2-30-51 (60)
3. (木下, 丹羽, 藤本, 菊田) 2-32-7 (60)
4. (青木, 丹羽, 藤本, 菊田) 2-33-6 (61)
5. (小林, 乗松, 斎藤, 武藤) 2-35-8 (53)
6. (青木, 中井, 藤本, 黒井) 2-36-6 (59)
7. (青木, 中井, 藤本, 神保) 2-37-6 (59)
8. (中井, 丹羽, 藤本, 落合) 2-40-2 (59)
9. (菊田, 中井, 落合, 神保) 2-42-3 (60)
10. (中島, 藤村, 桂川, 滝川) 2-42-36 (56)
11. (滝川, 中井, 吉田, 川合) 2-42-7 (58)
12. (滝川, 桂川, 野本, 林) 2-42-74 (57)
13. (東原, 塩川, 大貫, 中町) 2-43-0 (49)
14. (菊田, 丹羽, 中井, 稲垣) 2-45-8 (60)
15. (滝川, 藤村, 桂川, 林) 2-45-9 (56)

**400m 個人メドレー**

1. 青木愛子 6-31-7 (60)
2. 大貫直子 6-44-2 (49)
3. 滝川美香 6-51-4 (57)
4. 藤本淳子 6-52-4 (59)
5. 中井玲江 6-59-0 (59)
6. 小林真佐子 6-59-5 (54)
7. 木下知見 7-01-2 (60)
8. 薩袋紀子 7-03-7 (44)
9. 吉田雅 7-12-9 (59)
10. 斎藤かおり 7-17-1 (52)
11. 菊田京子 7-22-0 (60)
12. 和田順子 7-24-8 (61)
13. 井上道代 7-28-20 (55)
14. 神保美佳 7-30-9 (59)
15. 平沢美咲子 7-36-1 (61)

## 各人最高記録

| Freestyle | 50    | 100    | 200    | 400     | 800     | 1500     |
|-----------|-------|--------|--------|---------|---------|----------|
| 3年♂尾上(政)  | 28-1  | 1-02-6 | 2-15-0 | 5-01-6  |         | 21-01-6  |
| 尾上(健)     | 28-9  | 1-05-0 | 2-33-4 | 5-34-1  |         | 25-14-2  |
| 高 橋       | 30-0  | 1-08-9 |        |         |         |          |
| 荒 木       | 30-3  | 1-06-3 | 2-29-7 | 5-32-0  | 11-37-2 | 24-37-56 |
| 岩 坂       | 29-0  |        |        |         |         |          |
| 横 山       | 30-1  | 1-08-1 | 2-35-0 |         |         | 26-35-9  |
| ♀藤 本      | 33-6  |        |        |         |         |          |
| 2年♂矢 島    | 27-97 | 1-03-0 | 2-19-9 | 5-02-3  | 10-43-9 | 21-15-1  |
| 柿 沢       | 30-1  | 1-11-9 | 2-37-  | 5-47-9  | 11-46-8 | 25-10-7  |
| 高 岸       | 31-6  | 1-13-3 | 2-39-3 | 5-38-9  | 12-06-8 | 24-31-3  |
| 魚 地       | 27-8  | 1-03-6 | 2-23-4 | 5-14-3  | 11-07-3 | 23-26-7  |
| 神 田       | 29-9  | 1-10-3 |        |         |         |          |
| 久保田       | 28-5  | 1-04-6 | 2-26-1 |         |         | 22-36-8  |
| 山 本       | 29-5  | 1-07-4 | 2-32-6 | 5-27-3  | 11-19-0 | 24-03-0  |
| 横 山       | 32-   | 1-14-  | 2-55-  |         |         |          |
| ♀高根沢      | 36-9  | 1-25-9 | 3-12-5 | 6-56-0  | 15-51-5 | 29-33-2  |
| 平 沢       | 36-7  | 1-23-9 | 3-11-6 | 6-59-3  | 15-34-0 | 29-16-0  |
| 1年♂安 田    | 34-8  | 1-21-3 | 3-04-2 | 6-44-0  | 15-49-8 | 30-33-9  |
| 瀬 戸       | 32-7  |        |        |         |         |          |
| ♀和 田      | 34-1  | 1-17-4 | 2-54-7 | 6-24-86 | 15-36-2 | 29-15-5  |
| 長谷川       | 36-2  | 1-22-  | 3-09-3 | 6-35-3  |         | 30-09-6  |

|          | Back Stroke |         |          | Brest Stroke |         |          |
|----------|-------------|---------|----------|--------------|---------|----------|
|          | 5 0         | 1 0 0   | 2 0 0    | 5 0          | 1 0 0   | 2 0 0    |
| 3年♂尾上(政) |             | 1-2 0-1 |          |              | 1-1 2-2 | 2-3 8-50 |
| 尾上(健)    | 4 0-1       | 1-2 7-1 | 3-1 0-4  | 3 5-8        | 1-1 7-3 | 2-4 3-46 |
| 高 橋      | 4 3-1       | 1-3 4-0 |          |              |         |          |
| 荒 木      |             |         |          |              |         |          |
| 岩 坂      | 3 4-5       |         |          |              | 1-2 4-6 |          |
| 横 山      |             |         |          | 4 1-3        |         |          |
| 2年♂矢 島   | 3 5-7       |         |          | 3 8-5        |         | 3-0 8-3  |
| 柿 沢      |             | 1-2 8-  | 3-1 1-   | 3 6-6        | 1-1 9-4 | 2-5 3-3  |
| 高 岸      | 4 1-        |         |          | 4 1-3        | 1-3 6-3 | 3-2 0-3  |
| 魚 地      | 3 7-7       | 1-2 6-0 | 3-0 6-7  | 3 8-6        | 1-2 9-6 | 3-0 9-6  |
| 神 田      |             | 1-3 9-  | 3-3 5-6  |              |         | 2-5 9-8  |
| 久保田      | 3 6-5       | 1-1 7-3 | 2-4 7-0  | 3 7-1        |         |          |
| 山 本      | 3 9-1       | 1-2 8-8 | 3-0 7-0  | 3 9-3        |         | 3-2 1-9  |
| 横 山      |             |         |          | 3 7-16       | 1-2 0-2 | 2-5 4-2  |
| ♀高根沢     |             |         |          | 4 8-6        | 1-4 7-6 |          |
| 平 沢      | 4 7-8       | 1-4 0-  | 3-3 8-3  | 4 8-0        |         |          |
| 1年♂安 田   | 4 4-        | 1-3 8-  | 3-3 1-58 | 3 9-7        | 1-2 6-8 | 3-0 8-1  |
| 瀬 戸      | 4 3-3       |         |          | 3 8-4        |         |          |
| ♀和 田     | 4 2-1       | 1-3 1-8 | 3-2 3-9  | 4 5-3        | 1-3 6-8 | 3-3 3-7  |
| 長谷川      | 1-0 2-1     | 2-1 0-4 |          | 4 3-6        | 1-3 4-2 | 3-2 4-4  |

|          | Individual Medley |         |         | Butterfry |        |        |
|----------|-------------------|---------|---------|-----------|--------|--------|
|          | 200               | 400     | 1600    | 50        | 100    | 200    |
| 3年♂尾上(歛) |                   |         |         | 31-5      | 1-12-8 |        |
| 尾上(健)    | 2-48-7            | 5-59-6  |         | 32-4      | 1-18-0 | 3-16-2 |
| 高 橋      |                   |         |         | 36-0      |        |        |
| 荒 木      | 3-01-8            |         | 30-10-8 |           |        | 3-20-2 |
| 岩 坂      |                   |         |         |           |        |        |
| 横 山      | 2-58-9            |         |         |           | 1-26-5 |        |
| 2年♂矢 島   | 2-39-6            | 5-49-23 | 27-05-8 | 32-37     | 1-14-9 |        |
| 柿 沢      | 2-55-9            | 6-30-2  | 30-05-6 |           | 1-38-3 | 4-09-5 |
| 高 岸      | 3-02-             | 6-35-5  | 30-03-0 | 35-0      | 1-21-7 | 2-59-4 |
| 魚 地      | 2-57-8            | 6-29-5  | 29-49-3 | 35-       | 1-25-2 | 3-27-5 |
| 神 田      | 3-01-4            |         |         | 35-6      |        |        |
| 久保田      | 2-43-31           | 6-08-3  | 27-01-2 |           |        | 3-13-2 |
| 山 本      | 3-13-0            | 8-22-1  | 30-29-5 | 39-3      | 1-42-9 | 3-32-9 |
| 横 山      | 3-20-2            | 7-01-0  |         | 40-2      | 1-29-9 | 3-27-6 |
| ♀高根沢     |                   | 7-47-8  | 36-22-3 |           |        |        |
| 平 沢      | 3-27-4            | 7-36-1  | 36-36-4 | 45-9      | 1-47-1 |        |
| 1年♂安 田   | 3-13-             | 7-25-9  |         | 44-       | 1-43-8 | 3-57-1 |
| 瀬 戸      |                   |         |         | 40-2      |        |        |
| ♀和 田     | 3-13-0            | 7-24-8  | 32-59-6 | 41-7      | 1-34-4 | 3-32-5 |
| 長谷川      | 3-38-7            | 8-02-8  | 42-32-7 | 49-9      | 1-47-6 | 3-59-7 |

## コーチ評

上でのステップに充分なっただろう。今後のコーチ陣に期待したいと思う。

シーズン中私を信じてついて来てくれたサブ・コーチ、コーチ補佐の先輩、3年を始めとする現役諸君、そして私をここまで育ってくれた諸先輩方にこの場をかりてお礼の言葉を申し上げたい。

「ありがとうございました」

1986年・秋、シーズン・オフ

## 個人評

### 【角田篤機】

3年

**尾上政美** 16校での優勝おめでとう。とても研究熱心で練習も意欲的に取りくみオフの間もスイミングで練習するなど今シーズンの君はとても輝いていました。試合では得点源として、FRの時もエースとして主将と供によくチームを引っ張ってくれました。都高校では残念な結果に終りましたが、このくやしさをバネにしてイン・カレ目指して頑張ってほしいと思います。3年間御苦労様でした。

**尾上健二** 尾上にとって今シーズンは最良の年ではなかったのではないか。3年目にしてFrでの歴代入り。200FRのAチームの座を勝ちとり200Brで歴代2位。16校では100Br決勝進出、得意の200Brでは3位入賞し、賞状をとるなど数えあげたらきりがありません。試合では得点源として政美と2人で都高プレス陣をよく引っ張ってくれました。今シーズン君が味わった気持ちを味わせてあげられる様なコーチになってほしいと思います。3年間お疲れ様でした。

## 【総評】

### ヘッド・コーチ 角田 篤機

シーズンを目前にして第1に考えていたこと。それは今迄(専任コーチ制)の良い所をそのまま残し、悪い所を改善する。そして史上最高のコーチ陣、現役陣と呼ばれることを目標とした。

そしてヘッドはコーチング全般、サブの中井はヘッドのバック・アップ。コーチ補佐である橋本・山下両先輩にはそれぞれ黒潮会・関東六校の運営と分業した為に、コーチに専念出来た事が成功の要因ではないか。

泳ぎ始めから中間テスト迄は一週間ごとにFr、Ba、Br、Bu、IMの順に泳力別で練習し、それぞれの最後に各種目の最長距離のレースを行った。そしてこれからという時期に流行性結膜炎で6月をほぼ棒に振ってしまった時は目の前が真暗になったが、新顧問の町田先生の尽力のおかげで例年通り強化練に入ることが出来た。

今年の特色として、専任コーチ制の廃止に供ない共通Menuによる全員練習、そして基本的にはPはFr、KはSI、CはIMで主将が中心となってMenuを消化していくことだろう。このことは詳細に別述したいと思う。そして、尾上(政)、尾上(健)、荒木の3年男子が練習にフル参加し、チームを引っ張った事も忘れてはならない。

横森・岩淵といった超スーパースターが抜けた今シーズン、16校や関六そしてリレーでの記録ダウンはまぬがれないだろうという声があったが、逆にそのことが現役・コーチ陣を奮気させたものと思われる。16校では男子9位、女子19位、関六では女子は優勝をのがしたものの男子優勝(3年連続)とここ数年と変わらない結果を残し、200FR、800FRでは歴代1位を打ち立てた。

個人の記録も良く伸びた。底辺が大巾にレベルアップしたのだ。去年の黒潮と今年の黒潮の歴代を見比べれば一目瞭然である。

今シーズンを振り返って自己採点で90点はあげられると思う。都高がこれから強くなつて行く

あなたもQ.G.、あなたが来シーズン、コーチになっている姿を想像するとおもわず顔がにやけて来てしまいます。3年間御苦労様でした。いつまでも愛子らしさを失わないで下さい。

**丹羽晶子** 今シーズンはMRのリレー用員として頑張りました。やはり歴代1位は頼りになります。外見と性格のギャップをなくして女らしくなって下さい。くれぐれも小指を落とさない様に(?)。

**落合弘美** 今シーズンもお嬢様健在、関六では得点源として良く頑張りました。来シーズンコーチになったら、パワフルでスピードのあるお嬢様的泳ぎ(?)をする選手を育てて下さい。それとコーチにも腹筋は必要なのでオフの間、勉強の合間に足をあげて「ハトボッポ」を歌って鍛えて下さい。

**菊田京子** 小さな体に大きな力、あなたもリレー用員として良く頑張り、チームに貢献してくれました。新しく面白い少女マンガを見つけたら貸して下さい。私もオフの間に探しておきます。

**藤本淳子** 16校に於、3年目でやっとコンソレーションに残ることが出来ました。しかし2種目ともコンソレのタイムを予選で出しておけば決勝に残れた。予選6位の子は関六で勝ったのだから少し、惜しい気がします。しかし少ない練習量にも関わらず、コンスタントにBest近いタイムを維持し、練習に来ればきつい練習も全てやってしまう精神力は素晴らしいと思います。来シーズンは鬼コーチになって愛子と共に現役にAtsu Speをやらせて下さい。「サインはVよ 永遠に」

#### 稻垣・木下・河野・高橋・和田

関6での雑用、手伝い御苦労様でした。主催校のOBとしては非常に助かり、有難く思っていますが、ヘッド・コーチとしては泳いでほしかったし、泳いでくれていれば2年連続アベック優勝も出来たはずです。何しろあなた達は去年、女子初優勝の原動力だったのだから……。その事を考えると、とても残念に思えます。

**高橋昌一** 君は今シーズン勉強に重点を置きながら、出来る範囲で練習し、特に午前練の時、ゼミが終ってから午後1人で黙々と練習していた姿が印象的です。そのかいあって50Fr 29秒台、100Fr 1分8秒台のBestを出しました。良くやったと思います。大学に入ったら約束通りタッチ板を作つて都高のプールに寄附して下さい。

**荒木憲治** 1・2年の時伸び悩んだ分を今シーズン爆発させた様に良く伸びました。100で5秒、200で10秒は見事です。200Buで歴代に入りFrも歴代全距離制覇そして800FRでは第5の男として久保田等が調子悪い時に良く頑張ってくれたと思います。8月後半に伸びが止ってしまった時がありましたが泳ぎ自分で改良する事が出来なかったためです。この経験はコーチになった時大きな意味を持ちます。コーチになるまでに究明して下さい。

**岩坂 順** 君は他の3年男子と比べ積極的には練習をしませんでしたが、400MRのBaはコンスタントに実力を発揮してくれました。そしてムードメーカーとして、試合では応援団長としてチームを引っ張り、貴重な戦力になってくれました。公約通り来シーズン・コーチになって16校で決勝に残る様なBaの選手を育てて下さい。

**横山 誠** 強化練まで風邪や怪我などでろくに練習出来ませんでしたが、その後良くふんぱり、100Frは惜しくもだめでしたが200Frで念願の歴代に入り、200IMでも3分切るなど良く頑張りました。これからもマコト・ベースで水泳部のムードを明るくして下さい。

**青木愛子** いつも明るくて、早口の愛子。あなたがプールに来るとプールサイドが華やかになります。コーチの顔を和ませてしまいます。16校は3年間で最低の結果に終わり、関六や下馬などでも優勝を味わすことが出来ず非常に申し訳なく思っています。しかし、リレーなどではまり藏と共に活躍し、いざという時に頼りになる人でした。さすが歴代1位保持者、あなたなしでは関六の200FR優勝はなかったでしょう。早いもので来年は

いう、目標を達成するまであきらめない貧欲差も素晴らしいかったです。オフの間にスピードの出る泳ぎを身につけ大きな体をいかしたダイナミックな泳ぎで来年の16校では決勝目指して頑張って下さい。

**魚地俊光** 無謀とも思えるパワー・スイムであなたは今シーズン良く伸びました。あなたの伸びがなければ、200FR・800FRの歴代1位は考えられません。ターンの技術も格段に進歩し、スタート直後の浮き上りもチームピカイチです。何といっても水の上を滑って行く様な止まらない泳ぎが好結果を得たのでしょう。100mで1分切るのも夢ではありません。もっと欲を持って来シーズン猪木の様な「燃える闘魂」となって燃えつきてほしいと思います。

**神田知秀** 強化練の頭に退部騒動があったにもかかわらず200Brで3分を切ったのは見事でしたがそれまでの好調さを考えると残念な気がします。来シーズンはあなたにとって本当の意味での2年目のシーズンではないでしょうか。38期全員で安田を盛り上げ、英治や俊平と共に都高プレスト陣を繁栄させて下さい。

**久保田文彦** 4種目とも美しい泳ぎながら力強さがありません。魚地の無謀さを少しわけてほしい様な気がします。練習中は去年と逆に積極的に取り組んでいましたが、遅刻や欠席が多かったのが残念です。S1をBaにして歴代の上では上位にランクされましたが、16校では歯が立たないタイムです。Frも8月中旬から伸び悩みました。しかしFR歴代1位のMemberとして、そして16校に於IMで得点源として頑張りました。来シーズン、久保田の本当の力を発揮して、本当の姿を見てほしいと思います。

**山本忠義** シーズン・オフに骨折し、肩がろくに廻らない状態にもかかわらず、努力し、チョイスのときにもFrで泳ぎつづけた結果、専門の長距離では上位、しかも全距離制覇、他の種目も良く伸び、一番苦手だったBaも200で歴代に0.4秒

**神保美佳** 最後にあなた。今シーズン、プールサイドで影も形も見た記憶が全くありません。たとえ泳がないにしても他の3年の女子の様に試合に応援に来たり、紅白戦に出てくれても良かった様な気がします。

## 2年

**矢島次雄** 今シーズンの私のコーチング、つまり全員で自主的にMenuをこなすという練習形態では主将の存在が大きく物をいいます。そして次雄はその役目を良くこなしたと思います。御苦労様、その反面、選手としては伸び悩んでしました。去年はIMをS1にして練習していたため、力みのないFr、タイミング時代のBestを大幅に縮めたものの、今年はS1をFrの短距離にしたため、力ませなメリハリのない泳ぎになってしまいました。あなたのKは天下一品です。リカバリーで力を抜くのと、肘をまげしっかり中をかく。そしてプレス時に泳ぎが止まるという最大の欠点をなくせば来年大幅にタイムが縮むでしょう。そのためにはオフの間、リラックスした大きな泳ぎを身につけ春先から強化練までIM、7月いっぱいLongの練習をみっちりやる事が必要です。1年間、主将として良く頑張りました。来シーズンも期待しています。

**柿沢英治** 副主将として頑張り、800FrやIMで歴代に乗るなど活躍した反面、専門のプレストは尻すぼみな結果に終りました。一つの泳ぎが完成に近づくと同時に記録は縮みますが、停滞したら泳ぎを改良する時期なのです。運がいいのか、悪いのか、来年から平泳ぎのルールが変わります。もう水没の事を気にしなくてもいいのです。来年16校で活躍するにはオフの間に新泳法を習得しなくてはなりません。第2の尾上目指し頑張ってほしいと思います。

**高岸銳治** S1をFrからBuに変えFrでもきついMenuを良く頑張ってこなしました。400Frや400IMでも歴代にのり、16校は予選13位、下馬では4位などもう一息でしたが関六優勝は立派です。そして10月、最後の最後に3分を切ると

## 1年

**安田理恵** 君は春先から期待されていたが、なんとなくシーズンが終ってしまった様な印象が強い。それは泳ぎがなかなか改善されず、1年なのに大Bestを出した事がなかったためと思われる。注意しても「出来ません」とか「自然にこうなるんです」という答が多かった様に思われます。体がかたいなら家で毎日柔軟体操をやるなど努力下さい。体がかたいために無駄な力を沢山使っています。だから後半流れてしまうのです。もっとリラックスした効率の良い泳ぎを身につけ俊平の様にジャンプ・アップ下さい。来シーズンは主将なのだから練習中も試合もチームをグイグイ引っ張らなければならぬのです。頑張りなさい。

**瀬戸剛士** 中学時代、素晴らしいBestを持ちながら病気や怪我でシーズンを丸々様に振ってしまったのが残念です。紅白戦の泳ぎを見た限りでは4種目とも伸びそうな気がします。来年、学年は2年ですが1年と同じ様な気持ちで頑張ってほしいと思います。健康管理や体調を整える事は運動をやる者にとって最低限やらなくてはならない事で、コーチに対してのマナーです。安田を助け頑張って下さい。

**和田順子** 1年生としてまずまずのタイムを残しましたが、春先と比べ小技以外、技術が上がらなかつたために大巾にタイムが縮んだりしなかつたのではないでしょうか。水泳経験が長いとカールスやスキップスのときになんとなくこなしてしまう。つまり技術アップの練習の時に集中出来ていないわけだ。体が小さいのは仕方がないが、小さければ小さい程効率の良い泳ぎをしなくてはならない。まだまだ伸びるだろうが欲が無くなったらおしまいだろ。頭は小さくせに試合などで顔の広さは脱帽する。

**長谷川みか** 水泳初心者ながら良く頑張った。専門のBrはまあまあ満足出来るのではないか。それにFrも良く伸び16校では400FRのメンバーを勝ち取ってしまったのにはビックリした。みかの場合技術はもちろんだが、体の線が細すぎるの

まで早くなりました。オフの間、去年の分も泳ぎ、来シーズン忠義本来の実力を発揮してほしいと思います。ターンも上達しましたがまだ及第点です。小技も研究して下さい。

**横山俊平** 春先に、チョコマカとした、しかも水没してしまう様な泳ぎをしていましたが、体の小ささを感じさせないダイナミックな泳ぎを身に付けることが出来ました。それは練習中、コーチのアドバイスを信じ忠実に意識して泳ぎを良くしようとを考えながら泳いだ結果です。去年、歴代に入れなかった君が200Brでベスト10入りしてしまうと誰が予想したでしょうか。来シーズン、Brの泳法ルールが変わるのは知っていると思います。つまり、思う存分水没してかまわないので。しかし泳ぎの基本は変わりません。他のブレ陣と併に16校の上位をねらって下さい。そしてFrをBrより早くしてから引退下さい。

**平沢美咲子** 共通メニューや全員練習で一番きつかったのはIMをS1に選んでしまったあなたではないでしょうか。男子がFrでやってもきつい事を良く頑張ったと思います。念願の歴代に入ったのも努力の結果です。そして3年女子がいない時に1年女子をまとめ引っぱるなどとても先輩らしかったと思います。あなたはまだ伸びる要素を沢山もっています(つまり泳ぎがヘタです)。そして女子の人数が非常に少ないのです。来年はあなたが真の女子のリーダーとして頑張ってほしいと思います。

**高根沢洋子** 今シーズンは合宿まで家庭の対合ではほとんど泳げなかったのが最後まで尾を引きました。とても研究熱心で本などを良く読んでいましたが研究量と練習量の差が大きすぎ少ない練習時にいろいろな知識が頭をかけ巡り、集中できなかつたことも伸びなかつた要因ではないでしょうか。あなたも神田と同様来シーズンが本当の2年目のシーズンです。美咲子と共に和田や長谷川を助けてあげて下さい。

3年目のシーズンを後輩に伝えていって下さい。

**高橋昌一** 勉強に力を入れこんでいた昌一もやっぱり都大附の水泳部、少しでも泳いでくれてうれしかったです。欲を言えばもう少し早めに練習を始めていたら、それなりのタイムは出たと思いますが、念願の100Fr 1分10秒、50Fr 30秒を切れて練習量の割には満足のいく結果が得られたのではないしょうか。あなたは何に関しても、前向きでいらっしゃるけんめいでした。練習を始めるのが遅かったのに、みんなと一緒に泳げたのはあなたのいっしょうけんめいさと良き仲間がいたからです。これからもこの仲間を大切にし、何に關してもいっしょうけんめいな昌一でいて下さい。

**荒木憲治** 勉強を犠牲にしてよく部活に出てくれました。あなたは3年生でも遅刻・早退が少なく、1、2年生をひっぽってよく泳いでいました。その規則正しい生活態度はみんなのよいお手本となっていました。さて、今シーズン振り返ってどうでしたか？ コーチ陣もびっくりする程よくのびて、Bestもたくさん出てうれしかった思い出はもちろんですが、その反対でいろいろと苦しかったことも思い浮ぶでしょう。苦しい時、どのようにして乗り越えたか、今シーズンだけでなく3年間体験してきたことを考え直しておいて下さい。指導者の立場に立ったときっと役に立つ思います。よいコーチになることを期待しています。

**岩坂 良** いつ泳いでもそれなりのタイムを出していたようですが、練習量の少なさはやはり体力にひびいていたようですね。通学時間がかかったり、勉強の事でたいへんだったとは思いますが、他の3年生と共に都立大附水泳部のよい戦力になってほしかったです。プールに来るとあなたを先頭におふさけが始まることが多かったけれど、よく言えばそれは部内を明るくしていたことです。泳がなくても3年生としてそういう努めをもっともつてほしかった。3年目で泳がなかった分、OBになつたら練習して黒潮にのる「岩坂」の名を増して下さい。

でもっと筋肉をつけて力強い泳ぎを習得してほしい。そして安田や和田と共に新1年生を引っ張って行ける様になること。

#### サブ・コーチ 【中井玲江】

**尾上政美** 今年もいっしょうけんめい泳ぎました。まずは歴代1位おめでとう。3年目ということで自分なりに練習していたと思います。Br以外にも、各種とてもよく伸びました。都立大附の第一人者として一番活躍していた年となったことでしょ。しかし100%力を出しきって泳いだ試合はそんなに多くなかったのではないかですか。くやしかったり、自分が情けなくなったりしたことがあったと思います。3年目にそういう気持ちに会えたということはコーチになった時に、よいアドバイスとして思い出せるだろうと私は思います。すばらしい仲間とめぐり合い、そしてあなたの大きな努力がプラスされてうらやましい程素敵な3年間がおくれたのではないかと思います。あなたが経験した3年目のシーズンをこれから3年生になる後輩たちにOB最初の仕事として伝えて下さい。P.S一政美が思ったより後輩に親切なのにはびっくりしました（特に女の子に）。

**尾上健二** 本当によくやりました。からだの具合いが悪いことが多かったのでそれだけが残念でした。今シーズンのあなたの努力は誰が見たって文句は言わないでしょう。勉強との両立はとても大変そうでしたが、大変でもいっしょうけんめいやったから、大きなものが得られたのですね。十六校のことや歴代2位になった時はコーチ陣もすごくうれしかったです。それ以上あなたの心にたくさんの喜びや感動が残ったでしょう。あなたの姿を見て今シーズン過した後輩たちは、3年生になつても部活に出れる、Bestが出来る、というのがひしひしと伝わったと思います。あなたがそのような姿を示したというだけで、水泳部に大きなものを与えたと思いますが、政美同様すばらしい

は水泳部のことで追われることになると思います。大学生活が充実していれば水泳指導にもよい影響が出るでしょう。忙しい中でどれだけのことができるか、試してみて下さい。がんばれっ！

**丹羽晶子** もっと、もっと一緒にプレストについて語りあいたかったです。2年目にすばらしい記録を出したあなたを3年目泳がせることができなかつたのはコーチの責任であったと思います。ラストのシーズンをどういう思いであなたが過したのかはわかりませんが、大学生になつたら歴代1位のいじとわざをみせて、自分よりもよりすばらしい選手を育てて下さい。楽しみにしていますよ。

**和田小雪・河野道子** 大会の時などのお手伝いどうもありがとうございました。2人とも水泳以外で充実した生活を送つた様ですね。水泳部にばかりいいると悪い所も良い所もみえなくなりがちです。3年目のシーズンを少し水泳部と離れて過したあなたたちはその辺がみえたのではないか。そのような目を持ったコーチもとても必要だと思います。2人とも短い大学生活を有効に使って、その上で水泳部のために、かわいい後輩のために良いコーチを目指して下さい。

**木下知見** 夏休み中も随分忙しかつた様ですね。あなたが部活に出てくれれば助かるとは目に見えしていましたが、勉強のことを考えるとどうも誘いにくかったです。3年間、水泳のこと、ピアノのことなどたくさんのことで悩んだと思います。苦しかつたこともあったと思いますが、悩んだことで違う面でより大きくなれたのではないかでしょうか。これからも増え忙しくなつて行くと思いますが、忙しい中でも何かできることはあると思います。水泳部で学んだことを、後輩たちのためになるよう伝えていって下さい。

**高橋朝子・稻垣香居** 関六などの時はたいへん助かりました。2人にはこまごまとした仕事をたのんでしまいました。勉強の骨休めに時々泳ぎに来ていた様ですが、そんな時にあらためて水泳部の良さが見えたのではないかでしょうか。3年間であ

**横山 誠** あなたもよく努力した1人でした。午前練が多い中ゼミで午前がつぶれていても午後プールに来て黙々と泳いでいる姿は、さすが3年生だなと感心していました。他の選手とくらべるとやっぱり練習量が少なくなつてしまい、体力がついていかなかつた様ですね。体力を維持することは水泳はもちろんの事、勉強・仕事をしていくにあたつてもとても大切なことです。泳ぐだけでは体力維持できるものではないということを頭に入れておいて下さい。3年目泳いだことであなたの中になにか残つたのではないかですか？ 思いやりのある良いコーチになりそうですね。

**青木愛子** 気がついたらプールに来ていた様ですね。あなたが来るととても明るくなつたと思います。十六校ではとてもくやしい思いをした様でしたが、3年生でメインの大会、十六校に出たことは、コーチになった時の大きなプラスに絶対なります。愛子が苦しんだ分後輩に良い思いをさせてあげて下さい。ごくろうさま。

**藤本淳子** 3年間通してよく活躍しました。いつも努力をしていた姿を思い出します。3年目になって少々涙もろくなつたようですね。でも素直に感情が出来ることは素敵だなって、あなたを見て思いました。ニコニコしながらスゴイことをするコーチになりそうです。水泳の勉強をして、これからも水泳部でたくさんの良い思い出をつくって下さい。

**落合弘美** 予想以上に部活に出てくれましたね。うれしかつたですよ。ひろみはいつもか弱そうな雰囲気がただよっていたように思います（見ている限りでは……）。コーチになつたら、強い選手を育ててあなたを育てくれたコーチが行ったおそらくメニューワードを味わわせてあげて下さい。

**菊田京子** よく細かい仕事をしてくれました。小さい体で病気あまりしないで3年間を過したようですね。あなたは高校生活の多くを水泳部で過したことでしょう。大学生になつても2年間の  $\frac{1}{4}$

さい。難しい役割りだからこそきちんとしていてほしいです。副キャプテンがらくな役割りではないという事を後輩に伝えて下さい。さて、今シーズン記録のはうはどうでしたか。プレストは3年生の2人を頭に競争率が高かったですね。英治本来の力を出しきれたでしょうか。満足しているでしょうか。私としては満足してほしくないです。これからはプレストも泳ぎ方がどんどん変わっていくでしょう。町田先生に聞いたり、本をよんだりしてたくさん勉強・練習して下さい。3年生は忙しくなるのがあたりまえです。その中でどうあなたが生活していくかで記録も左右されるでしょう。プレストの頭になって後輩をどんどんひっぱっていくことを期待します。がればれ！

**高岸銳治** 今シーズンはすっかりバタフライ選手になりましたね。あなたはバタフライをやったことでいろいろと花開いたようです。バタフライの選手としては、今シーズンは1年目。ということは来シーズンは2年目でメインの年になりますね。あなたのことですからもう泳ぐ気になって燃えているでしょう。からだの大きさをフルに活用して来シーズンも記録に挑戦して下さい。十六枚のコンソレや決勝も、もう手の届く所までけています。3年目に泳いだ政美たちのように、あなたも今シーズン以上にすばらしいものを得て下さい。練習中は熱意が伝わってくるくらいがんばっていました。声もよく出ていたようです。来シーズンも水泳部を活気のある部にして下さい。

**魚地俊光** 私は自分が現役の時とコーチになってからとで、あなたに対する感じ方が変わりました。現役の時はあなたが何を考え、何を目標にして泳いでいるのかよくわからなかったです。それはあなたが無口だし、私も同じ現役だったからでしょうね。でも今シーズンはとても意欲的に泳いでいる姿が見られました。Bestが出てとても喜んでいる姿を見てなぜか安心しました。大会や午前練の時などは随分苦労して出てきていたようですね。たいへんだったとは思いますが、いっしょうけんめい練習しようとしていた事がコーチにもよく伝わったし、自分にも何かが残ったことでしょう。

なたがたが得た事を大切にして、多くの良き仲間と共によりよい水泳部になる様努めて下さい。

**神保美佳** 1回も顔を見せないでさみしかったですよ。来シーズンは泳ぐことが大好きな「ボチ」に戻って下さいね。

**矢島次雄** 顧問の先生がかわり、コーチの数は少なく、関六や結膜炎事件など、本当にいろいろとあったシーズンでした。そのために悩んだりしていたようでしたね。その度自分なりに随分考えて行った事が多かったと思います。「練習をする」という事を第一にし、なるべく部員に迷惑をかけまいとしていたあなたはとても立派だと思いました。そのような面で泳ぐ事以外にたくさんの事があつたみたいへんだったと思います。3年目はキャプテンという荷物をおろして自分型の練習ができるでしょう。今シーズン満足していない分を自分の努力次第でどうにもできるでしょう。水泳に関する知識は私達が現役のときより何倍も知っていると思います。それを頭の中だけで理解して終りにしてしまうか、それとも実際からだで試して体験するかはあなたのやり方です。冬の間陸トレもはじめにやっているあなたを見れば何も心配はないと思えますが先輩方をみならって、勉強も水泳もがんばってほしいと願いたいです。そして水泳部を広い目で見つめ直し、後輩と話す機会をもって自分の失敗したこと、成功したことなどたくさん教えてあげて下さい。39期は部員も少なくキャプテンはあなたよりもっと重い荷物をしょわなくてはいけなくなるかもしれません。縁の下の力持ちの役割りで見守って行くことが38期のキャプテンとして行うことではないかと思います。泣いても笑ってもあと1回限りのシーズンです。自分の目標に達せる様突進して下さい。キャプテンごくろうさまでした。

**柿沢英治** 副キャプテンというのは、出しゃばってはいけないし、何か手伝わなくてはいけないしと難しい立場だったと思います。いざという時にキャプテンの良き相談相手になっていたか、キャプテンの代價になっていたか考えなおしてみて下

**山本忠義** 今シーズンはあなたもとても成長しました。ロングの選手が少ない中、1人でもよくがんばって泳いでいました。春先さはまだ肩の調子が悪かった様で心配でしたが、私の心配とは裏はらにすばらしい伸びを見せました。これは、あなたがなんらかの努力をしたからですよ。ロングを泳ぎたがる子は数少ないけれど、あなたが身をもって知ったロングの素晴らしいところを後輩に伝えましょう。練習態度や声を出すことを見ても水泳部における忠義という位置がハッキリしたようでした。これからは練習量がどうしても少なくなりがちなのでロングもいいけど50Mや100Mでも歴代をあげていって下さい。やる気をまたみせてね。

**横山俊平** 他のプレストの選手とくらべるとからだが小さいあなたでしたが、誰にも負けないくらい大きな泳ぎができるようになりましたね。水の中から見ていると本当によく伸びて泳いでいるのがわかりました。プレストは泳ぎ方が難しいですよね。難しいからこそ考える価値があると思います。3年目は毎日、毎日泳いでいるわけにもいかないでしょう。泳ぎ方をよく考えて自分のやり方でやってみて下さい。英治や神田、また安田たちとも話あってみても良いと思います。身の周りにあるもの、身近にいる人をうまく利用して英治たちと共にプレストのトップを最後までつっぱっていって下さい。

**平沢美咲子** 女子4人をよくまとめていると思います。ごくろうさま。練習態度においては時々コーチに不服のありそうな顔で泳いでいましたね。いやな気持ちで泳ぐより「みんなについていこう」「やるだけやってみよう」という気持ちで練習した方が同じ練習をしていても後に得るものがあるのではないかと思いました。女子が少ないのでやりにくいこともたくさんあったでしょう。3年生になるとまた新しい後輩が入ってくると思いますが、あなたが新入生として入ってきた時には女子の先輩が14人もいたのですよね。来シーズン入ってくる子は4人しかいないのです。でもあなたが後輩と話す機会をもって練習にも出てくれれば、順子やみかには心強いし、4人でもしっかりやっ

タイムも良いものが出て、同輩・後輩はもちろん、先輩たちのよきライバルにもなっていました。冬の間、次雄と共に陸トレをしている姿を見たけど、何に関しても「体力」は重要なものになります。あなたは他の人より体力的には心配はいらぬかも知れませんけど、3年生になっても勉強するにも、もちろん泳ぐにも今シーズンのようなパワフル魚地でいてほしいです。

**神田知秀** やっぱり休部期間が残念でした。春先からすばらしい伸びを見せていました。だれもがあなたに期待し、プレ陣はあなたを恐れていました。休んでしまって一番悲しかったのはあなただと思いますが、数日泳がなかつたために他の選手と体力的に大きな差を生じてしまったことがよくわかったと思います。来シーズンは今シーズンの変わりに少しでも多く泳いでほしいです。このままOBになってしまってはもったいないですよ。3年目は2年目より勉強などで泳ぎにくくなるでしょう。だから練習のコツ、泳ぎ方などに工夫して能率の良い練習方法を見つけて下さい。現役がおわってからでは後悔してもしょうがないですよ。

**久保田文彦** 中学の時のあなたはサッカーをしている印象が強くてどんな泳ぎ方だったか全く覚えてませんでした。昨シーズン、今シーズンと見ていてどの泳ぎもまとまっているなと思いました。大会の時など思わずところでミスが出てしまった様だけど、やっぱり中学からの後輩ということがあってか、「久保田ならいまにすごいことをやってくれる」といつも思っていた様です。昨シーズンよりは随分泳ぐことに意欲的になった様ですが、あなたはいっしょけんめいやっていてもなんとなくやっている様に見られがちだったのかもしれません。3年目ちゃんと泳げば、きっともっとよい記録が出ると思います。オフの間にあなたが真面目に陸トレをしている姿はあまり想像できませんが、シーズンに入ったら、もちろんセンスでもう一度水泳にかけてみてほしいです。

下さい。がんばるのですよ。

**和田順子** 小さな身体、かすれた声でよく泳ぎました。ケガや病気がちょっと多かったね。2年目は誰にも甘えていられません。健康は自分自身で確保して下さい。Bestを出すも出さないもまずは健康が第一です。皆勤賞目指して泳ぎましょう。フリーがメインでしたが他の種目にも苦手意識をもたずにどんどんトライして下さい。身体が小さくたって努力次第でまりセンパイの様に大きく泳げるようになるぞ。副キャプテンもしっかりつとめて下さい。

**長谷川みか** 細い身体、大きな目で、どの種目もだいたいこなしていた様です。春先きから4種目きれいに泳いでいましたが、身体にあわせてか泳ぎも少し細かったです。体力をつけて下さい。これはシーズンオフにどれだけ陸トレをしたか、どれだけ泳いでいたかで随分ちがうと思います。1年目の自分反省して、十分自分の力を出せる2年生へ成長して下さい。泳ぎ方を研究して意欲を出せば、プレスト歴1だって夢じゃないぞ。

**瀬戸剛士** 今シーズンはケガが足えなかった様ですね。泳げなくとももっと部活に顔を出して、私がコーチのうちに話がしたかったです。来シーズンは健康に十分気をつけて、1年の分もだれよりもがんばって下さい。またわからない事はどんどん聞きなさい。安田を縁の下の力持ちのように支えてあげなさい。39期4人一丸となって、進んでいくのですよ。

#### コーチ補佐【樋本 修】

**荒木憲治** 昨年に比べて、本当によく伸びた。練習も1、2年生以上にがんばって、その結果があらわれたのだろう。3年生としての風格もでてきてただ一言、"立派"でした。今度は自分が身につけた知識を生かして良いコーチになってもらいたい。

ていけるでしょう。あなたが来シーズン水泳部にとって必要になることは確かです。3年生としての立場をよく考えなおし、またまっ黒に日焼けしましょう。今シーズンはみさこはやっと伸びてきたところで終ってしまったので、来シーズンは伸びの続きを繰り広げて下さい。

**高根沢洋子** 欠席・遅刻の多いシーズンでした。シーズン中に引っ越しなどもあってたいへんだったのだろうとは思います、もう少し2年生らしい態度をとってもらいたかったです。あなたは泳ぎ方を知識的によく勉強し、本など読んでいました。特にバタフライには力を入れていたようですね。力を入れた分やはりバタフライは上手くなりました。しかし自分のものにするにはまだ泳ぎ足りないでしょう。3年目、1つの種目にしぶってもいいから何か目標をもってがんばってごらんよ。2年生のメインの年にやりきれなかった分、ばんかいしてほしい。そして美咲子と一緒に現役最後の努めを果たして下さい。

**安田理思** 今シーズンは1年生の男子1人ということで固くるしかったかもしれませんね。でもとてもよくがんばったと思います。特にシーズン後半の気はくはすごかったです。あなたの第一種目がプレストということで3年生に2人、2年生に3人も大型選手を控え、試合の時にはOPEN参加になってしまることがしばしばだったと思います。先輩の良い泳ぎ方をぬすんで、先輩のプレ陣を全員ぬかす勢いで歴代入りをねらって下さい。また、2年目という一番力の入れられる時期にあなたはキャプテンという役についたわけですが、キャプテンという名前に振りまわされないよう、しかしキャプテンという立場を忘れずに水泳部を支えてほしいと思います。キャプテンというのは「指導者」的立場に思われるがちですが、あなたは「指導者」ではなく「始動者」なのです。いろいろな活動を始める時のきっかけをつくる役です。1人でやらず、副キャプテンとよく話し合い、水泳部全員をうまく動かして下さい。声を出す体操を時間通り始める、すぐプールに入るなど、単純なことですが守られにくいことからはじめてみて

コーチ補佐 【山下元裕】

尾上政美 十六校優勝おめでとうございます。あなたにとって今年はいい年だったと思います。あなたの水泳に対する姿勢は、後輩に大きな影響を及ぼしたことでしょう。またチームの雰囲気もよくなりました。本当に3年間御苦労様でした。

尾上健二 本当に今年はいいシーズンだったね。念願の十六校決勝進出どころか、3位入賞してしまうなんて。苦しい練習をやってきたかいがあったでしょう。御苦労様でした。

荒木憲治 あなたの1年生の頃の泳ぎからは想像できないようなタイムの伸びでした。政美や尾上が目立ちがちだったけど、あなたの水泳に対する情熱はひしひしと感じました。きっとあなたは、いいコーチになってくれると思います。本当に御苦労様。

横山 誠 午前中ゼミに行って、午後1人で黙々と練習をしていたあなた。少し練習不足のようでしたが、満足のいくシーズンだったと思います。荒木同様、大変に伸びました。3年間御苦労様。

岩坂 領 もう少し練習に来て欲しかった。でも、あなたは3年生としての役割をしっかりとしていましたと思います。本当に3年間御苦労様でした。

高橋昌一 昌一は本当に勉強に打ち込んでいたと思います。少ない練習量ながら50Fr、100FrでBestを出すなど、さすが3年生というような場面を見てくれました。本当に御苦労様。

青木愛子 愛子がいるとプールサイドがにぎやかになり、周りの雰囲気が盛り上がりしました。きっと愛子は楽しいコーチになるでしょう。御苦労様でした。お弁当おいしかったです。

藤本淳子 今年の3年の女子の中では一番熱心に練習に来たのではないでしょか。その努力が十六校ではむくわれてうれしく思います。きっと

高橋昌一 今シーズンは勉強に専念したのだから、大学に絶対合格して下さい。来年はコーチがんばって下さい。

丹羽晶子・菊田京子 2人とも、今年は“選手”というよりは、“先輩”でしたね。来年は“先輩”というより“コーチ”としてがんばって下さい。菊田は特に、勉強して自信をもってコーチするように。丹羽は、君の専門種目であったBr以外もしっかりとコーチできるようになって下さい。

落合弘美 去年の約束を守って、結構練習に参加していましたね。特に今年は3年の風格もでてきて、どことなく先輩らしくて良かったです。でも、“お嬢様”的な雰囲気だけは変わりませんでしたね。

高岸聰治 高岸も荒木と同じく、今年はよく伸びました。特に200Buはすごかったです。当然、来年も泳いで16校で得点できるようにがんばって下さい。それと、今年の高岸は“自信”というものが顔にでていました。“自信”は大切なものだから、いつまでもその自信を失わないよう、練習に励んで下さい。

魚地俊光 去年もすごかったが、今年もすごかったです。この調子で来年もすごいと言われる様になって下さい。来年はどれか一つに重点をおいて練習するのもおもしろいと思います。

高根沢洋子 今年は病気や家庭の事情で思ったように伸びませんでした。同期の平沢にも差をつけられた様に思えます。このまま、悔いを残したまま終らないで、来年もうひと花咲かすようにがんばって下さい。

**魚地俊光** とうとう50Frで28秒をきりましたね、おめでとう。あなたのパワーには驚ろかされました。しかし余分な所に力が入っていて、そのパワーが効率的に使われていません。来シーズンは、いかに効率的に泳ぐか考えて泳いで下さい。そして来シーズンも栄光の“TSTジュニアアヘビ一級チャンピオン”的座を防衛して下さい。

**神田知秀** よく帰ってきてくれました。あなたは巨大な体をしていますが、それが充分に生かされません。もっと柔軟性を高めて、大きな泳ぎをしなさい。来シーズンは2年生のつもりで頑張って下さい。

**久保田文彦** Baに関してはKickが課題だと思います。きっとあなたには、カミソリ入りの手紙がリレーのメンバーから送られてくることでしょう。私は久保田のセーラー服姿が見たいです。

**高岸銳治** 今年のあなたの意気込みはすごかった。Buでどんな練習をしてしまうなんて、私は驚きました。来シーズンは400MRのBuの座を勝ち取ろう。関六での200Buの優勝おめでとう。

**山本忠義** 春先はどうなることかと心配しましたが、よく伸びました。あなたの良いところは、レースに対する集中力が持続できるということです。来シーズンもロングの意地を見せて下さい。

**横山俊平** あなたの「ちがいましゅよ」「あっとし先輩」という言葉が耳から離れません。来年は「さしそせそ」の練習をして下さい。泳ぎに関しては、もっとパワーをつけて下さい。

**高根沢洋子** 途中からの意欲は認めます。しかし、様々な理由はあるでしょうが、練習を休みすぎます。その意欲をどうして練習につなげられないのですか？来シーズンは2年生のつもりで泳いで下さい。

**平沢美咲子** 練習以外の面では先輩らしくなりました。しかし、練習ではどうでしたか？1年生の

まりさんは怖いコーチになってくれることでしょう。私は期待しています。

**菊田京子** 練習不足のせいか去年のような“小さな巨人”にはなれませんでしたね。それにもめげずあなたは熱心に練習していました。“瀬田中のオモチャコンビ”を永遠に続けていて下さい。

**丹羽晶子** 私はあなたにもう少し泳いで欲しかった。最後のほうには1分30秒台を出すなどして調子を取り戻してきたのに。もう少し早くから練習していたらと思うと残念です。コーチになったら歴代1位を塗りかえるような選手を育てて下さい。

**落合弘美** お嬢様の今シーズンはどうだったかな？きっとタイム的には不満足なものと思います。でも、3年目は泳がないと思っていた弘美が泳いでくれてうれしいです。コーチになったら第2のお嬢様、おぼっちゃまを育てて下さい。

**神保美佳** 私はあなたに対して腹を立ててます。ちゃんと学校には来ましょう、そして欲を言えば泳いで欲しかった。あなたは1、2年の練習で何を学んだのですか？逃げていては何も始まらないのです。

**稻垣香保・木下知見・高橋朝子・河野道子**  
関六で手伝ってくれて本当にありがとうございます。大変助かりました。

**矢島次雄** キャプテン御苦労様。よくチームをまとめてチームを盛りあげてくれました。あなたにとて今シーズンは決して満足のいくものではなかったと思います。それをエネルギーにして来シーズンも泳ぎましょう。そして十六校決勝進出を目指して下さい。

**柿沢英治** 今年は専門以外の種目（特にFr）が伸びました。来シーズンは第2の政美を目指しましょう。それからみかの積任はちゃんと取るように。

お手本となるような練習態度でしたか？シーズンオフの間によく考えて、来シーズンはいかにも3年生らしいという態度をとりましょう。

**安田理思** 1年生の男子が実質的には1人しかいなかったのによくがんばりました。来シーズンはキャプテンとしてチームをまとめていかなければならぬので、もっとしっかりするように。それから、クラスでは暗くてもいいから水泳部では明るくなって下さい。とにかく、来シーズン終わった時に「お前をキャプテンに選んでよかったよ」と言われるようにならんばって下さい。

**瀬戸剛士** 私の言いたいことは、とにかくケガをするなということです。

**和田順子** あなたのタイムは1年生としてはまあまあですが、テクニック的にはまだまだです。来シーズンはもっと研究して泳ぐように。練習に関しては、大変声が出ていたと思います。副主将として、安田と2人で今年よりも良いチームを作り上げて下さい。

**長谷川みか** 春先は、ちょっと練習すると気分が悪くなり、これからどうなるかと心配でした。しかし、夏本番になるとちゃんと練習についてこれるようになりました。あなたは、もっと太ってパワーをつけて下さい。そうすれば、Brの女子歴代1位の座も夢ではないと思います。

【参考】

水泳資格表／男子

| 年齢級 | 自由形     |        |        |        |         | 背泳ぎ  |        |        | 平泳ぎ  |        |        | バタフライ |        |        | 個人メドレー |        |
|-----|---------|--------|--------|--------|---------|------|--------|--------|------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
|     | 50m     | 100m   | 200m   | 400m   | 1500m   | 50m  | 100m   | 200m   | 50m  | 100m   | 200m   | 50m   | 100m   | 200m   | 200m   | 400m   |
| 才   | 14 24・9 | 53・7   | 1:59・3 | 4:11・5 | 16:09・6 | 28・1 | 59・5   | 2:08・3 | 31・4 | 1:09・0 | 2:26・5 | 26・7  | 58・8   | 2:07・1 | 2:14・4 | 4:40・6 |
|     | 13 25・2 | 54・5   | 2:00・7 | 4:14・8 | 16:27・8 | 28・6 | 1:00・8 | 2:10・8 | 31・8 | 1:09・7 | 2:28・9 | 27・1  | 59・7   | 2:09・7 | 2:16・2 | 4:45・9 |
|     | 12 25・5 | 55・3   | 2:02・2 | 4:18・1 | 16:46・0 | 29・1 | 1:02・1 | 2:13・4 | 32・2 | 1:10・4 | 2:31・3 | 27・6  | 1:00・6 | 2:12・3 | 2:18・0 | 4:51・2 |
|     | 11 25・8 | 56・1   | 2:03・7 | 4:21・4 | 17:04・2 | 29・7 | 1:03・5 | 2:16・7 | 32・6 | 1:11・1 | 2:33・7 | 28・1  | 1:01・5 | 2:14・9 | 2:19・8 | 4:56・5 |
|     | 10 26・2 | 56・9   | 2:05・2 | 4:24・8 | 17:22・5 | 30・3 | 1:05・0 | 2:20・0 | 33・1 | 1:11・8 | 2:36・1 | 28・6  | 1:02・5 | 2:17・5 | 2:21・6 | 5:01・9 |
|     | 9 26・6  | 57・8   | 2:06・7 | 4:28・2 | 17:40・8 | 30・9 | 1:06・5 | 2:23・4 | 33・6 | 1:12・6 | 2:38・5 | 29・1  | 1:03・5 | 2:20・2 | 2:23・4 | 5:07・3 |
|     | 8 27・2  | 58・7   | 2:09・1 | 4:34・2 | 18:00・9 | 31・6 | 1:07・7 | 2:26・8 | 34・4 | 1:13・9 | 2:41・6 | 29・7  | 1:04・5 | 2:22・6 | 2:27・0 | 5:16・0 |
|     | 7 27・8  | 59・6   | 2:11・5 | 4:40・2 | 18:21・0 | 32・3 | 1:08・9 | 2:30・2 | 35・2 | 1:15・2 | 2:41・7 | 30・3  | 1:05・5 | 2:25・0 | 2:30・6 | 5:24・7 |
|     | 6 28・5  | 1:00・5 | 2:13・9 | 4:46・2 | 18:41・1 | 33・1 | 1:10・1 | 2:33・7 | 36・0 | 1:16・5 | 2:47・8 | 30・9  | 1:06・6 | 2:27・4 | 2:34・3 | 5:33・4 |
|     | 5 29・2  | 1:01・5 | 2:16・4 | 4:52・3 | 19:01・3 | 33・9 | 1:11・4 | 2:37・2 | 36・9 | 1:17・8 | 2:50・9 | 31・5  | 1:07・7 | 2:29・8 | 2:38・0 | 5:42・2 |
| 才   | 4 30・0  | 1:02・5 | 2:18・5 | 4:57・5 | 19:20・5 | 34・5 | 1:13・0 | 2:40・5 | 37・5 | 1:19・5 | 2:54・0 | 32・0  | 1:09・0 | 2:33・0 | 2:41・0 | 5:49・5 |
|     | 3 30・5  | 1:03・5 | 2:21・0 | 5:02・5 | 19:39・5 | 35・0 | 1:14・0 | 2:43・5 | 38・0 | 1:20・5 | 2:56・5 | 32・5  | 1:10・5 | 2:36・5 | 2:44・0 | 5:56・5 |
|     | 2 31・0  | 1:04・5 | 2:23・0 | 5:07・5 | 19:58・5 | 35・5 | 1:15・5 | 2:46・5 | 39・0 | 1:22・0 | 2:59・0 | 33・0  | 1:12・0 | 2:39・5 | 2:47・0 | 6:03・5 |
|     | 1 31・5  | 1:05・5 | 2:25・0 | 5:12・5 | 20:17・5 | 36・0 | 1:17・0 | 2:49・5 | 40・0 | 1:23・0 | 3:02・0 | 33・5  | 1:13・0 | 2:43・0 | 2:50・0 | 6:10・5 |
|     | 14 23・6 | 50・8   | 1:52・1 | 3:56・4 | 15:23・2 | 26・7 | 57・1   | 2:02・7 | 29・9 | 1:04・4 | 2:18・8 | 25・4  | 55・4   | 2:01・5 | 2:06・4 | 4:27・5 |
|     | 13 24・1 | 51・7   | 1:53・9 | 4:00・5 | 15:43・1 | 27・4 | 58・3   | 2:05・5 | 30・5 | 1:05・5 | 2:21・8 | 26・0  | 56・3   | 2:03・6 | 2:08・7 | 4:33・4 |
|     | 12 24・6 | 52・6   | 1:55・7 | 4:04・7 | 16:03・0 | 28・1 | 59・5   | 2:08・3 | 31・1 | 1:06・6 | 2:24・8 | 26・6  | 57・2   | 2:05・7 | 2:11・0 | 4:39・3 |
|     | 11 25・1 | 53・6   | 1:57・5 | 4:08・9 | 16:23・0 | 28・8 | 1:00・7 | 2:11・2 | 31・7 | 1:07・7 | 2:27・9 | 27・2  | 58・1   | 2:07・9 | 2:13・4 | 4:45・3 |
|     | 10 25・7 | 54・1   | 1:59・4 | 4:13・1 | 16:43・0 | 29・5 | 1:01・9 | 2:14・1 | 32・4 | 1:08・8 | 2:31・0 | 27・8  | 59・1   | 2:10・1 | 2:15・8 | 4:51・3 |
| 才   | 9 26・2  | 55・6   | 2:01・3 | 4:17・3 | 17:03・0 | 30・2 | 1:03・2 | 2:17・0 | 33・1 | 1:10・0 | 2:34・1 | 28・4  | 1:00・1 | 2:12・3 | 2:18・2 | 4:57・3 |
|     | 8 26・9  | 56・8   | 2:04・8 | 4:24・8 | 17:30・9 | 31・0 | 1:04・8 | 2:20・1 | 34・0 | 1:11・5 | 2:37・4 | 29・0  | 1:01・5 | 2:15・4 | 2:21・7 | 5:04・1 |
|     | 7 27・5  | 58・1   | 2:08・3 | 4:32・3 | 17:58・8 | 31・8 | 1:06・4 | 2:23・2 | 34・8 | 1:13・0 | 2:40・7 | 29・6  | 1:02・9 | 2:18・5 | 2:25・3 | 5:10・9 |
|     | 6 28・1  | 59・4   | 2:11・9 | 4:39・8 | 18:26・7 | 32・6 | 1:08・0 | 2:26・4 | 35・6 | 1:14・5 | 2:44・0 | 30・2  | 1:04・3 | 2:21・6 | 2:28・9 | 5:17・8 |
|     | 5 28・7  | 1:00・7 | 2:15・5 | 4:47・4 | 18:54・7 | 33・4 | 1:09・6 | 2:29・6 | 36・5 | 1:16・0 | 2:47・3 | 30・9  | 1:05・7 | 2:24・8 | 2:32・5 | 5:24・7 |
|     | 4 29・5  | 1:02・0 | 2:18・0 | 4:52・5 | 19:13・0 | 34・0 | 1:11・0 | 2:32・5 | 37・0 | 1:17・5 | 2:50・5 | 31・5  | 1:07・0 | 2:27・5 | 2:35・0 | 5:30・5 |
|     | 3 30・0  | 1:03・0 | 2:19・5 | 4:57・0 | 19:32・0 | 34・5 | 1:12・0 | 2:35・0 | 37・5 | 1:19・0 | 2:53・0 | 32・0  | 1:08・0 | 2:30・0 | 2:38・0 | 5:36・0 |
|     | 2 30・5  | 1:04・0 | 2:21・5 | 5:02・0 | 19:51・0 | 35・0 | 1:13・5 | 2:37・5 | 38・5 | 1:20・0 | 2:56・0 | 32・5  | 1:09・5 | 2:32・5 | 2:40・5 | 5:41・5 |
|     | 1 31・0  | 1:05・0 | 2:23・0 | 5:07・0 | 20:10・0 | 35・5 | 1:14・5 | 2:40・0 | 39・5 | 1:21・5 | 2:59・0 | 33・0  | 1:10・5 | 2:35・0 | 2:43・0 | 5:47・0 |

単位・例：1:01・7 = 1分1秒7

水泳資格表／女子

| 年齢級 | 自由形     |        |        |        |         | 背泳ぎ  |        |        | 平泳ぎ  |        |        | バタフライ |        |        | 個人メドレー |        |
|-----|---------|--------|--------|--------|---------|------|--------|--------|------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
|     | 50m     | 100m   | 200m   | 400m   | 800m    | 50m  | 100m   | 200m   | 50m  | 100m   | 200m   | 50m   | 100m   | 200m   | 200m   | 400m   |
| 才   | 14 26・5 | 56・2   | 2:01・5 | 4:13・2 | 8:38・9  | 29・2 | 1:02・5 | 2:13・5 | 32・7 | 1:10・5 | 2:32・5 | 27・3  | 59・5   | 2:09・5 | 2:15・4 | 4:43・9 |
|     | 13 27・0 | 57・8   | 2:04・8 | 4:20・2 | 8:53・9  | 29・9 | 1:04・5 | 2:17・9 | 33・5 | 1:12・4 | 2:36・7 | 28・0  | 1:01・6 | 2:13・1 | 2:19・1 | 4:51・7 |
|     | 12 27・5 | 59・4   | 2:08・2 | 4:27・2 | 9:09・0  | 30・6 | 1:06・6 | 2:22・3 | 34・3 | 1:14・4 | 2:41・0 | 28・7  | 1:03・7 | 2:16・7 | 2:22・9 | 4:59・6 |
|     | 11 28・0 | 1:00・2 | 2:10・1 | 4:31・5 | 9:18・1  | 31・3 | 1:07・7 | 2:25・3 | 35・1 | 1:16・0 | 2:44・2 | 29・4  | 1:04・9 | 2:20・6 | 2:26・2 | 5:07・9 |
|     | 10 28・6 | 1:01・1 | 2:12・0 | 4:35・9 | 9:27・3  | 32・0 | 1:08・9 | 2:28・3 | 35・9 | 1:17・6 | 2:47・4 | 30・1  | 1:06・1 | 2:24・6 | 2:29・6 | 5:16・2 |
|     | 9 29・2  | 1:02・0 | 2:13・9 | 4:40・3 | 9:36・5  | 32・8 | 1:10・1 | 2:31・4 | 36・7 | 1:19・3 | 2:50・7 | 30・9  | 1:07・4 | 2:28・6 | 2:33・0 | 5:24・6 |
|     | 8 30・1  | 1:03・8 | 2:18・6 | 4:50・1 | 9:59・7  | 34・2 | 1:12・7 | 2:36・1 | 38・0 | 1:21・3 | 2:55・0 | 32・1  | 1:09・6 | 2:33・9 | 2:37・5 | 5:35・8 |
|     | 7 31・0  | 1:05・7 | 2:23・3 | 4:59・9 | 10:22・9 | 35・7 | 1:15・3 | 2:40・8 | 39・3 | 1:23・3 | 2:59・3 | 33・3  | 1:11・8 | 2:39・3 | 2:42・0 | 5:47・0 |
|     | 6 31・9  | 1:07・6 | 2:28・1 | 5:09・8 | 10:46・2 | 37・2 | 1:17・9 | 2:45・5 | 40・6 | 1:25・3 | 3:03・6 | 34・6  | 1:14・0 | 2:44・7 | 2:46・6 | 5:58・2 |
|     | 5 32・9  | 1:09・5 | 2:32・9 | 5:19・7 | 11:09・5 | 38・7 | 1:20・6 | 2:50・2 | 41・9 | 1:27・4 | 3:07・9 | 35・9  | 1:16・3 | 2:50・1 | 2:51・2 | 6:09・5 |
| 才   | 4 33・5  | 1:10・5 | 2:35・5 | 5:27・0 | 11:20・5 | 39・5 | 1:22・0 | 2:53・5 | 42・5 | 1:29・0 | 3:11・0 | 36・5  | 1:18・0 | 2:53・5 | 2:54・6 | 6:17・0 |
|     | 3 34・0  | 1:11・5 | 2:38・0 | 5:34・0 | 11:31・5 | 40・0 | 1:23・5 | 2:56・5 | 43・0 | 1:30・0 | 3:13・5 | 37・5  | 1:19・5 | 2:56・5 | 2:58・0 | 6:24・5 |
|     | 2 34・5  | 1:12・5 | 2:40・5 | 5:41・0 | 11:42・5 | 40・5 | 1:25・0 | 2:59・5 | 44・0 | 1:31・5 | 3:16・0 | 38・5  | 1:21・0 | 3:00・0 | 3:01・0 | 6:32・0 |
|     | 1 35・0  | 1:13・5 | 2:43・0 | 5:48・0 | 11:53・0 | 41・0 | 1:26・5 | 3:02・5 | 45・0 | 1:33・0 | 3:19・0 | 39・5  | 1:22・5 | 3:03・0 | 3:04・0 | 6:39・5 |

1984～1988年（有効期間）

「水泳資格表」について

「水泳資格表」は、(財)日本水泳連盟が作成したもので、同連盟の公式または公認した競泳競技会に参加する人の出場資格を認定するためなどに活用されています。